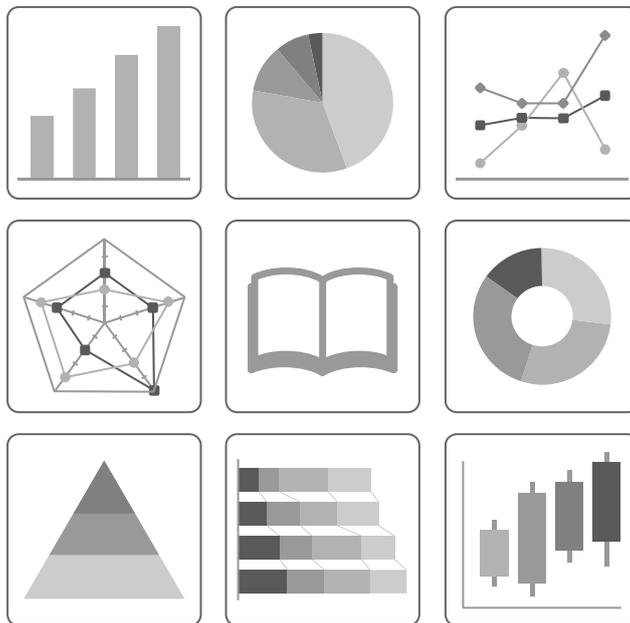


※自由記入欄は業者作成中のため未掲載

匝瑳市 食育推進計画策定のためのアンケート調査 調査結果報告書



令和3年10月

匝 瑳 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	一般	2
	(1) 回答者属性	2
	(2) 食生活等の状況について	5
	(3) 食育について	27
	(4) 地域における「食」について	42
2	小中学生	52

I 調査の概要

1 調査の目的

平成 29 年 3 月に策定された「第 2 次匠瑳市食育推進計画」に基づき食育の推進を進めておりますが、計画が本年度をもって終了することから「(仮称) 第 3 次匠瑳市食育推進計画」の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

一般：匠瑳市在住の 16 歳以上の方、1,000 人を無作為抽出
小中学生：小中学生の児童・生徒、530 人（小 5 254 人、中 2 276 人）

3 調査期間

令和 3 年 7 月

4 調査方法

一般は郵送による配布・回収
小中学生は学校配付・回収

5 回収状況

	配 布 数	有効回収数	有効回収率
一般	1,000 通	403 通	40.3%
小学生	254 通	248 通	97.6%
中学生	276 通	273 通	98.9%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

II 調査結果

1 一般

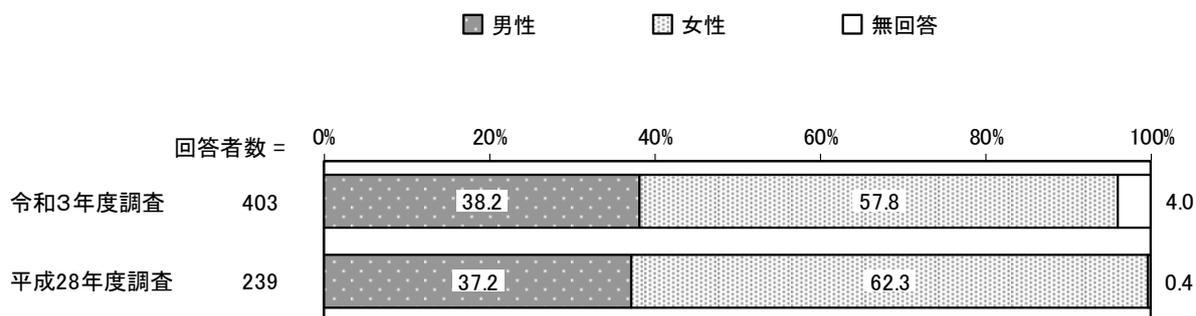
(1) 回答者属性

FS 1 あなたの性別はどちらですか。(回答はひとつだけ)

「男性」の割合が38.2%、「女性」の割合が57.8%となっています。

【経年比較】

平成28年度調査と比較すると大きな差異はみられませんでした。

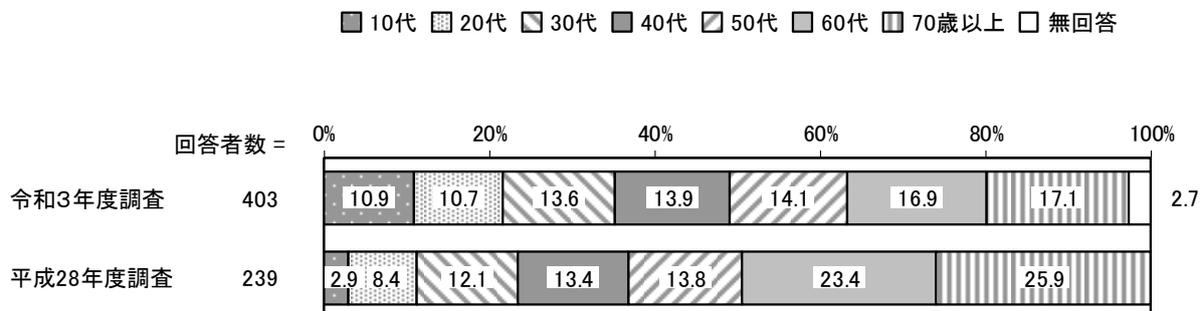


FS 2 あなたの年代はどれですか。(回答はひとつだけ)

「70歳以上」の割合が17.1%と最も高く、次いで「60代」の割合が16.9%、「50代」の割合が14.1%となっています。

【経年比較】

平成28年度調査と比較すると、「10代」の割合が増加し、「60代」「70歳以上」の割合が減少しています。

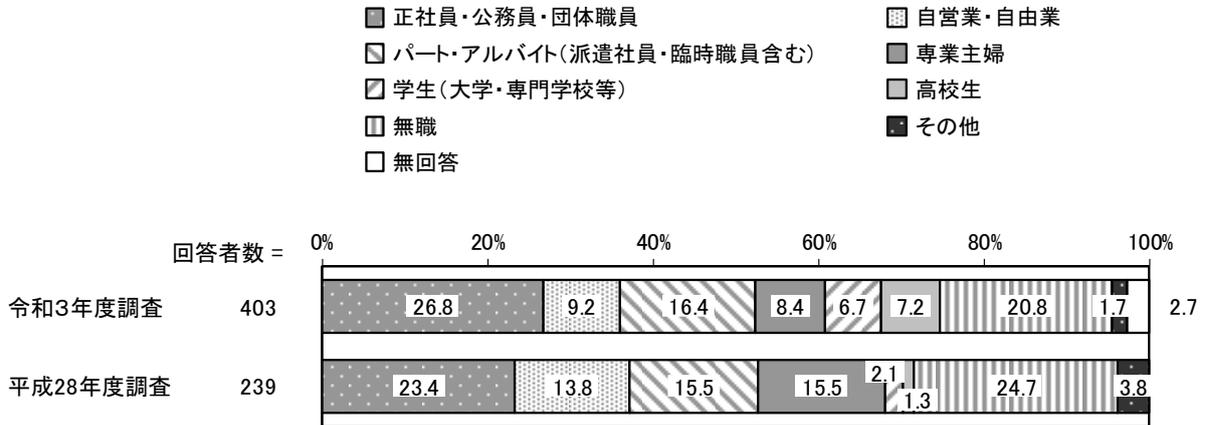


F S 3 あなたのご職業は何ですか。(回答はひとつだけ)

「正社員・公務員・団体職員」の割合が26.8%と最も高く、次いで「無職」の割合が20.8%、「パート・アルバイト(派遣社員・臨時職員含む)」の割合が16.4%となっています。

【経年比較】

平成28年度調査と比較すると、「専業主婦」の割合が減少しています。

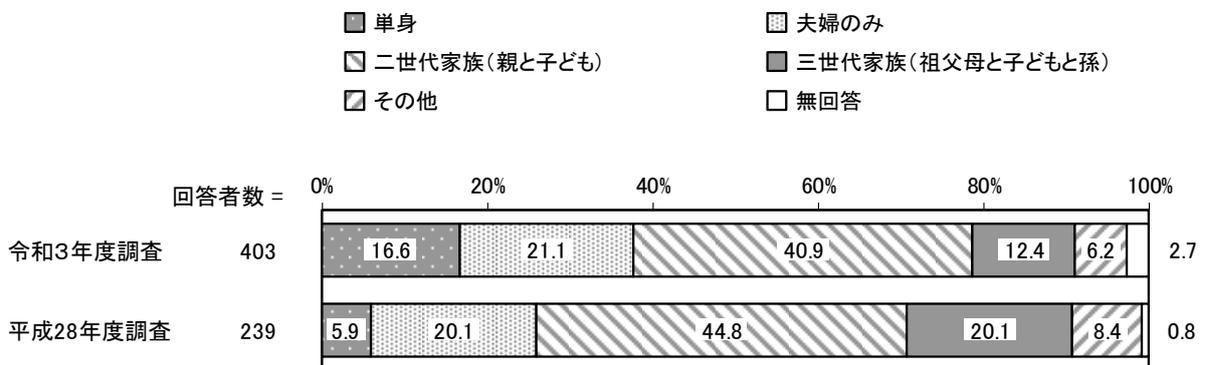


F S 4 同居している家族構成はどれですか。(回答はひとつだけ)

「二世世代家族(親と子ども)」の割合が40.9%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が21.1%、「単身」の割合が16.6%となっています。

【経年比較】

平成28年度調査と比較すると、「単身」の割合が増加し、「三世世代家族(祖父母と子どもと孫)」の割合が減少しています。

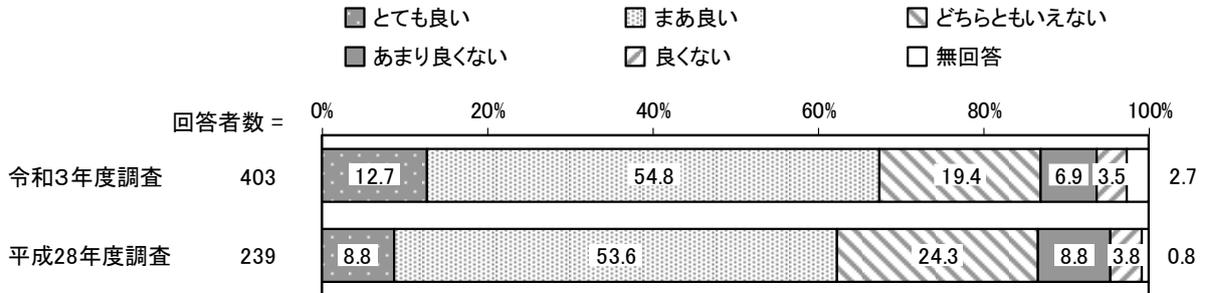


F S 5 あなたは自分の健康状態について、どのようにお感じですか。(回答はひとつだけ)

「まあ良い」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 19.4%、「とても良い」の割合が 12.7%となっています。

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。

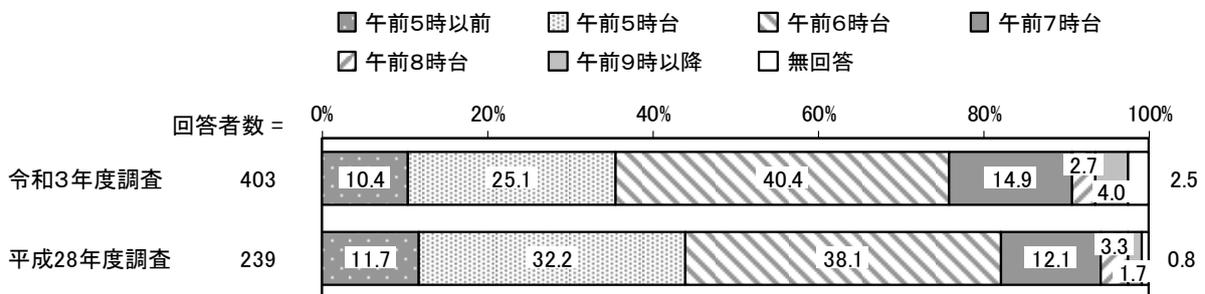


F S 6 あなたの平日の平均起床時刻をお選びください。(回答はひとつだけ)

「午前6時台」の割合が 40.4%と最も高く、次いで「午前5時台」の割合が 25.1%、「午前7時台」の割合が 14.9%となっています。

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「午前5時台」の割合が減少しています。

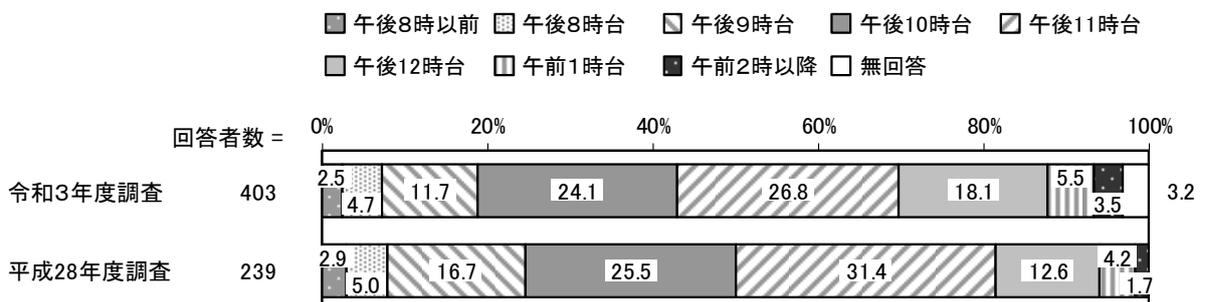


F S 7 あなたの平日の平均就寝時刻をお選びください。(回答はひとつだけ)

「午後11時台」の割合が 26.8%と最も高く、次いで「午後10時台」の割合が 24.1%、「午後12時台」の割合が 18.1%となっています。

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「午後9時台」「午後12時台」の割合が減少しています。



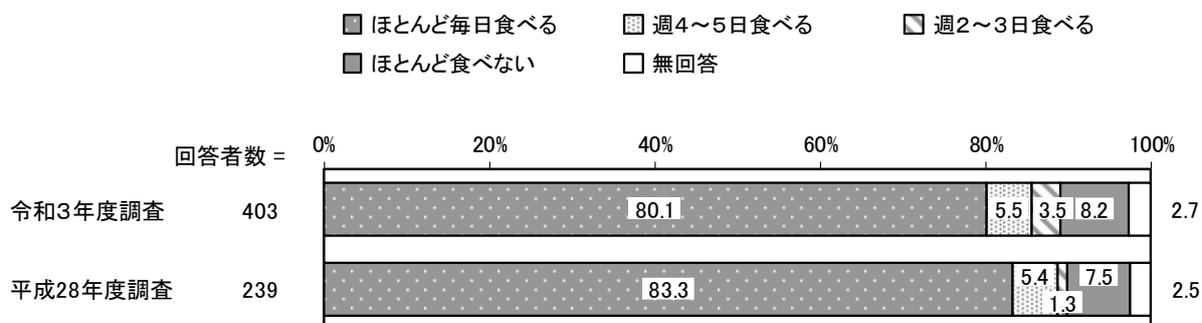
(2) 食生活等の状況について

質問1 あなたは普段から朝食を食べますか。(回答はひとつだけ)

「ほとんど毎日食べる」の割合が80.1%と最も高くなっています。

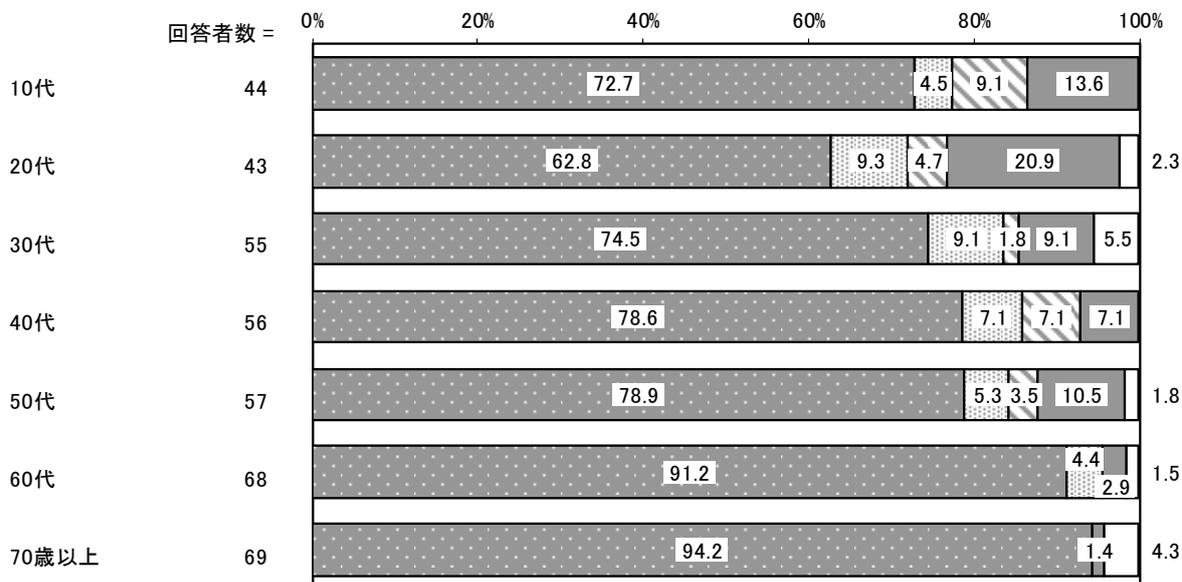
【経年比較】

平成28年度調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20代で「ほとんど毎日食べる」の割合が低くなっています。

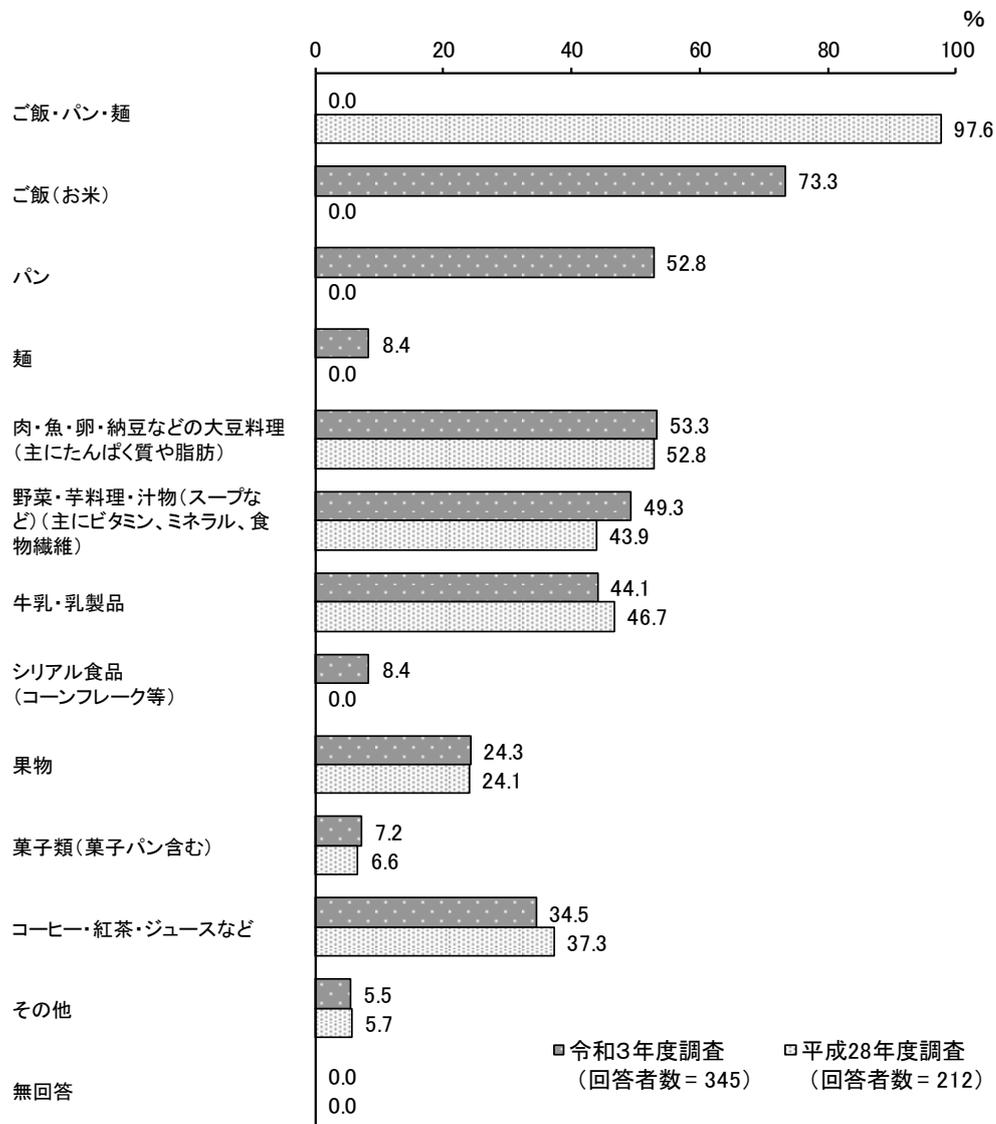


質問2 あなたは普段どのようなものを朝食で食べていますか。(回答はいくつでも)

「ご飯(お米)」の割合が73.3%と最も高く、次いで「肉・魚・卵・納豆などの大豆料理(主にたんぱく質や脂肪)」の割合が53.3%、「パン」の割合が52.8%となっています。

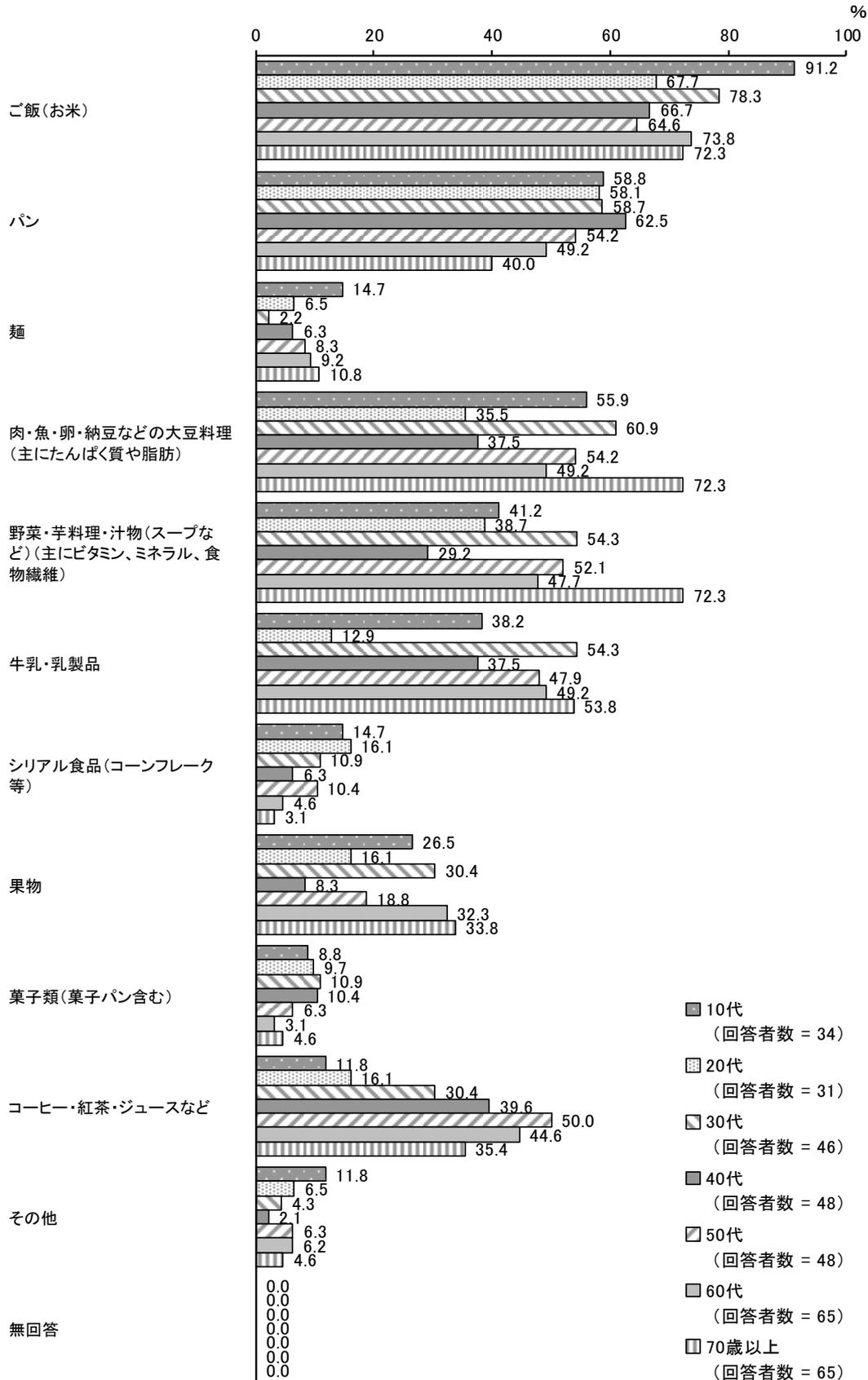
【経年比較】

平成28年度調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、10代で「ご飯（お米）」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「肉・魚・卵・納豆などの大豆料理（主にたんぱく質や脂肪）」「野菜・芋料理・汁物（スープなど）（主にビタミン、ミネラル、食物繊維）」の割合が高くなっています。



【家族構成別】

家族構成別で見ると、他に比べ、三世代家族（祖父母と子どもと孫）で「ご飯（お米）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数	ご飯（お米）	パン	麺	肉・魚・卵・納豆などの大豆料理（主にたんぱく質や脂肪）	野菜・芋料理・汁物（スープなど）（主にビタミン、ミネラル、食物繊維）	牛乳・乳製品	シリアル食品（コーンフレーク等）	果物	菓子類（菓子パン含む）	コーヒー・紅茶・ジュースなど	その他	無回答
単身	60	70.0	45.0	18.3	60.0	50.0	55.0	3.3	25.0	10.0	40.0	5.0	—
夫婦のみ	80	63.8	57.5	7.5	47.5	47.5	46.3	11.3	32.5	3.8	45.0	6.3	—
二世世代家族（親と子ども）	133	73.7	57.1	4.5	51.9	49.6	45.9	11.3	22.6	9.0	33.1	3.8	—
三世代家族（祖父母と子どもと孫）	44	84.1	43.2	6.8	54.5	52.3	29.5	6.8	20.5	4.5	18.2	11.4	—
その他	20	90.0	55.0	10.0	65.0	50.0	35.0	—	20.0	5.0	30.0	5.0	—

【睡眠時間別】

睡眠時間別で見ると、他に比べ、8時間程度、9時間以上で「ご飯（お米）」の割合が高くなっています。また、3～5時間程度で「パン」の割合が高くなっています。

単位：%

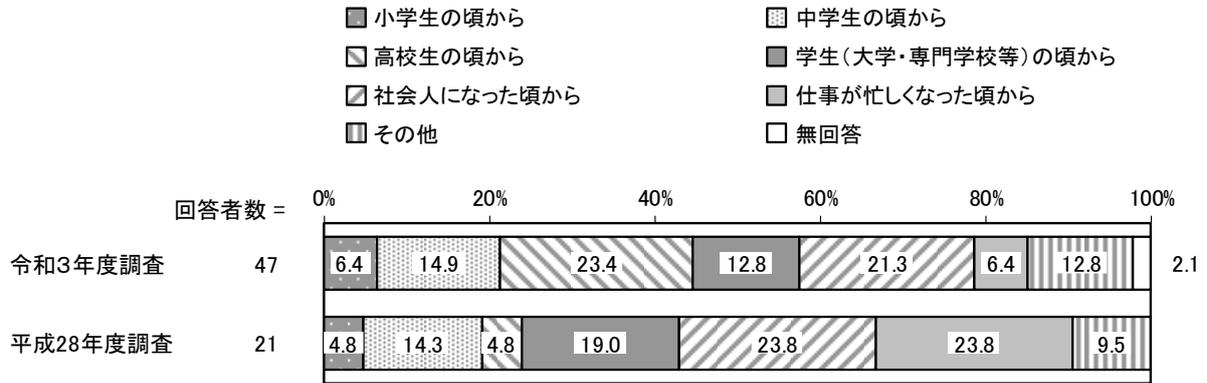
区分	回答者数	ご飯（お米）	パン	麺	肉・魚・卵・納豆などの大豆料理（主にたんぱく質や脂肪）	野菜・芋料理・汁物（スープなど）（主にビタミン、ミネラル、食物繊維）	牛乳・乳製品	シリアル食品（コーンフレーク等）	果物	菓子類（菓子パン含む）	コーヒー・紅茶・ジュースなど	その他	無回答
3～5時間程度	33	60.6	69.7	21.2	48.5	33.3	39.4	12.1	33.3	9.1	45.5	9.1	—
6時間程度	61	68.9	59.0	8.2	47.5	42.6	49.2	4.9	23.0	8.2	34.4	9.8	—
7時間程度	114	73.7	52.6	6.1	56.1	51.8	43.0	7.0	22.8	6.1	32.5	5.3	—
8時間程度	83	78.3	48.2	8.4	54.2	55.4	42.2	9.6	20.5	6.0	34.9	3.6	—
9時間以上	45	77.8	42.2	4.4	60.0	57.8	51.1	11.1	35.6	8.9	35.6	—	—

質問3 あなたが朝食を食べなくなったのはいつ頃からですか。(回答はひとつだけ)

「高校生の頃から」の割合が 23.4%と最も高く、次いで「社会人になった頃から」の割合が 21.3%、「中学生の頃から」の割合が 14.9%となっています。

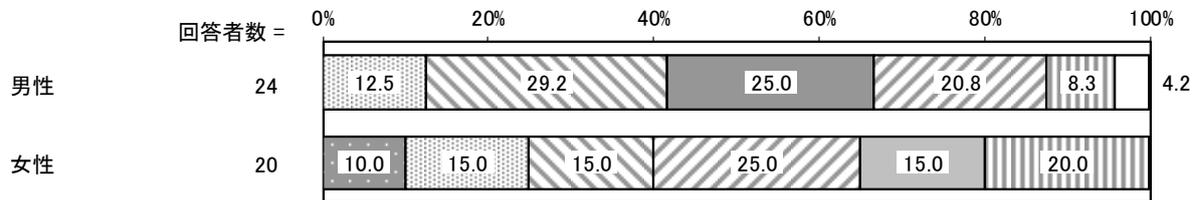
【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「高校生の頃から」の割合が増加し、「仕事が忙しくなったから」の割合が減少しています。



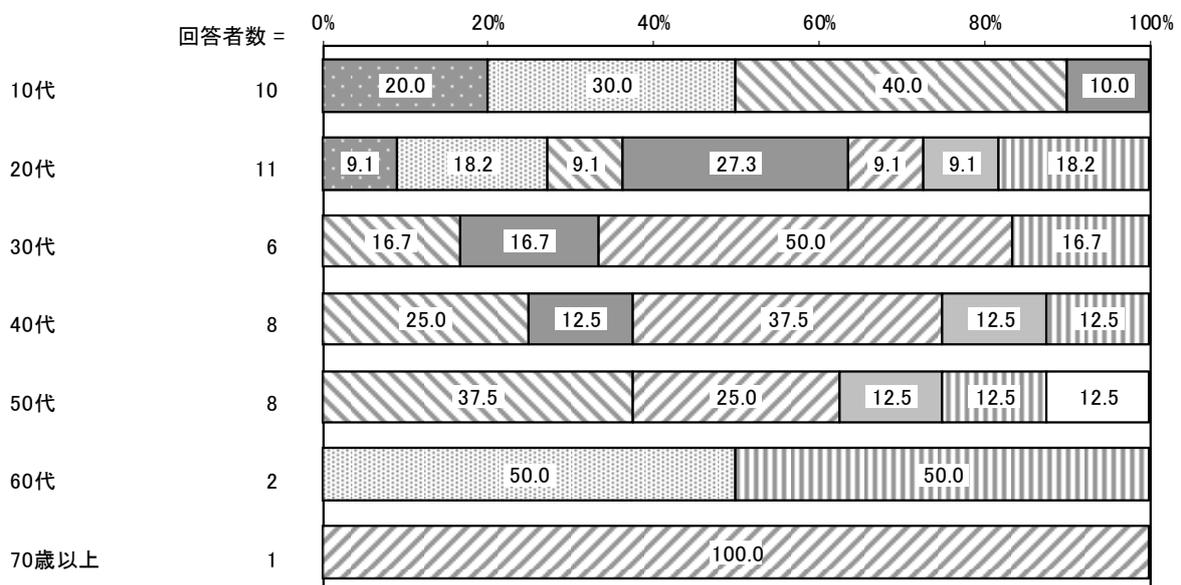
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「高校生の頃から」「学生(大学・専門学校等)の頃から」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「小学生の頃から」「仕事が忙しくなった頃から」の割合が高くなっています。



【年代別】

有効回答数が少ないため、コメントはひかえます。

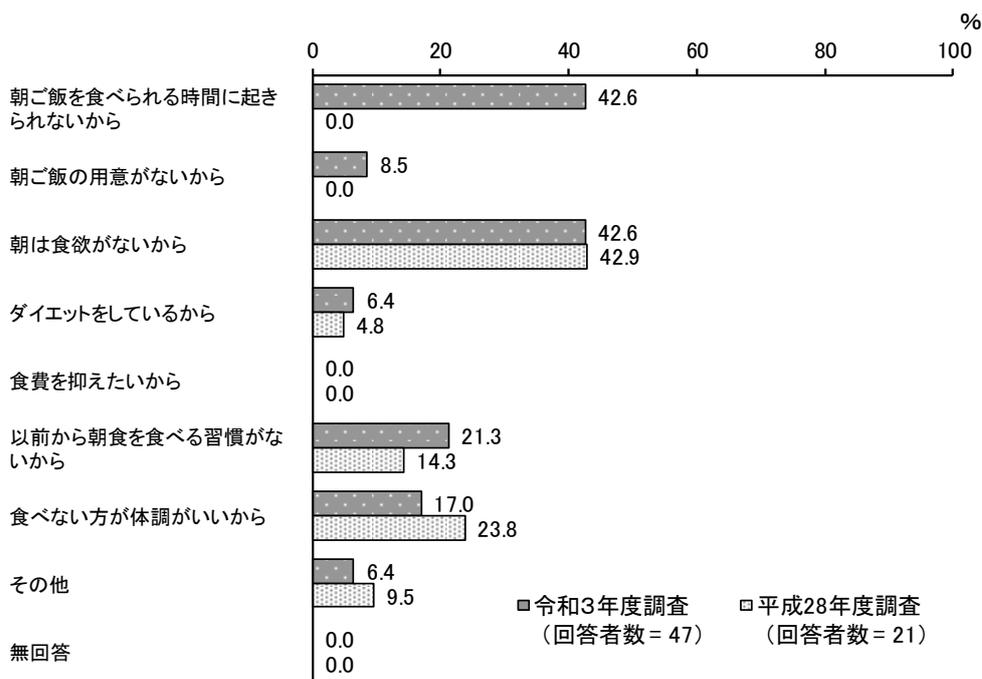


質問4 あなたが朝食を食べない理由について、あてはまるものをすべてお選びください。（回答はいくつでも）

「朝ご飯を食べられる時間に起きられないから」、「朝は食欲がないから」の割合が42.6%と最も高く、次いで「以前から朝食を食べる習慣がないから」の割合が21.3%となっています。

【経年比較】

平成28年度調査と比較すると、「以前から朝食を食べる習慣がないから」の割合が増加し、「食べない方が体調がいいから」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「朝ご飯を食べられる時間に起きられないから」「朝ご飯の用意がないから」「食べない方が体調がいいから」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「朝は食欲がないから」「ダイエットをしているから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数	起きられないから	朝ご飯を食べられる時間に起きられないから	朝ご飯の用意がないから	朝は食欲がないから	ダイエットをしているから	食費を抑えたいから	以前から朝食を食べる習慣がないから	食べない方が体調がいいから	その他	無回答
男性	24	41.7	12.5	33.3	4.2	—	20.8	20.8	8.3	—	
女性	20	35.0	5.0	55.0	10.0	—	25.0	15.0	5.0	—	

【年代別】

有効回答数が少ないため、コメントはひかえます。

単位：％

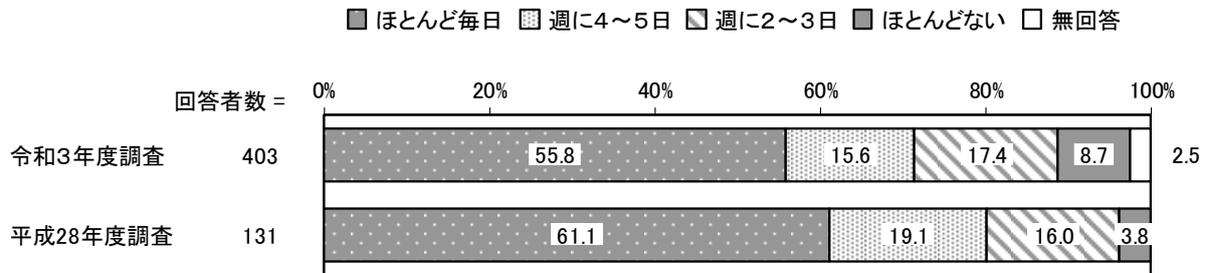
区分	回答者数	朝ご飯を食べられないから	朝ご飯の用意がないから	朝は食欲がないから	ダイエットをしているから	食費を抑えたいから	以前から朝食を食べる習慣がないから	食べない方がいいから	その他	無回答
10代	10	90.0	10.0	40.0	10.0	—	—	20.0	—	—
20代	11	36.4	9.1	45.5	9.1	—	36.4	9.1	—	—
30代	6	50.0	16.7	16.7	16.7	—	—	16.7	—	—
40代	8	12.5	—	75.0	—	—	12.5	—	—	—
50代	8	25.0	12.5	37.5	—	—	25.0	25.0	25.0	—
60代	2	—	—	50.0	—	—	100.0	100.0	50.0	—
70歳以上	1	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—

質問5 あなたは主食・主菜・副菜の3つがそろった食事を1日に2回以上食べることが、週に何日ありますか。(回答はひとつだけ)

「ほとんど毎日」の割合が55.8%と最も高く、次いで「週に2～3日」の割合が17.4%、「週に4～5日」の割合が15.6%となっています。

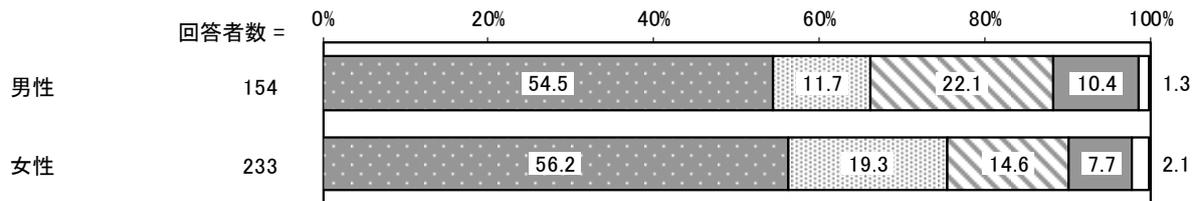
【経年比較】

平成28年度調査と比較すると、「ほとんど毎日」の割合が減少しています。



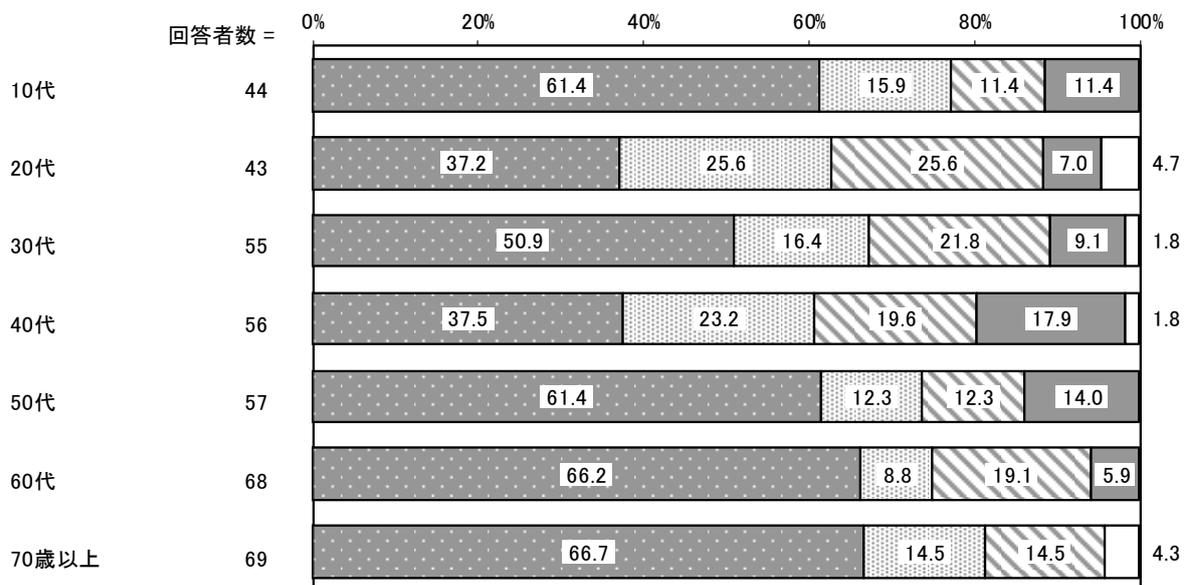
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「週に2～3日」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「週に4～5日」の割合が高くなっています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20代、40代で「ほとんど毎日」の割合が低くなっています。

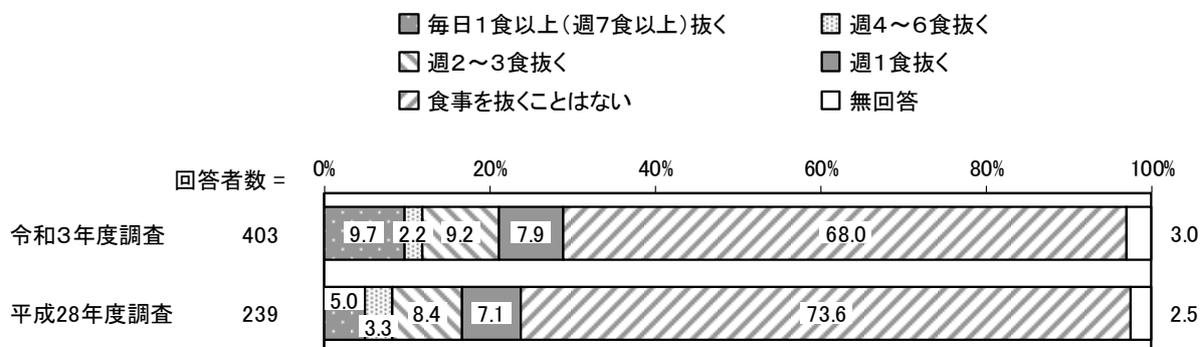


質問6 あなたは普段から食事を抜くことがどのくらいありますか。(回答はひとつだけ)

「食事を抜くことはない」の割合が68.0%と最も高くなっています。

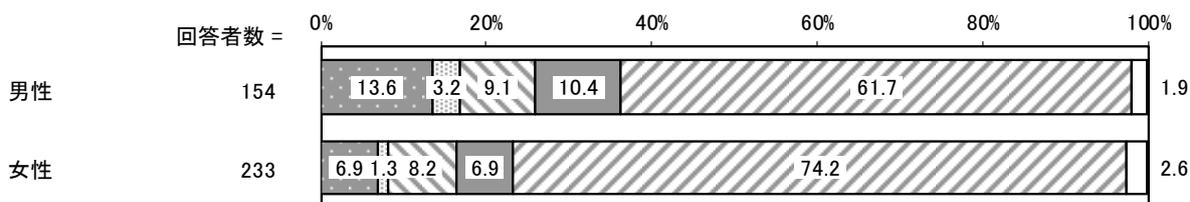
【経年比較】

平成28年度調査と比較すると、「食事を抜くことはない」の割合が減少しています。



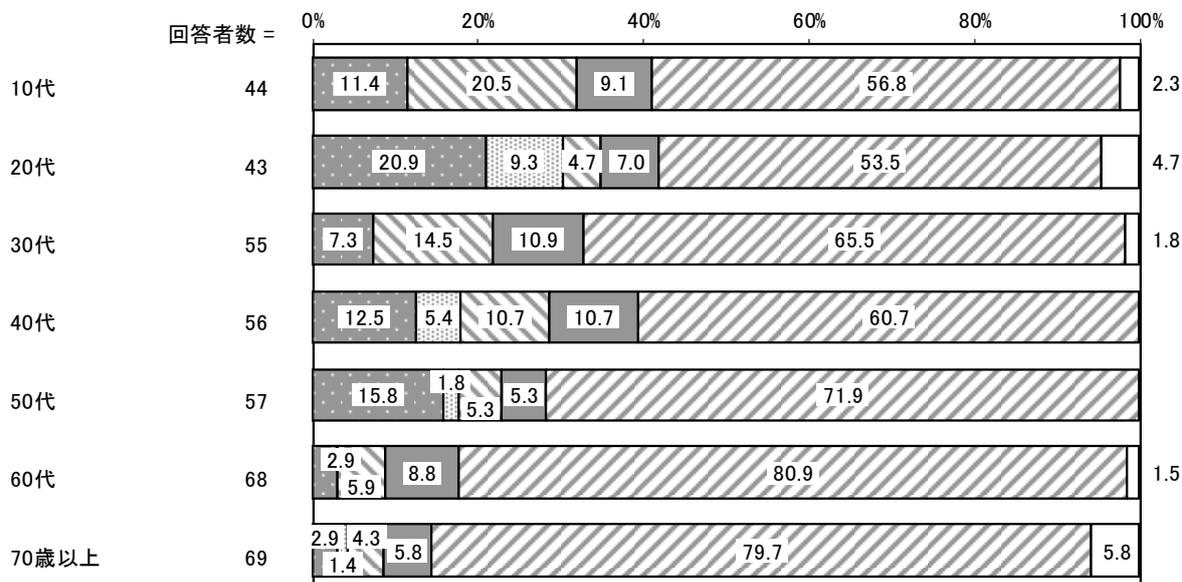
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「毎日1食以上(週7食以上)抜く」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「食事を抜くことはない」の割合が高くなっています。



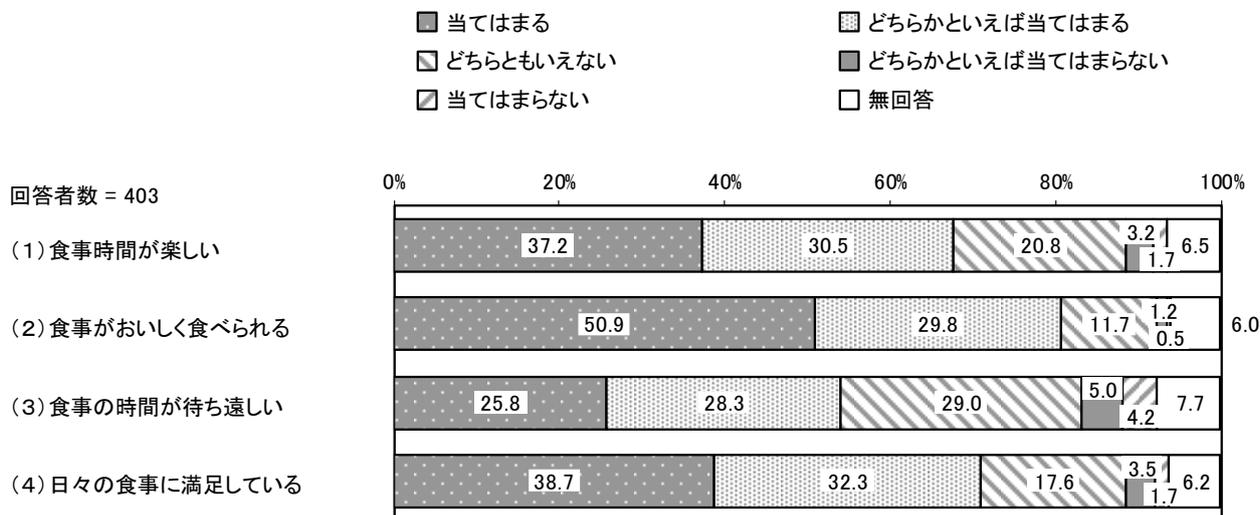
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20代で「毎日1食以上(週7食以上)抜く」の割合が高くなっています。



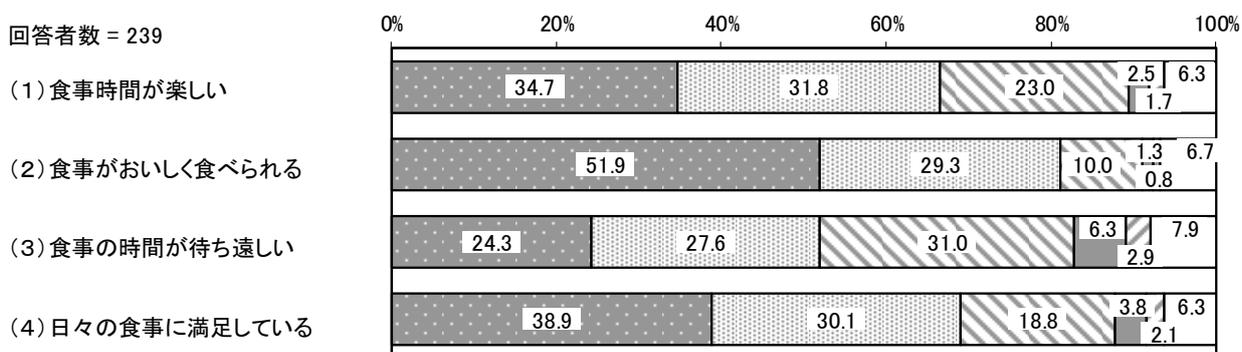
質問7 あなたの普段の食生活で、以下の項目について、当てはまるものを1つずつお選びください。(回答はひとつずつ)

『(2) 食事がおいしく食べられる』で「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」を合わせて“当てはまる”の割合が高くなっています。



【経年比較】

平成28年度調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。

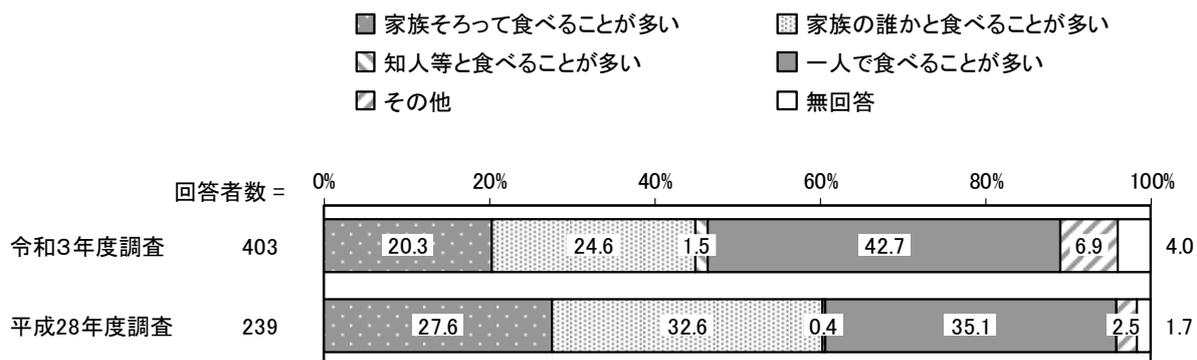


質問8 家で朝食を食べるとき、あなたは誰と一緒に食事をすることが多いですか。(回答はひとつだけ)

「一人で食べることが多い」の割合が42.7%と最も高く、次いで「家族の誰かと食べるが多い」の割合が24.6%、「家族そろって食べるが多い」の割合が20.3%となっています。

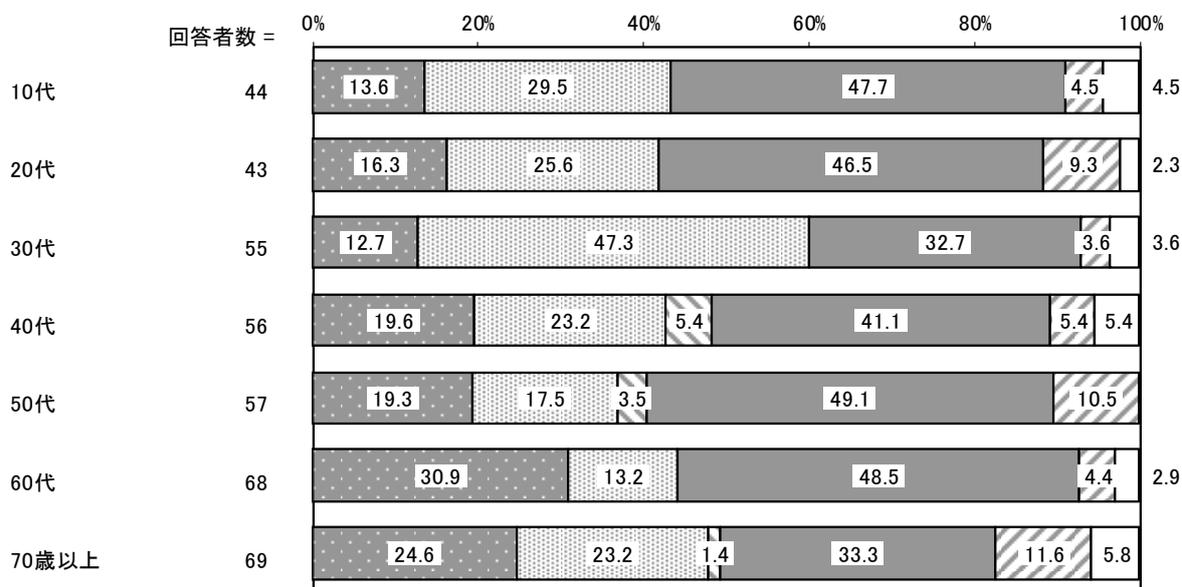
【経年比較】

平成28年度調査と比較すると、「一人で食べるが多い」の割合が増加し、「家族そろって食べるが多い」「家族の誰かと食べるが多い」の割合が減少しています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、10代、20代、50代、60代で「一人で食べるが多い」の割合が高くなっています。

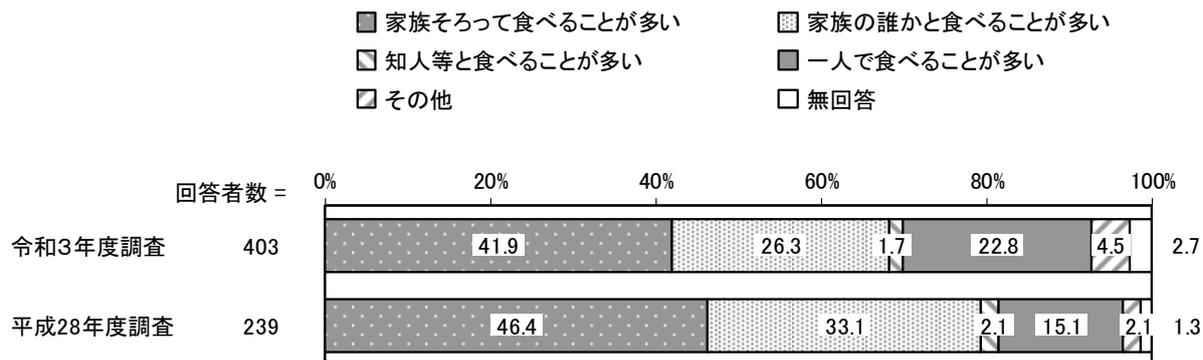


質問9 家で夕食を食べるとき、あなたは誰と一緒に食事をすることが多いですか。(回答はひとつだけ)

「家族そろって食べることが多い」の割合が41.9%と最も高く、次いで「家族の誰かと食べるが多い」の割合が26.3%、「一人で食べるが多い」の割合が22.8%となっています。

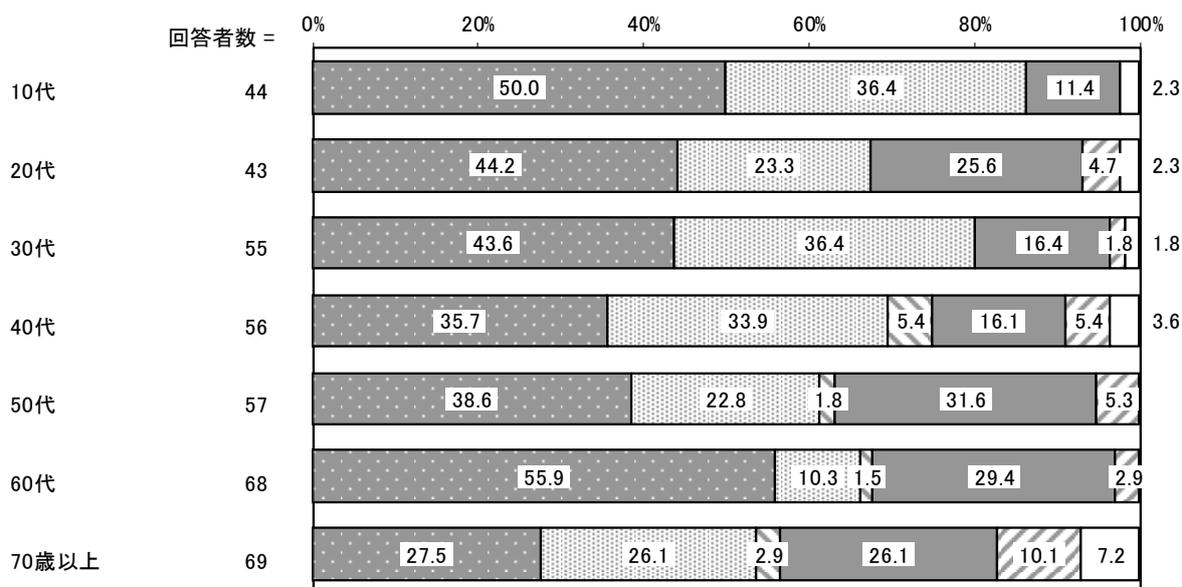
【経年比較】

平成28年度調査と比較すると、「一人で食べるが多い」の割合が増加し、「家族の誰かと食べるが多い」の割合が減少しています。



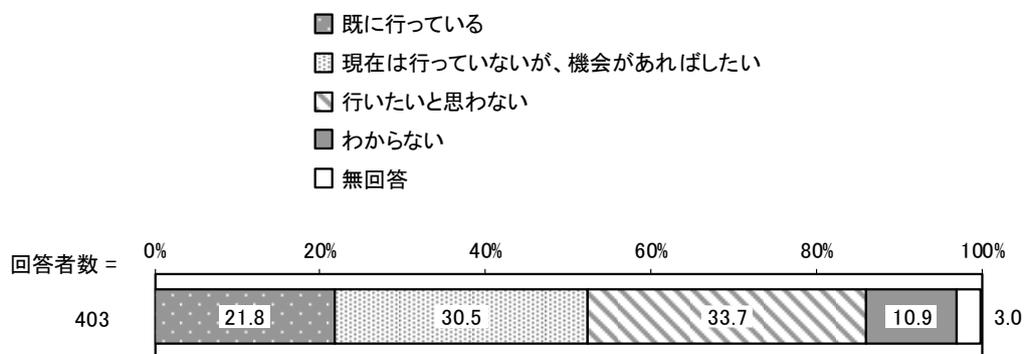
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、50代、60代で「一人で食べるが多い」の割合が高くなっています。



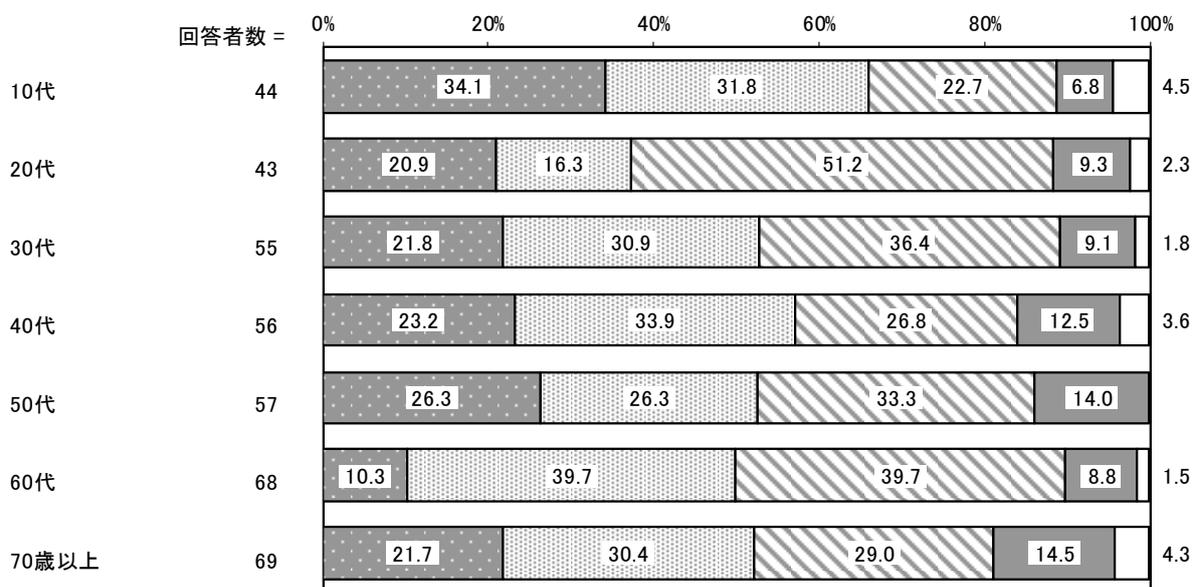
質問 10 おいしく、楽しい食事のためには会話やコミュニケーションが大切です。あなたは、お住まいの地域や所属するコミュニティ（職場等を含む）で食事をしたいですか。（回答はひとつだけ）

「行きたいと思わない」の割合が 33.7%と最も高く、次いで「現在は行っていないが、機会があればしたい」の割合が 30.5%、「既に行っている」の割合が 21.8%となっています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、10代で「既に行っている」の割合が高くなっています。また、20代で「行きたいと思わない」の割合が高くなっています。

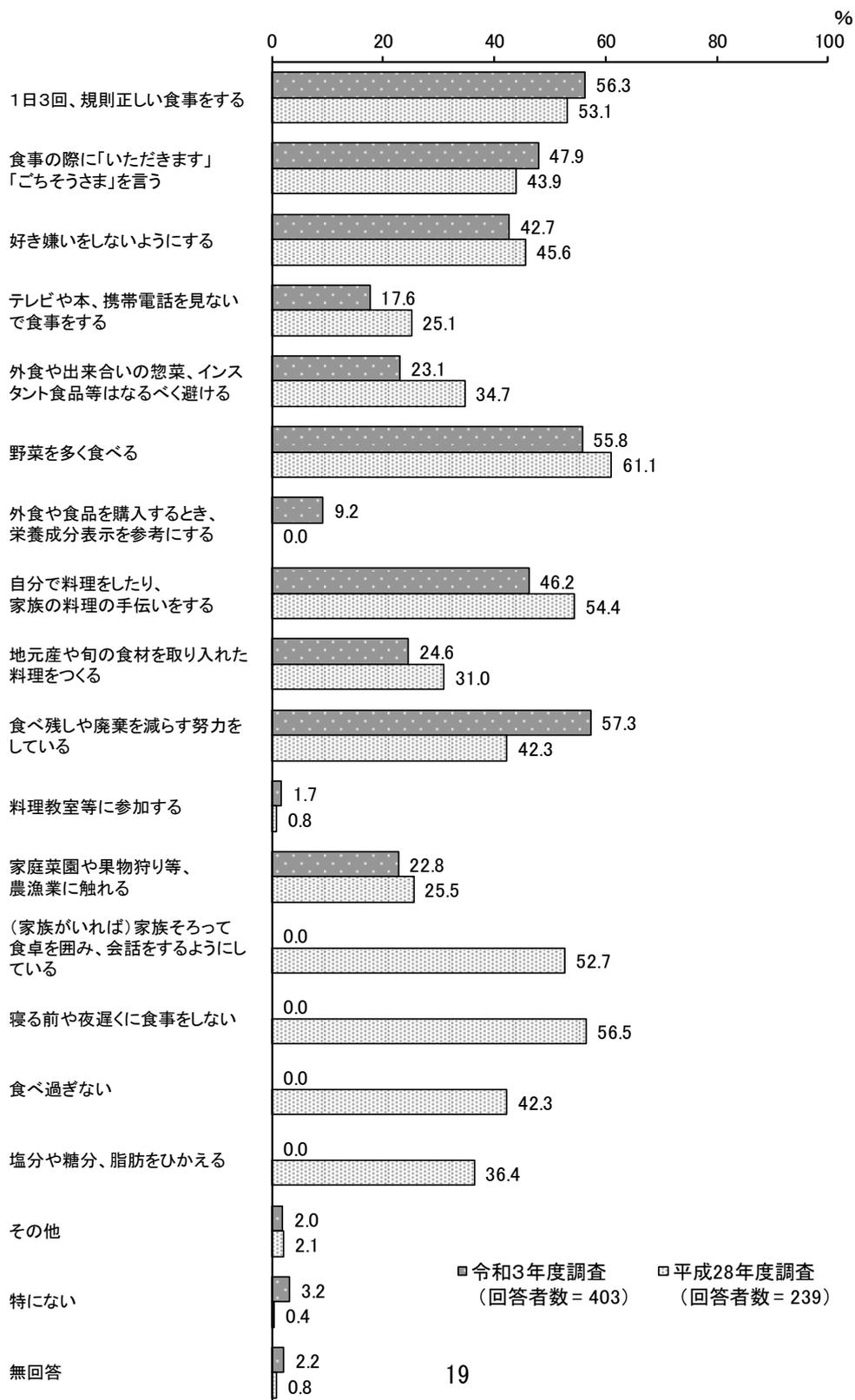


質問 11 あなたは食生活において、どのようなことを行っていますか。あてはまるものをすべてお選びください。(回答はいくつでも)

「食べ残しや廃棄を減らす努力をしている」の割合が 57.3%と最も高く、次いで「1日3回、規則正しい食事をする」の割合が 56.3%、「野菜を多く食べる」の割合が 55.8%となっています。

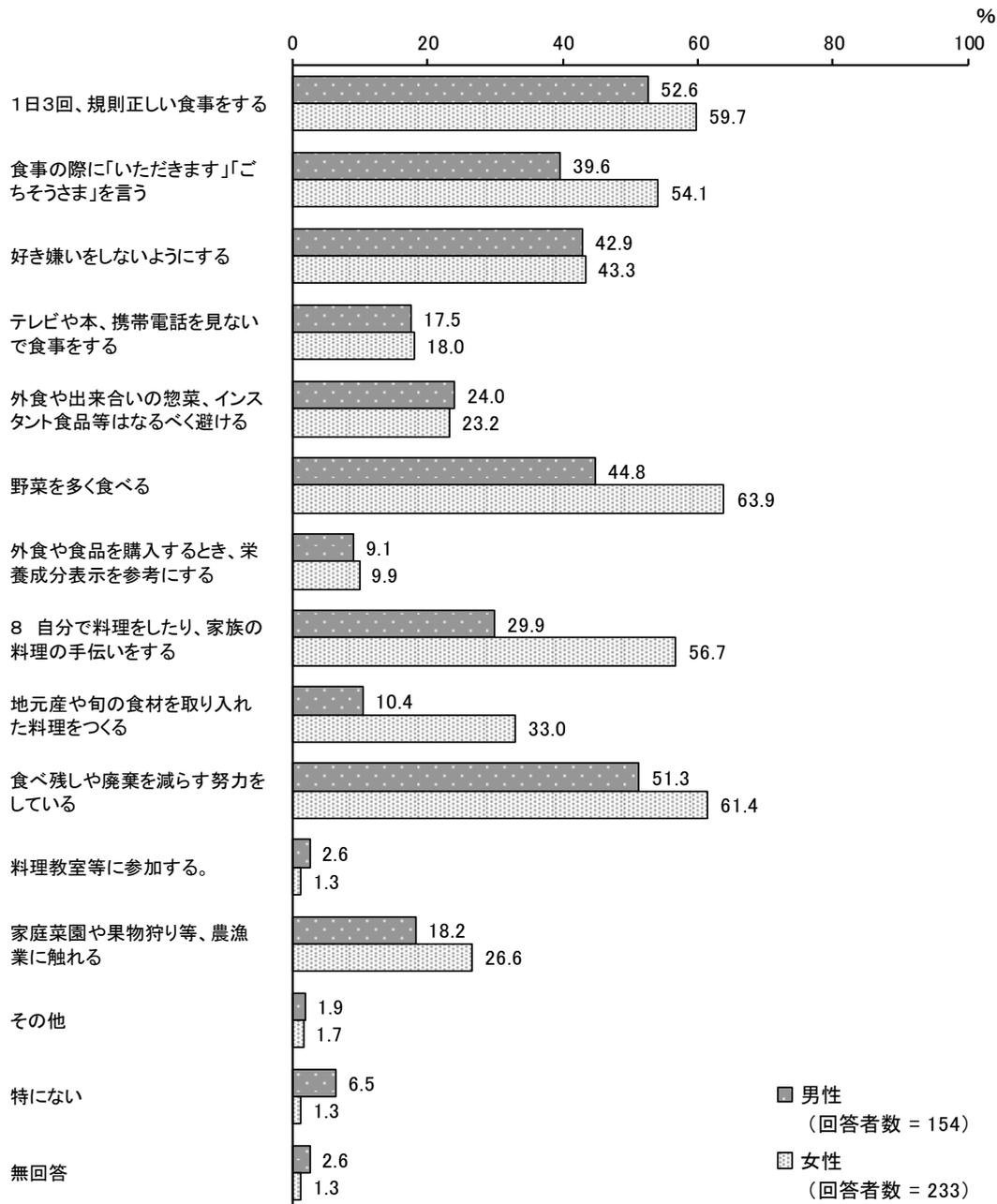
【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「食べ残しや廃棄を減らす努力をしている」の割合が増加し、「外食や出来合いの惣菜、インスタント食品等はなるべく避ける」「テレビや本、携帯電話を見ないで食事をする」「自分で料理をしたり、家族の料理の手伝いをする」の割合が減少しています。



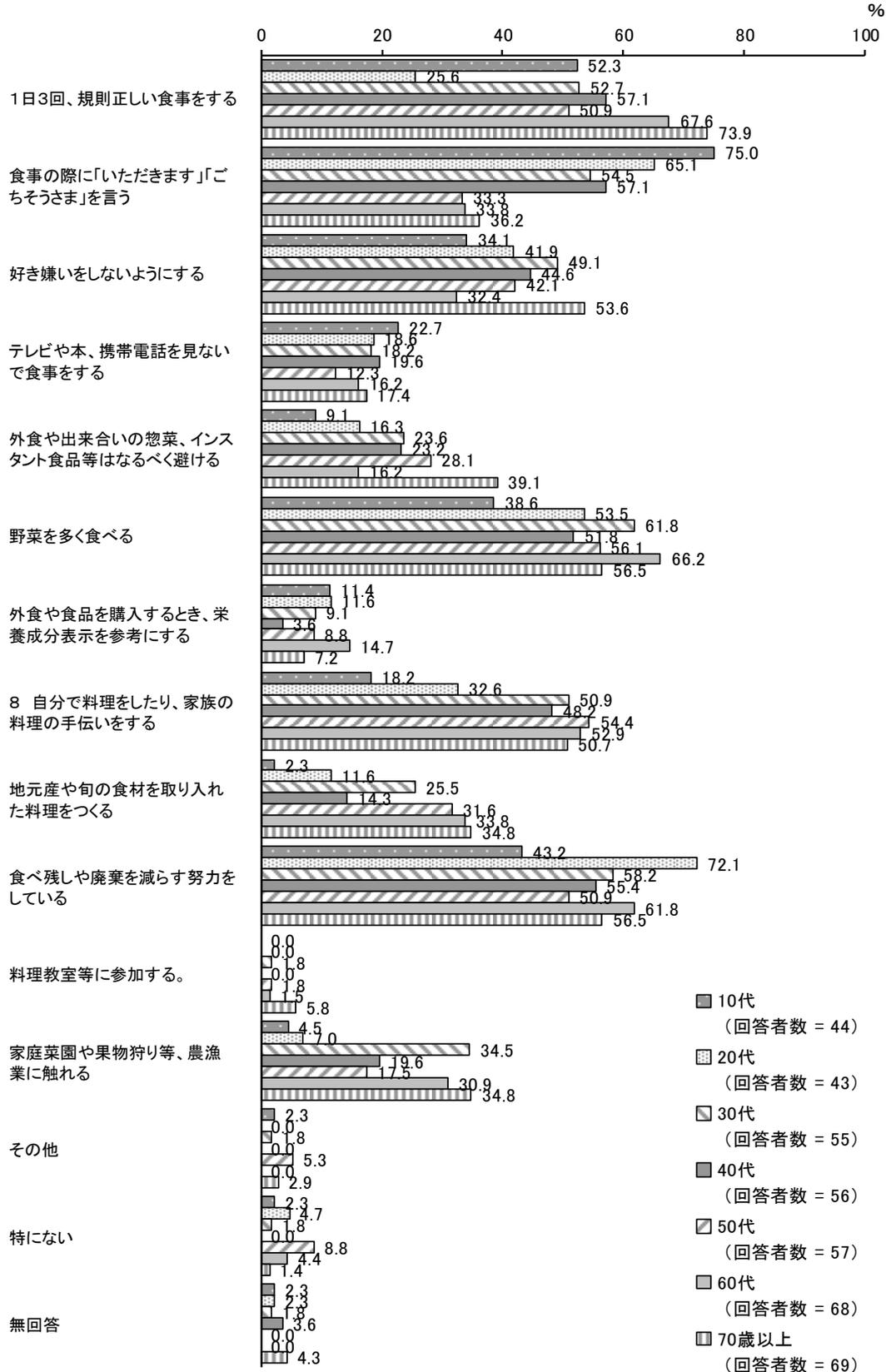
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「特にない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「1日3回、規則正しい食事をする」「食事の際に「いただきます」「ごちそうさま」を言う」「野菜を多く食べる」「自分で料理をしたり、家族の料理の手伝いをする」「地元産や旬の食材を取り入れた料理をつくる」「食べ残しや廃棄を減らす努力をしている」「家庭菜園や果物狩り等、農漁業に触れる」の割合が高くなっています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、10代で「食事の際に「いただきます」「ごちそうさま」を言う」の割合が、20代で「食べ残しや廃棄を減らす努力をしている」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「1日3回、規則正しい食事をする」の割合が高くなっています。

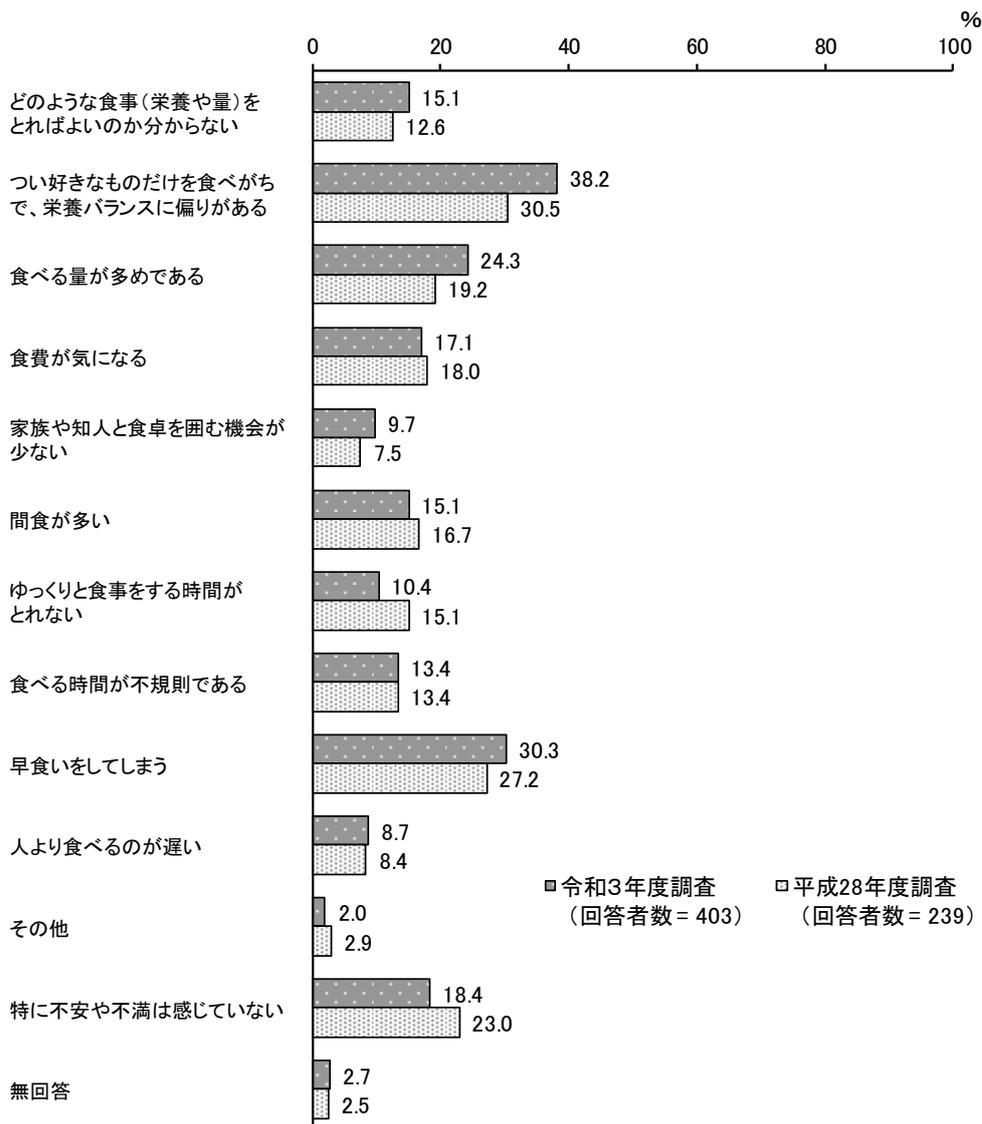


質問 12 あなたは自分の食事や食卓に対して、どのような不安や不満をお持ちですか。あてはまるものをすべてお選びください。(回答はいくつでも)

「つい好きなものだけを食べてがちで、栄養バランスに偏りがある」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「早食いをしてしまう」の割合が 30.3%、「食べる量が多めである」の割合が 24.3%となっています。

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「つい好きなものだけを食べてがちで、栄養バランスに偏りがある」「食べる量が多めである」の割合が増加しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「食費が気になる」「間食が多い」「ゆっくりと食事をする時間がとれない」「早食いをしてしまう」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数	どのような食事（栄養や量）をとればよいのか分からない	つい好きなものだけを食べて、栄養バランスに偏りがある	食べる量が多めである	食費が気になる	家族や知人と食卓を囲む機会が少ない	間食が多い	ゆっくりと食事をする時間がとれない	食べる時間が不規則である	早食いをしてしまう	人より食べるのが遅い	その他	特に不安や不満は感じていない	無回答
男性	154	14.3	39.6	25.3	11.7	11.7	11.0	6.5	14.3	26.6	7.1	2.6	20.8	3.2
女性	233	16.3	37.8	23.6	21.5	8.2	18.0	13.3	13.3	33.9	9.9	1.7	17.2	1.7

【年代別】

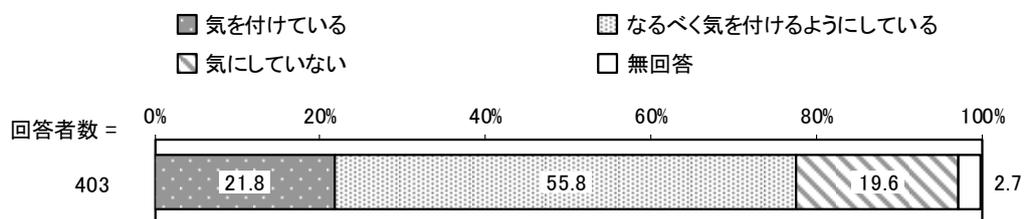
年代別でみると、他に比べ、40代で「つい好きなものだけを食べて、栄養バランスに偏りがある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数	どのような食事（栄養や量）をとればよいのか分からない	つい好きなものだけを食べて、栄養バランスに偏りがある	食べる量が多めである	食費が気になる	家族や知人と食卓を囲む機会が少ない	間食が多い	ゆっくりと食事をする時間がとれない	食べる時間が不規則である	早食いをしてしまう	人より食べるのが遅い	その他	特に不安や不満は感じていない	無回答
10代	44	13.6	36.4	25.0	9.1	4.5	18.2	6.8	15.9	22.7	15.9	—	18.2	2.3
20代	43	18.6	37.2	27.9	23.3	9.3	20.9	11.6	23.3	18.6	9.3	2.3	16.3	2.3
30代	55	12.7	34.5	25.5	27.3	5.5	12.7	20.0	12.7	36.4	3.6	3.6	20.0	1.8
40代	56	23.2	55.4	28.6	19.6	8.9	12.5	21.4	17.9	44.6	3.6	1.8	10.7	3.6
50代	57	14.0	45.6	29.8	21.1	14.0	22.8	10.5	8.8	36.8	1.8	1.8	15.8	—
60代	68	11.8	35.3	17.6	13.2	5.9	11.8	5.9	14.7	29.4	10.3	1.5	22.1	1.5
70歳以上	69	13.0	27.5	20.3	10.1	15.9	11.6	—	5.8	26.1	15.9	2.9	24.6	5.8

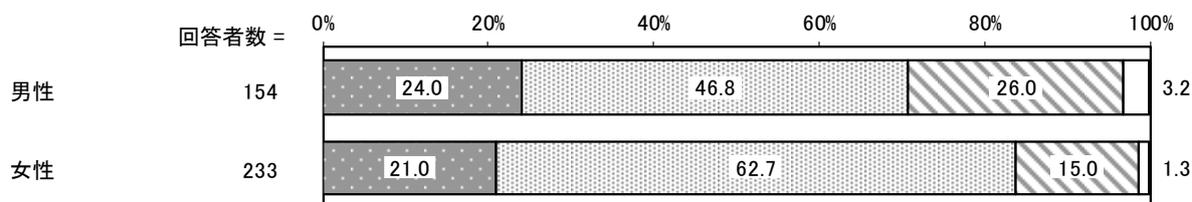
質問 13 あなたは生活習慣病の予防や改善のために、普段から適正体重の維持や減塩等に気を付けていますか（回答はひとつだけ）

「気を付けている」と「なるべく気を付けるようにしている」をあわせた“気を付けている”の割合が77.6%、「気にしていない」の割合が19.6%となっています。



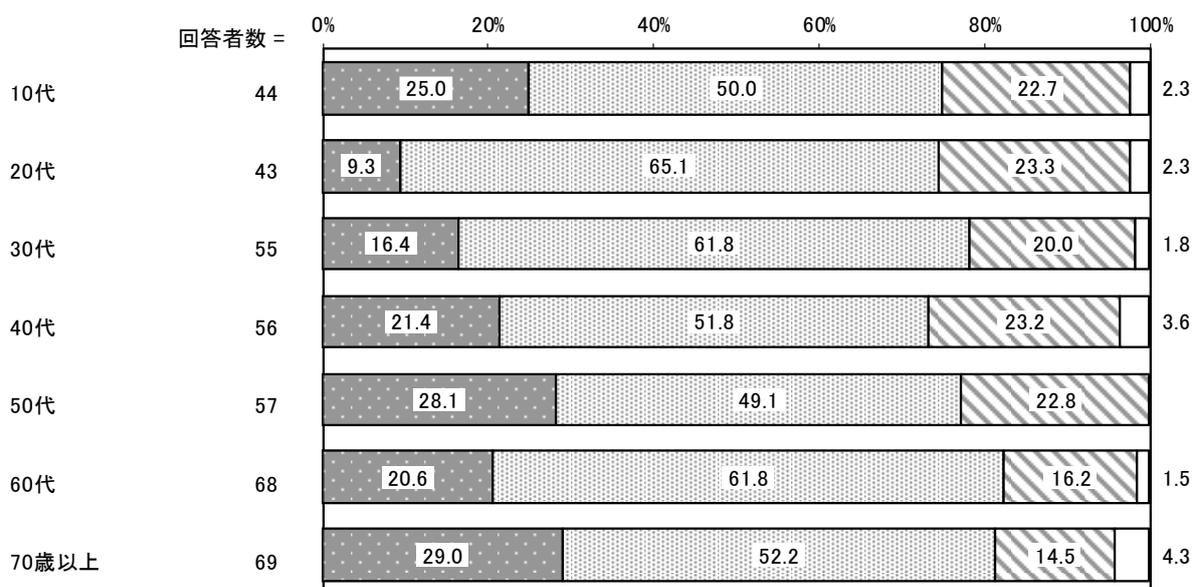
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「気にしていない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「なるべく気を付けるようにしている」の割合が高くなっています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、50代、70歳以上で「気を付けている」の割合が高くなっています。

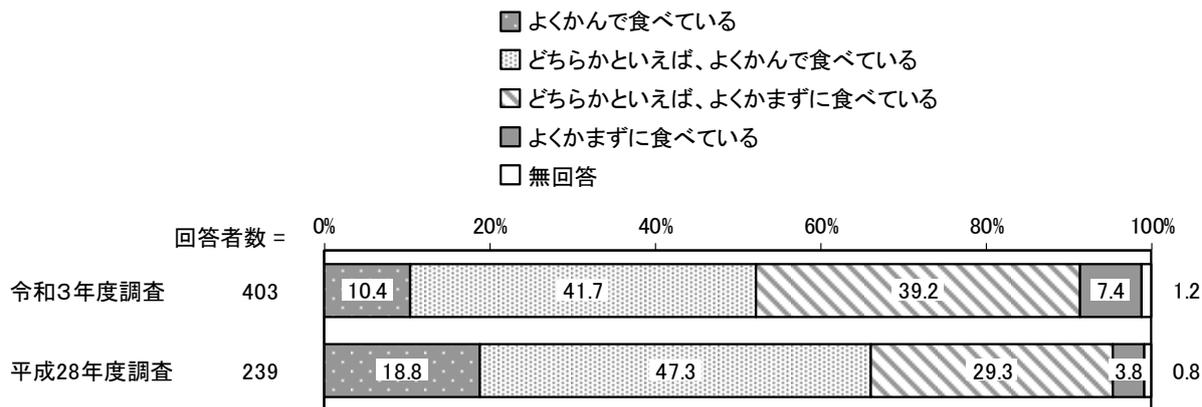


質問 14 あなたはよくかんで食事をしていますか。(回答はひとつだけ)

「どちらかといえば、よくかんで食べている」の割合が41.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば、よくかまずに食べている」の割合が39.2%、「よくかんで食べている」の割合が10.4%となっています。

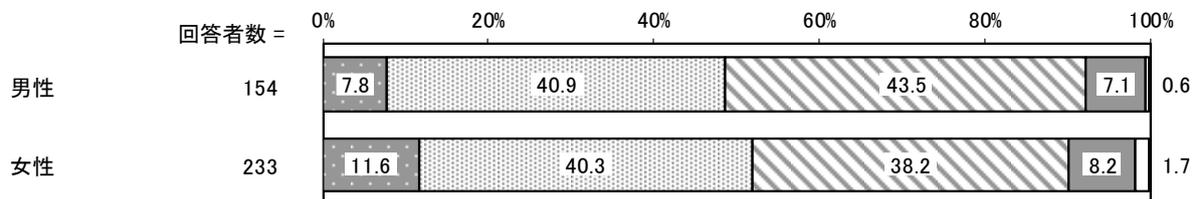
【経年比較】

平成28年度調査と比較すると、「どちらかといえば、よくかまずに食べている」の割合が増加し、「よくかんで食べている」「どちらかといえば、よくかんで食べている」の割合が減少しています。



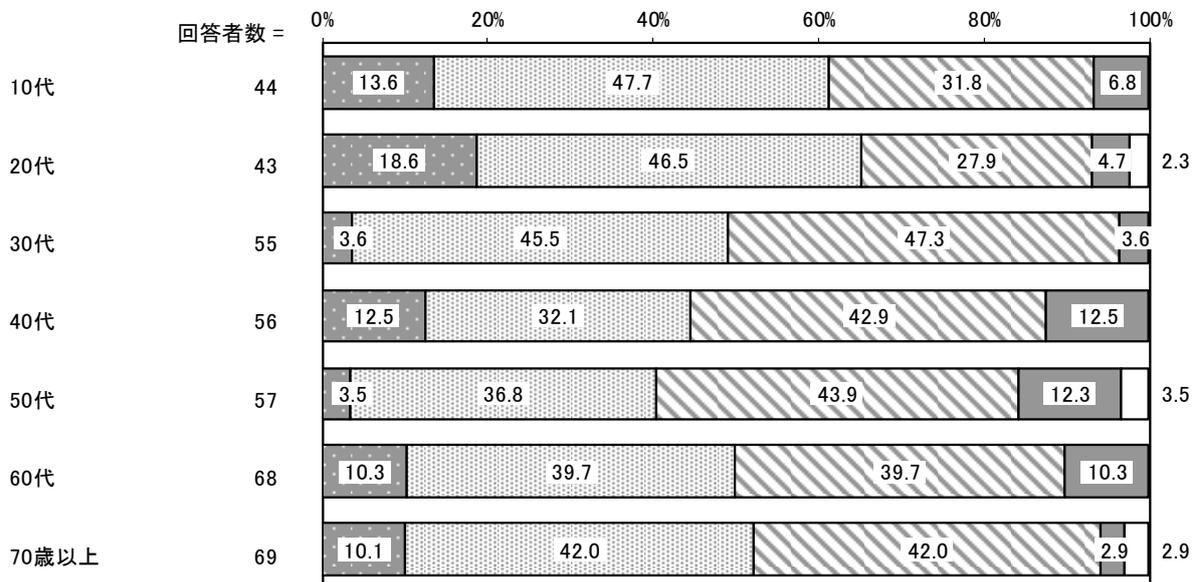
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「どちらかといえば、よくかまずに食べている」の割合が高くなっています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20代で「よくかんで食べている」の割合が高くなっています。

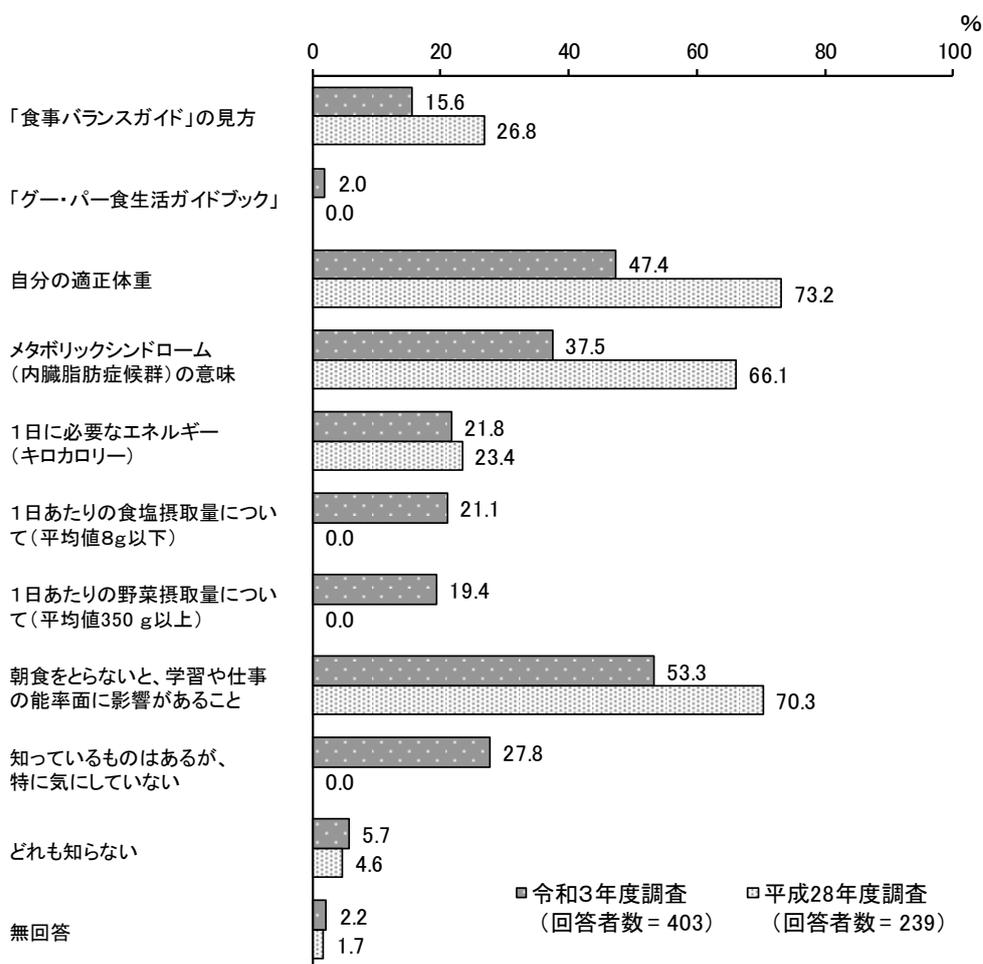


質問 15 あなたは以下のことについて知っていたり、気を付けていますか。該当するものをすべてお選びください。(回答はいくつでも)

「朝食をとらないと、学習や仕事の能率面に影響があること」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「自分の適正体重」の割合が 47.4%、「メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の意味」の割合が 37.5%となっています。

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「食事バランスガイド」の見方」「自分の適性体重」「メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の意味」「朝食をとらないと、学習や仕事の能率面に影響があること」の割合が減少しています。



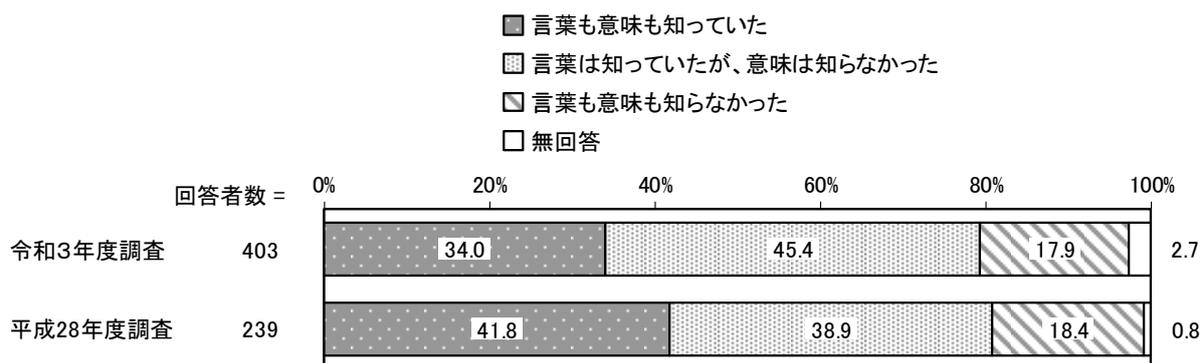
(3) 食育について

質問 16 あなたは「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。(回答はひとつだけ)

「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」の割合が 45.4%と最も高く、次いで「言葉も意味も知っていた」の割合が 34.0%、「言葉も意味も知らなかった」の割合が 17.9%となっています。

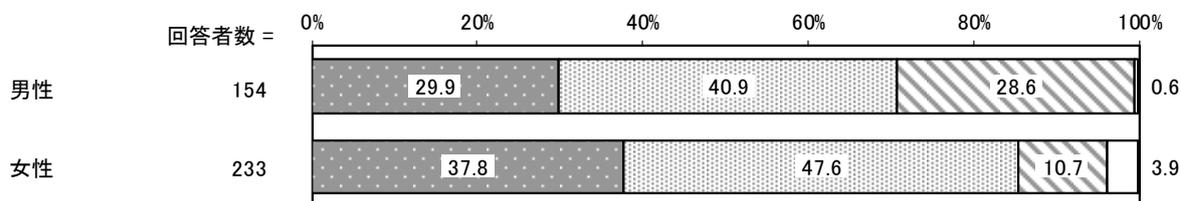
【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」の割合が増加し、「言葉も意味も知っていた」の割合が減少しています。



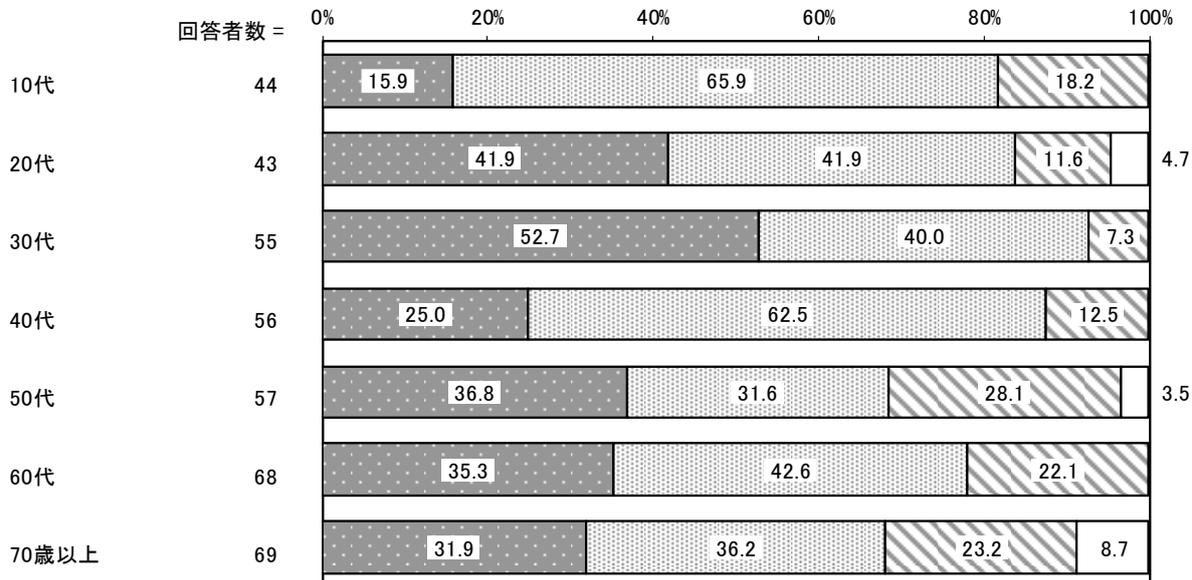
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「言葉も意味も知らなかった」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「言葉も意味も知っていた」「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」の割合が高くなっています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、30代で「言葉も意味も知っていた」の割合が高くなっています。

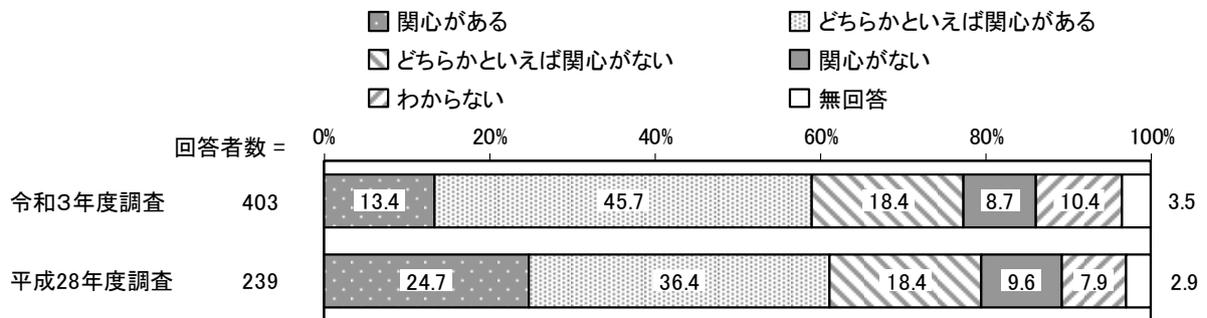


質問 17 あなたは「食育」について関心がありますか。(回答はひとつだけ)

「どちらかといえば関心がある」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば関心がない」の割合が 18.4%、「関心がある」の割合が 13.4%となっています。

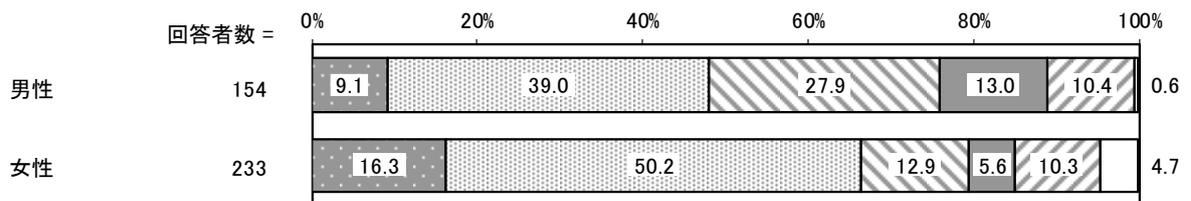
【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。



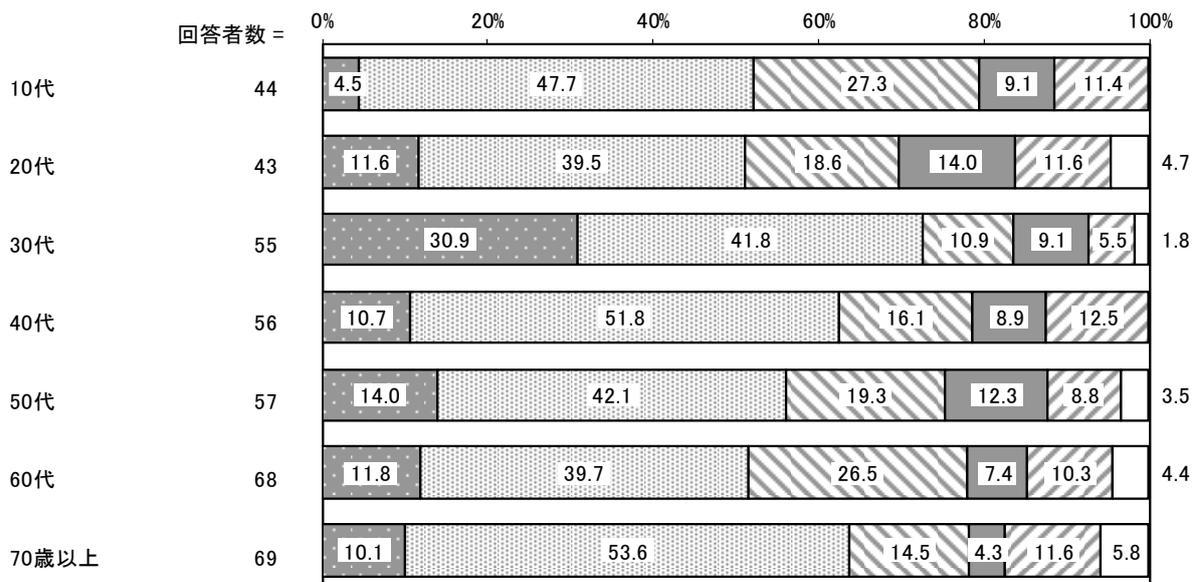
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「どちらかといえば関心がない」「関心がない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「関心がある」「どちらかといえば関心がある」の割合が高くなっています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、30代で「関心がある」の割合が高くなっています。

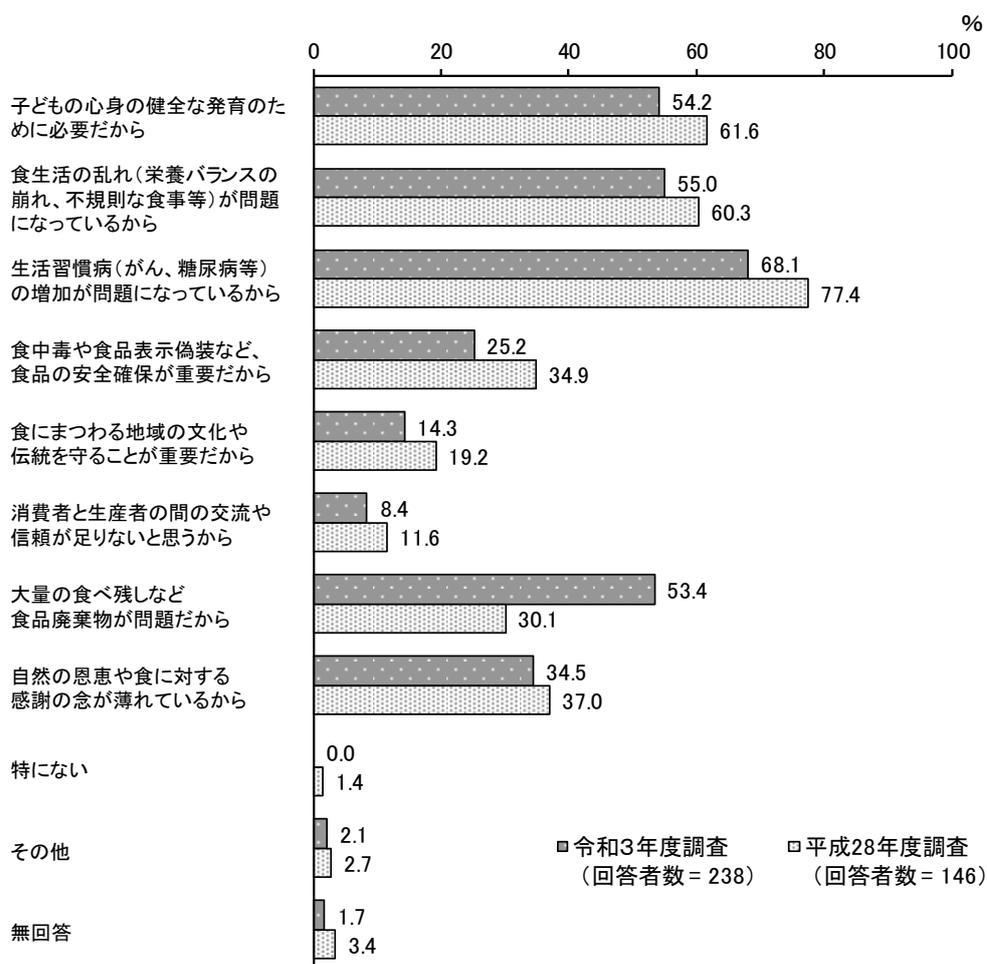


質問 18 あなたが「食育」に関心がある理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。（回答はいくつでも）

「生活習慣病（がん、糖尿病等）の増加が問題になっているから」の割合が 68.1%と最も高く、次いで「食生活の乱れ（栄養バランスの崩れ、不規則な食事等）が問題になっているから」の割合が 55.0%、「子どもの心身の健全な発育のために必要だから」の割合が 54.2%となっています。

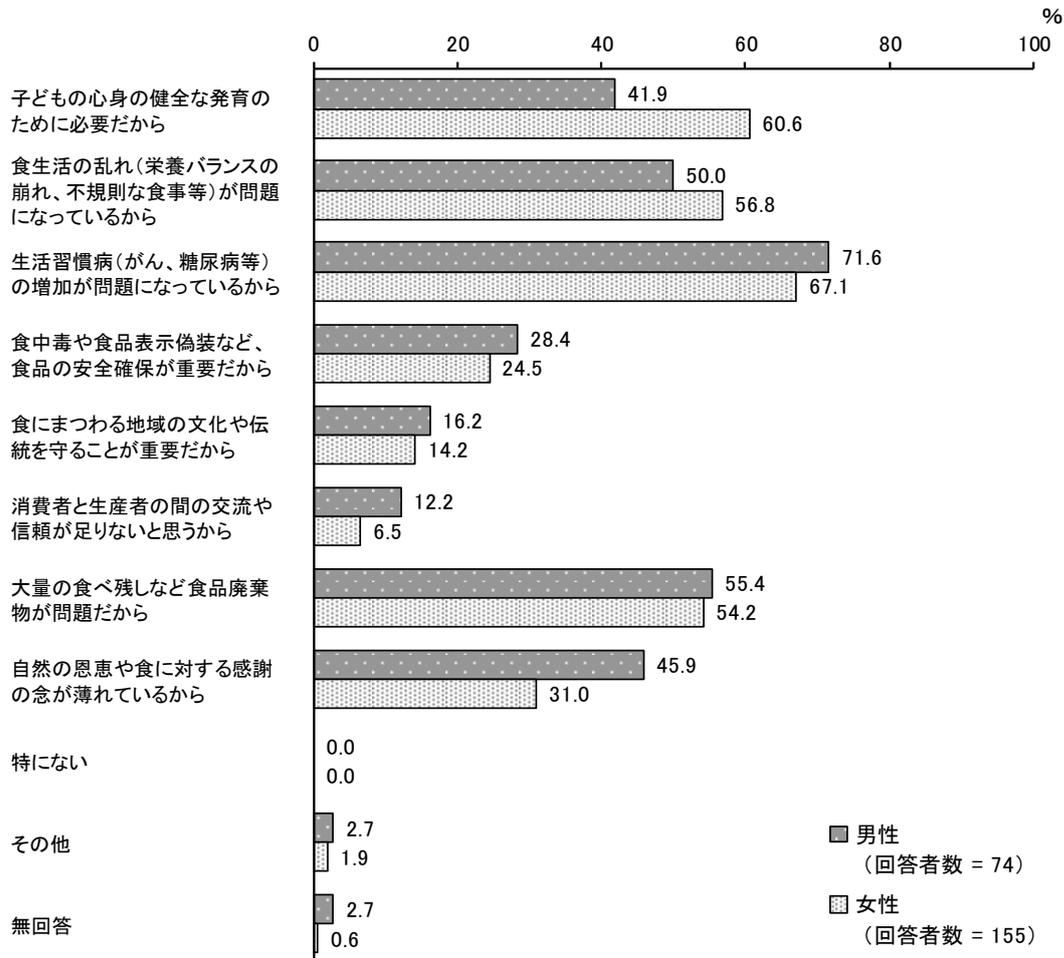
【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「大量の食べ残しなど食品廃棄物が問題だから」の割合が増加し、「生活習慣病（がん、糖尿病等）の増加が問題になっているから」「食中毒や食品表示偽装など、食品の安全確保が重要だから」の割合が減少しています。



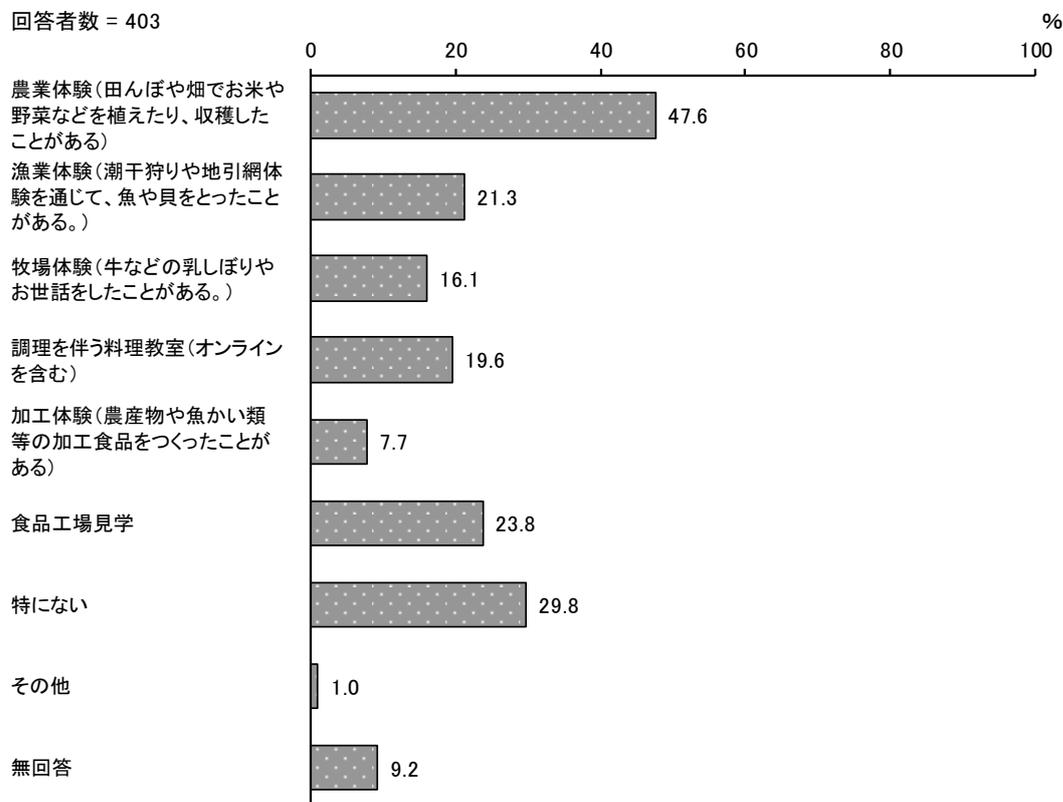
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「消費者と生産者間の交流や信頼が足りないと思うから」「自然の恩恵や食に対する感謝の念が薄れているから」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「子どもの心身の健全な発育のために必要だから」「食生活の乱れ（栄養バランスの崩れ、不規則な食事等）が問題になっているから」の割合が高くなっています。



質問 19 食物への関心や理解を深めるため、あなたがこれまで経験したことがあるものを選んでください。(回答はいくつでも)

「農業体験(田んぼや畑でお米や野菜などを植えたり、収穫したことがある)」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「特にない」の割合が 29.8%、「食品工場見学」の割合が 23.8%となっています。



【年代別】

年代別でみると、すべての年代で「農業体験」の割合が高くなっています。また、10代で「牧場体験」の割合が高くなっています。

単位：%

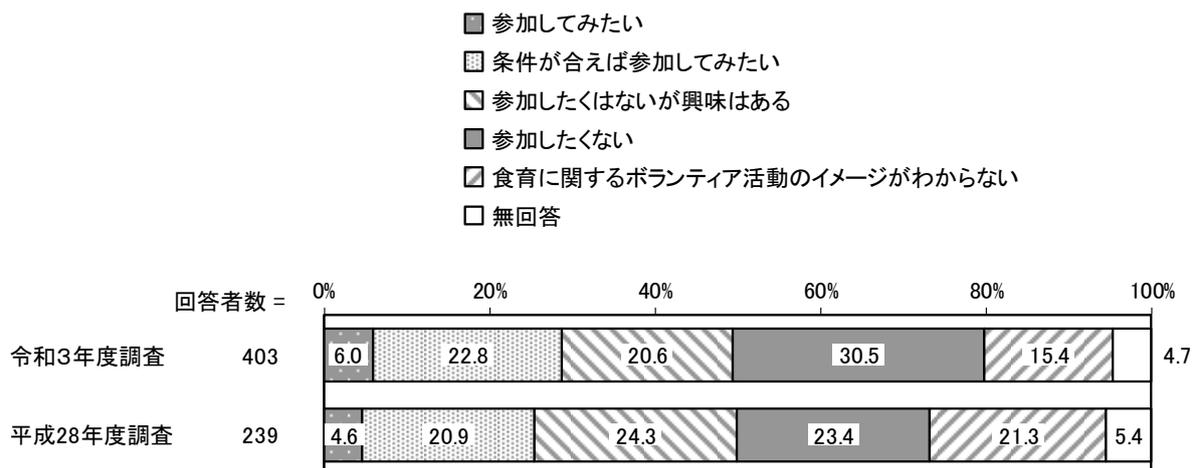
区分	回答者数	農業体験	漁業体験	牧場体験	調理を伴う料理教室	加工体験	食品工場見学	特にない	その他	無回答
10代	44	56.8	15.9	47.7	27.3	6.8	25.0	20.5	—	9.1
20代	43	53.5	20.9	34.9	20.9	9.3	37.2	32.6	—	2.3
30代	55	54.5	21.8	16.4	20.0	3.6	25.5	21.8	—	7.3
40代	56	48.2	28.6	12.5	19.6	7.1	28.6	35.7	—	3.6
50代	57	42.1	17.5	10.5	24.6	5.3	24.6	35.1	1.8	7.0
60代	68	44.1	23.5	5.9	7.4	13.2	16.2	33.8	1.5	14.7
70歳以上	69	37.7	20.3	1.4	20.3	7.2	18.8	30.4	1.4	15.9

質問 20 あなたは、食育に関するボランティア活動（講演、調理実習の受け入れ、それらのサポート活動など）に参加してみたいと思いますか。（回答はひとつ）

「参加したくない」の割合が 30.5%と最も高く、次いで「条件が合えば参加してみたい」の割合が 22.8%、「参加したくはないが興味はある」の割合が 20.6%となっています。

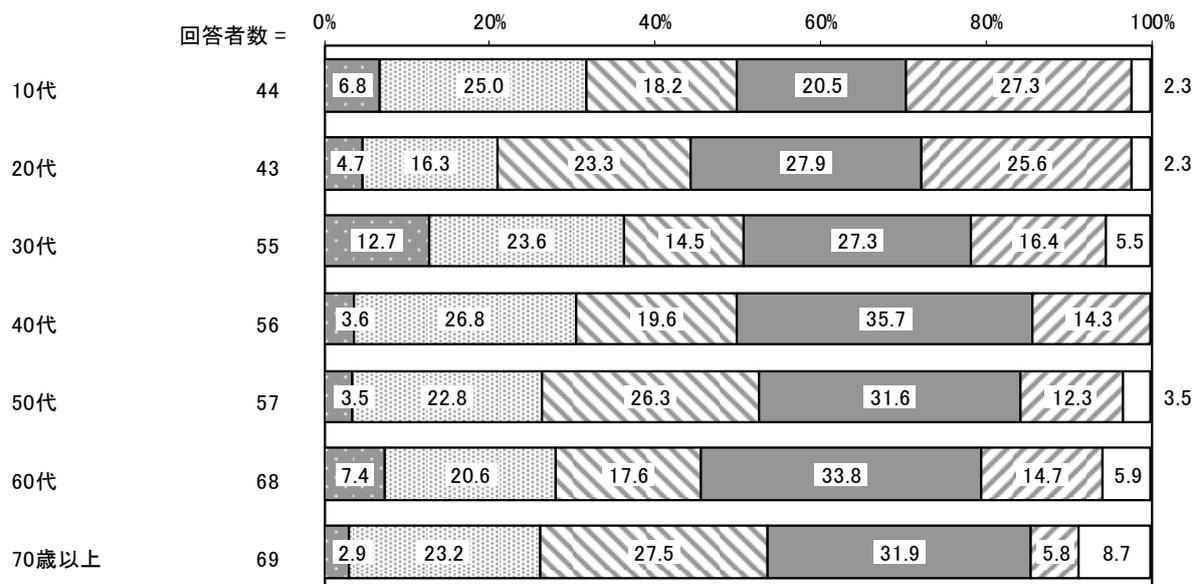
【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「参加したくない」の割合が増加し、「食育に関するボランティア活動のイメージがわからない」の割合が減少しています。



【年代別】

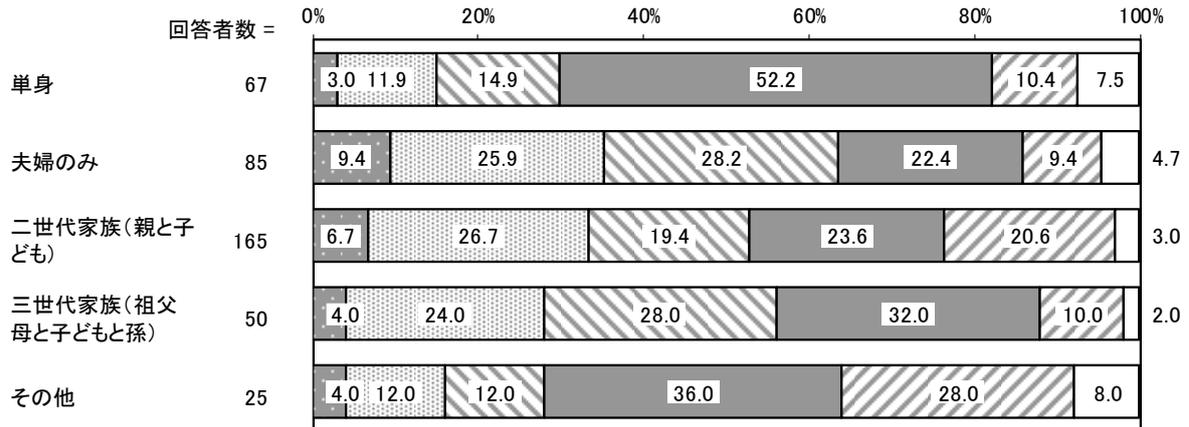
年代別でみると、他に比べ、30代で「参加してみたい」の割合が高くなっています。また、10代、20代で「食育に関するボランティア活動のイメージがわからない」の割合が高くなっています。



【家族構成別】

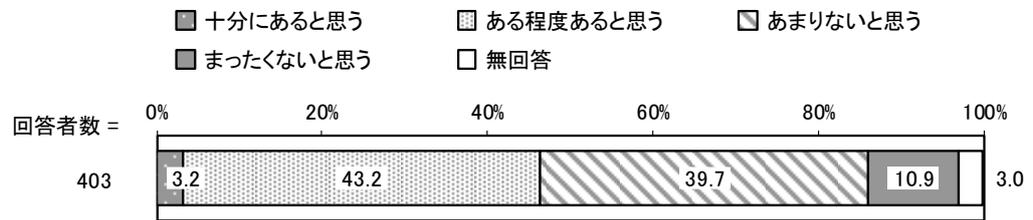
家族構成別で見ると、他に比べ、単身で「参加したくない」の割合が高くなっています。

- 参加してみたい
- ▨ 条件が合えば参加してみたい
- ▩ 参加したくないが興味はある
- 参加したくない
- ▨ 食育に関するボランティア活動のイメージがわからない
- 無回答



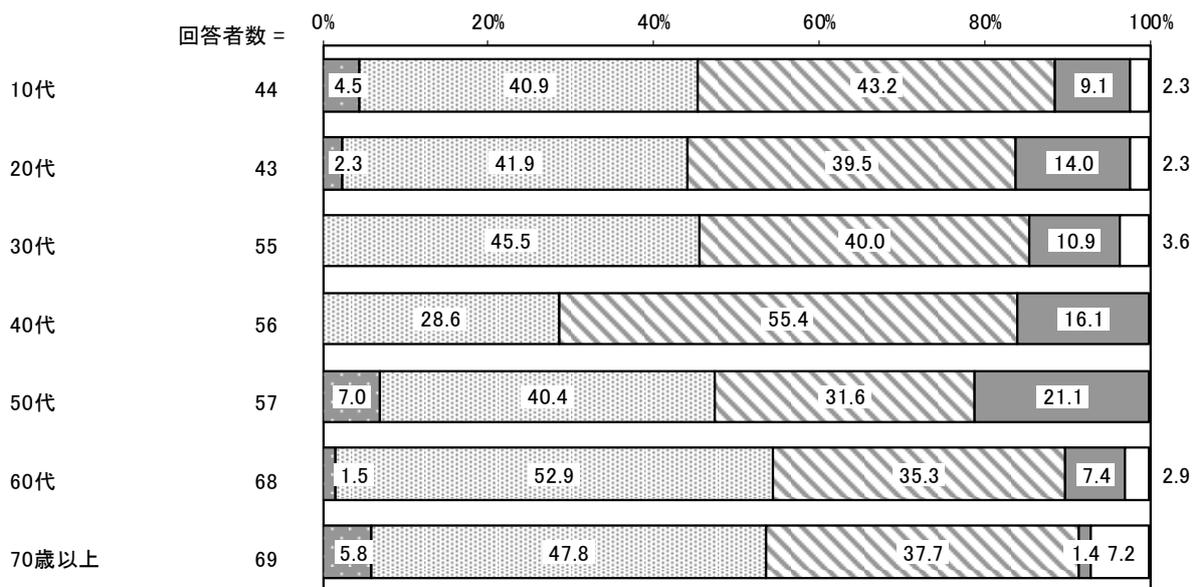
質問 21 あなたは、安全な食生活を送るための、食品の安全性に関する基礎的な知識があると思いますか。(回答はひとつだけ)

「ある程度あると思う」の割合が 43.2%と最も高く、次いで「あまりないと思う」の割合が 39.7%、「まったくないと思う」の割合が 10.9%となっています。



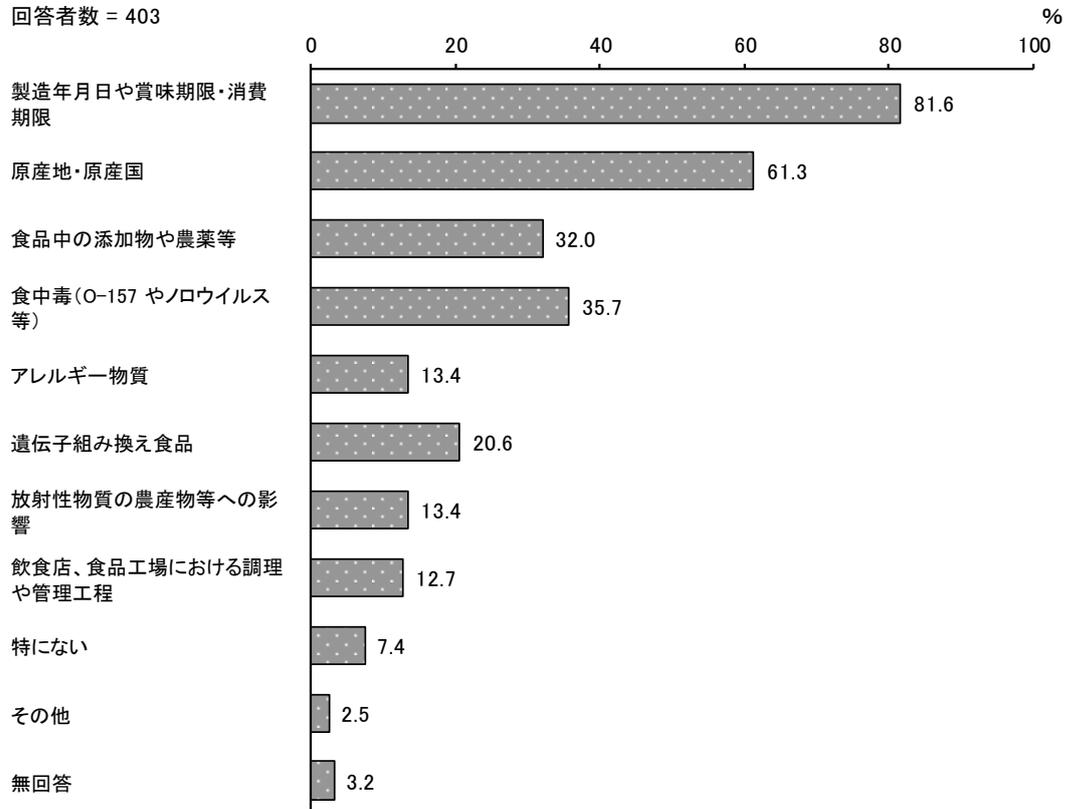
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、60代で「ある程度あると思う」の割合が高くなっています。また、50代で「まったくないと思う」の割合が高くなっています。



質問 22 あなたが、食材や食品を購入するときや調理するときを気にしていることは何ですか。(回答はいくつでも)

「製造年月日や賞味期限・消費期限」の割合が 81.6%と最も高く、次いで「原産地・原産国」の割合が 61.3%、「食中毒 (O-157 やノロウイルス等)」の割合が 35.7%となっています。



【性・年代別】

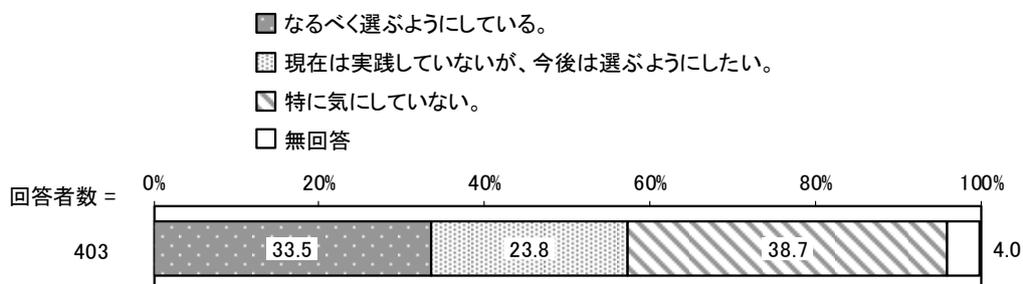
性・年代別で見ると、他に比べ、女性の10代で「製造年月日や賞味期限・消費期限」の割合が高くなっています。また、女性の60代で「原産地・原産国」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数	製造年月日や賞味期限・消費期限	原産地・原産国	食品中の添加物や農薬等	食中毒（O157やノロウイルス等）	アレルギー物質	遺伝子組み換え食品	放射性物質の農産物等への影響	飲食店、食品工場における調理や管理工程	特にない	その他	無回答
男性 10代	16	75.0	37.5	12.5	12.5	—	6.3	12.5	6.3	18.8	—	6.3
20代	14	85.7	28.6	35.7	42.9	14.3	21.4	14.3	14.3	7.1	—	—
30代	21	81.0	42.9	23.8	33.3	19.0	14.3	19.0	9.5	9.5	4.8	4.8
40代	19	89.5	73.7	26.3	26.3	15.8	21.1	15.8	15.8	5.3	—	—
50代	23	65.2	52.2	13.0	30.4	8.7	17.4	13.0	8.7	21.7	4.3	4.3
60代	32	59.4	46.9	25.0	18.8	6.3	15.6	3.1	6.3	21.9	6.3	3.1
70歳以上	29	75.9	65.5	34.5	27.6	10.3	17.2	24.1	13.8	3.4	10.3	3.4
女性 10代	26	96.2	50.0	26.9	30.8	11.5	15.4	3.8	11.5	3.8	—	—
20代	29	89.7	41.4	6.9	34.5	17.2	6.9	17.2	10.3	6.9	—	3.4
30代	31	90.3	80.6	41.9	64.5	19.4	35.5	12.9	16.1	—	—	3.2
40代	37	83.8	62.2	24.3	29.7	10.8	8.1	8.1	8.1	5.4	2.7	—
50代	33	81.8	66.7	57.6	48.5	12.1	30.3	15.2	15.2	3.0	—	3.0
60代	36	91.7	94.4	55.6	55.6	19.4	44.4	16.7	16.7	—	2.8	—
70歳以上	40	85.0	77.5	45.0	35.0	15.0	22.5	15.0	12.5	2.5	2.5	10.0

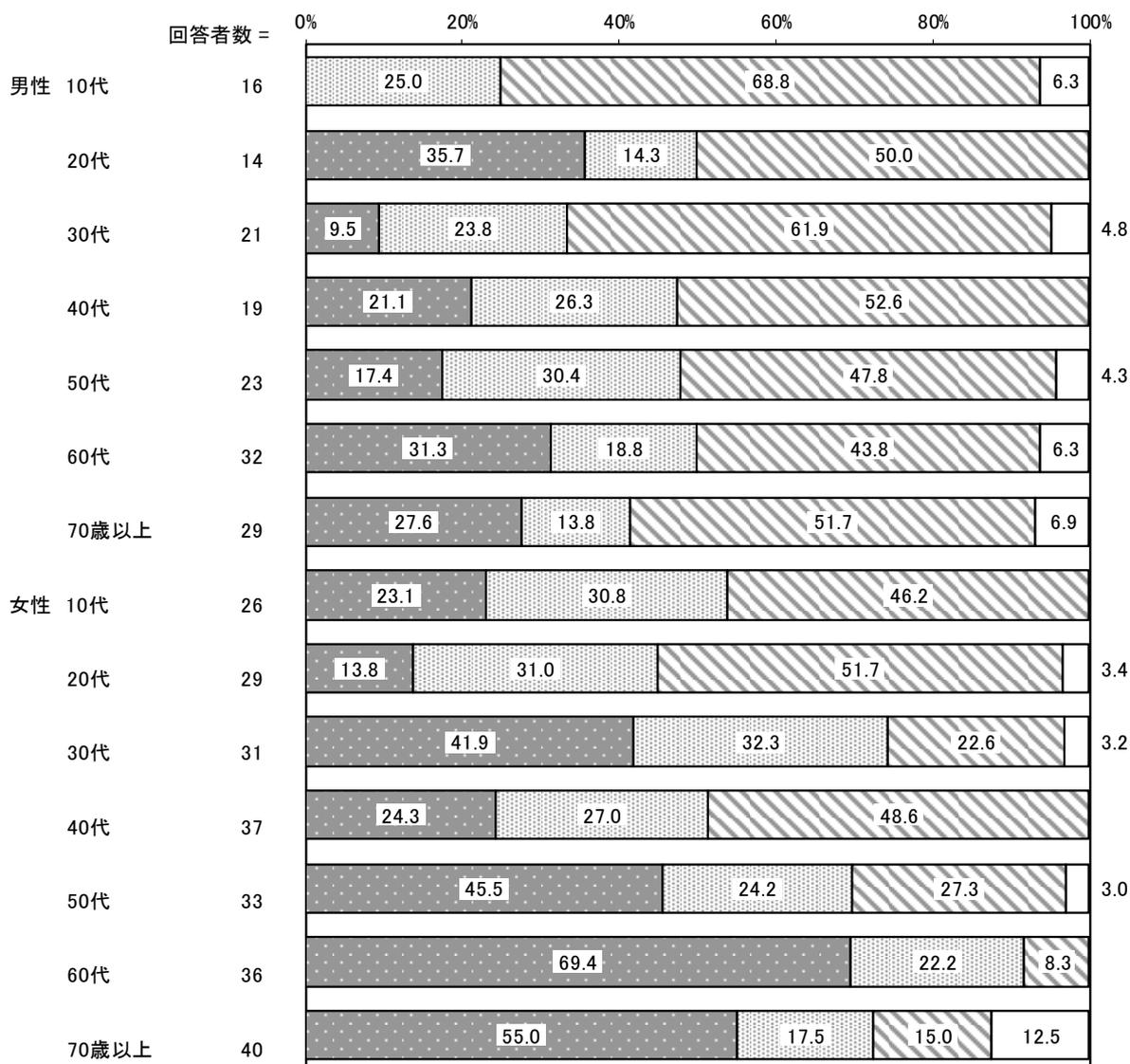
**質問 23 あなたは食品を購入するとき、環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶよう
していますか（回答はひとつだけ）**

「特に気にしていない。」の割合が 38.7%と最も高く、次いで「なるべく選ぶようになっている。」の割合が 33.5%、「現在は実践していないが、今後は選ぶようにしたい。」の割合が 23.8%となっています。



【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、女性の60代で「なるべく選ぶようになっている。」の割合が高くなっています。また、男性の10代で「特に気にしていない。」の割合が高くなっています。

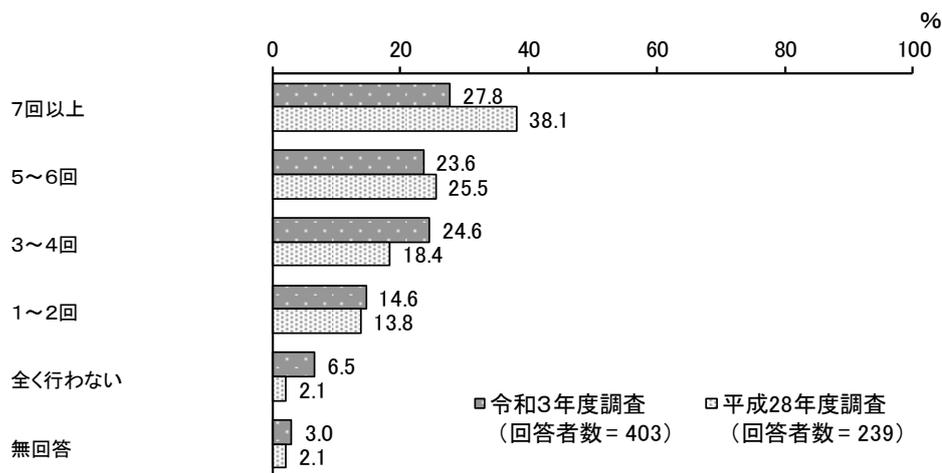


質問 24 あなたは家庭において、行事食を伴う伝統的な行事を年間どの程度行っていますか。(回答はいくつでも)

「7回以上」の割合が 27.8%と最も高く、次いで「3～4回」の割合が 24.6%、「5～6回」の割合が 23.6%となっています。

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「3～4回」の割合が増加し、「7回以上」の割合が減少しています。

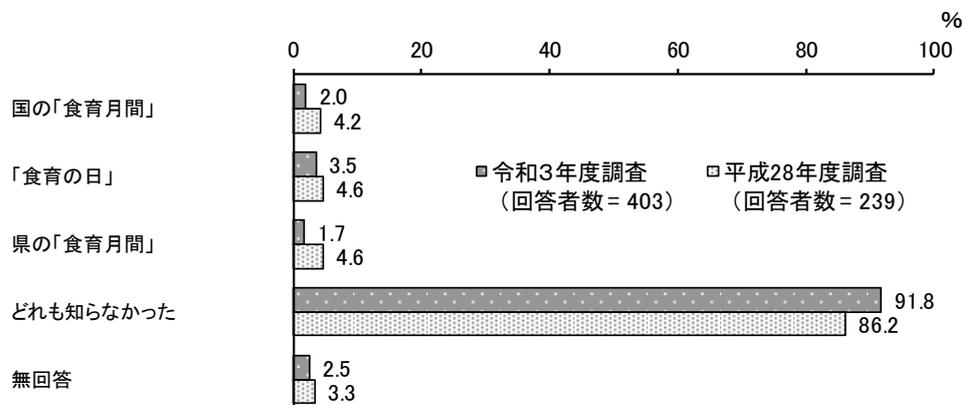


質問 25 国が定めた「食育月間」は6月で、「食育の日」は毎月19日、また、千葉県が定めた「食育月間」は11月となっていますが、あなたが知っているものはどれですか。(回答はいくつでも)

「どれも知らなかった」の割合が 91.8%と最も高くなっています。

【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「どれも知らなかった」の割合が増加しています。

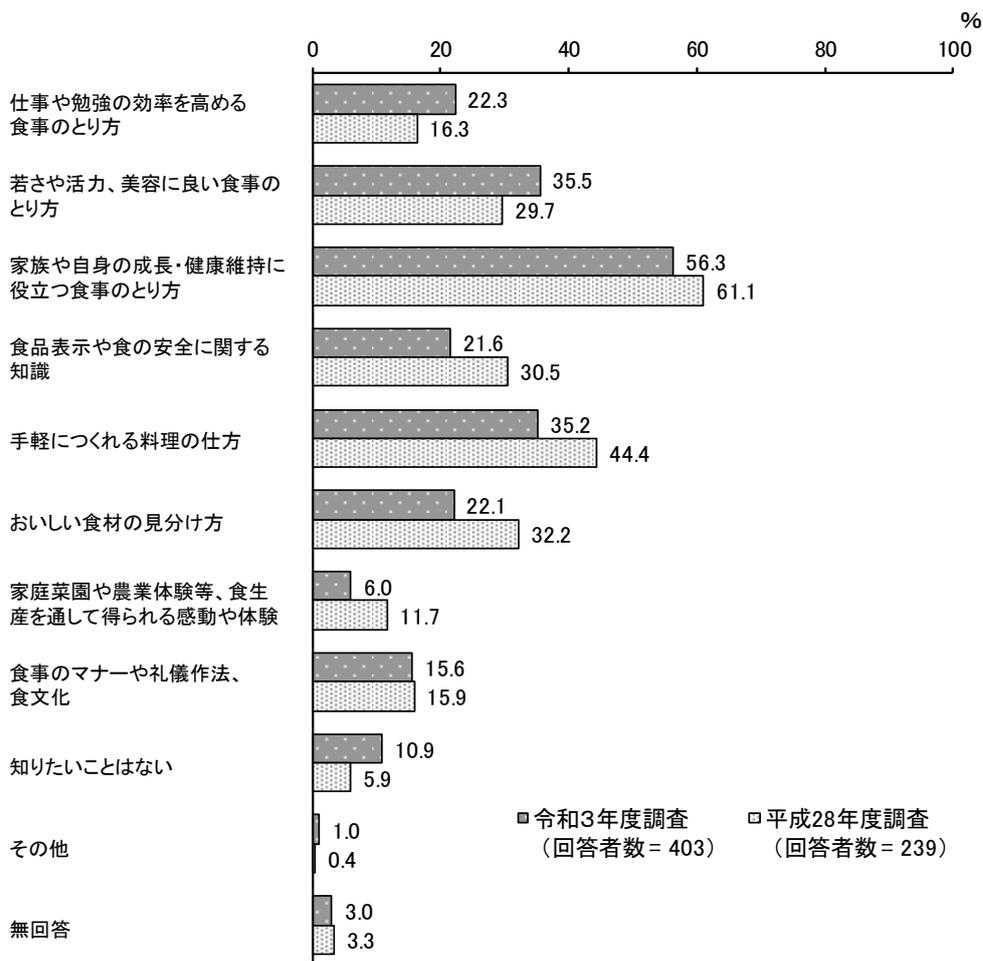


質問 26 あなたは食育を通してどのようなことを知りたいですか。特にあてはまるものを3つまでお選びください。(回答は3つまで)

「家族や自身の成長・健康維持に役立つ食事のとり方」の割合が56.3%と最も高く、次いで「若さや活力、美容に良い食事のとり方」の割合が35.5%、「手軽につくれる料理の仕方」の割合が35.2%となっています。

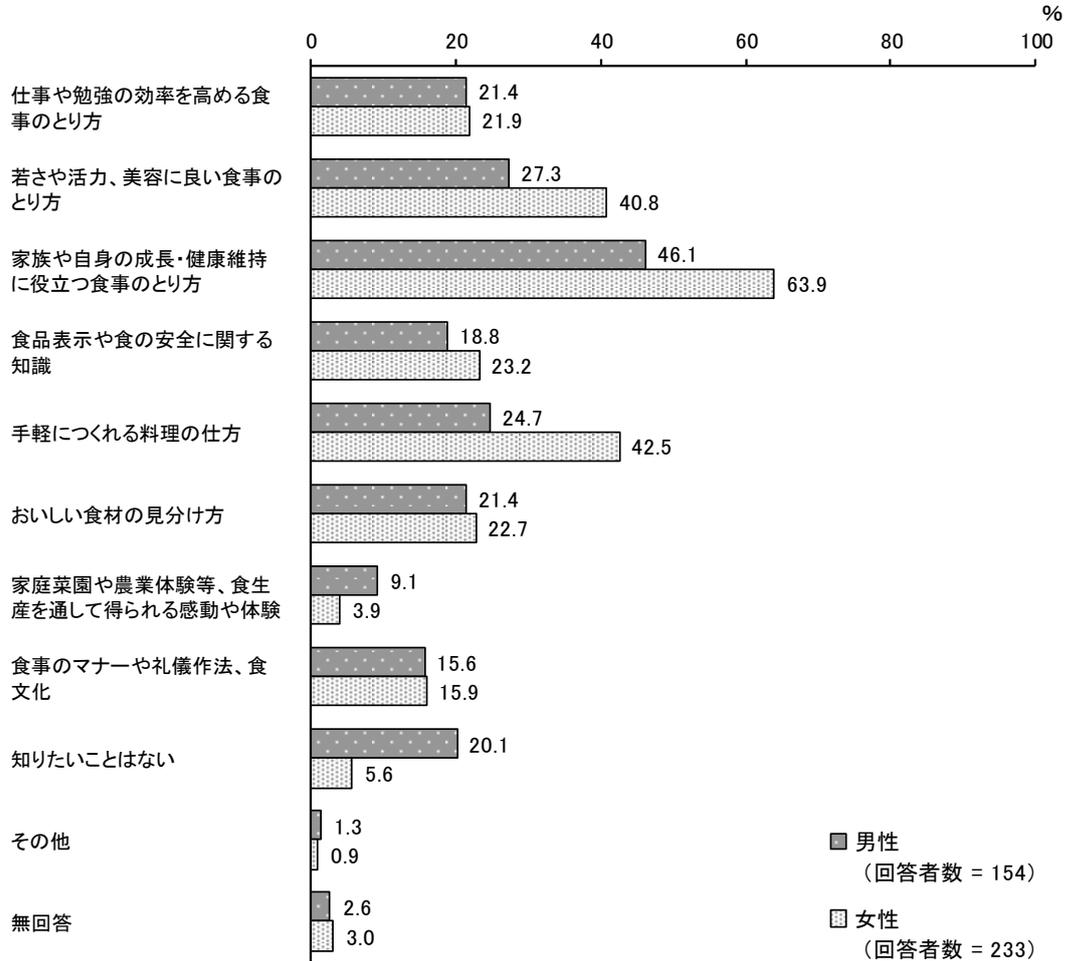
【経年比較】

平成28年度調査と比較すると、「若さや活力、美容に良い食事のとり方」の割合が増加し、「食品表示や食の安全に関する知識」「手軽につくれる料理の仕方」「おいしい食材の見分け方」の割合が減少しています。



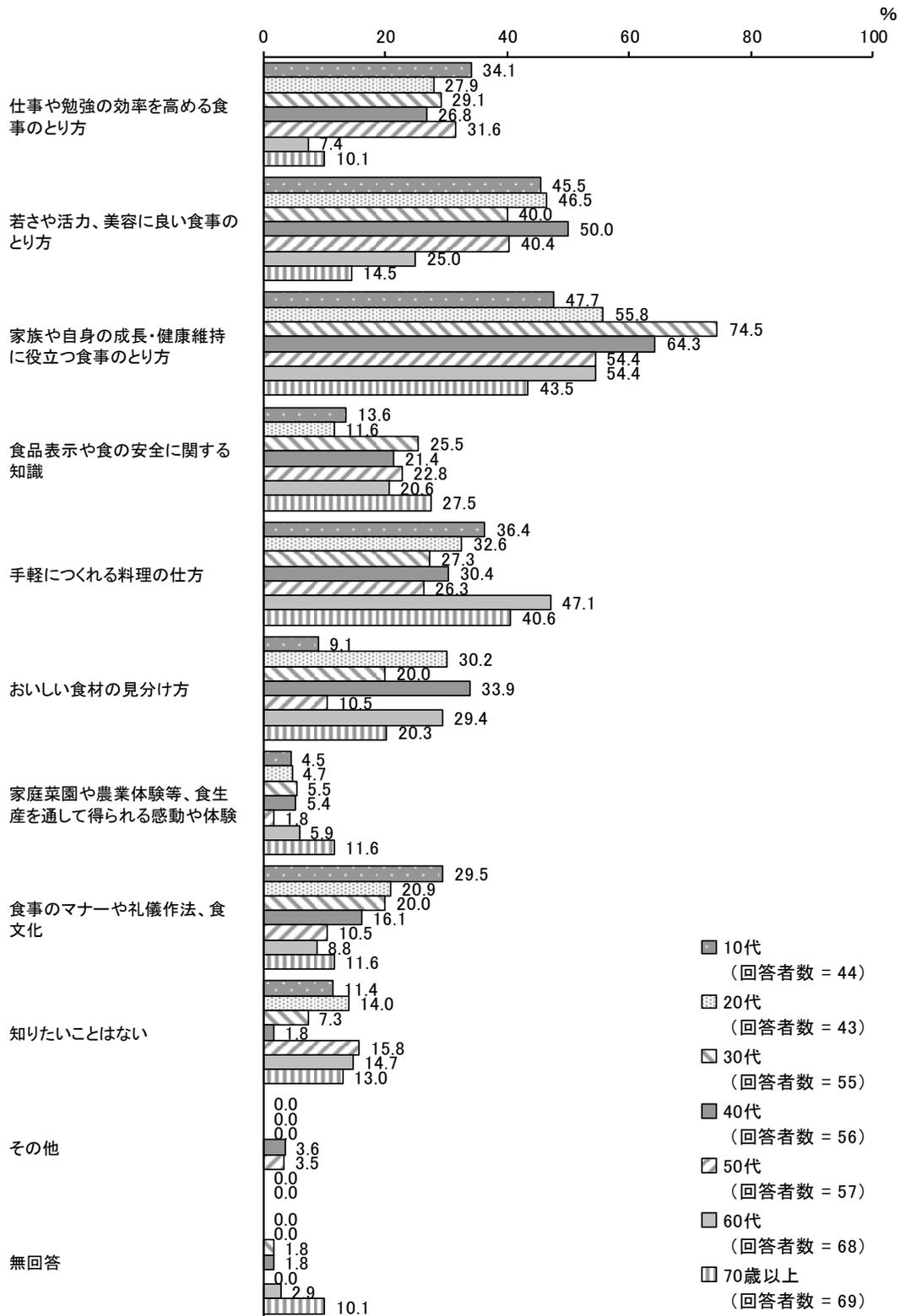
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「家庭菜園や農業体験等、食生産を通して得られる感動や体験」「知りたいことはない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「若さや活力、美容に良い食事のとり方」「家族や自身の成長・健康維持に役立つ食事のとり方」「手軽につくれる料理の仕方」の割合が高くなっています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、30代で「家族や自身の成長・健康維持に役立つ食事のとり方」の割合が高くなっています。



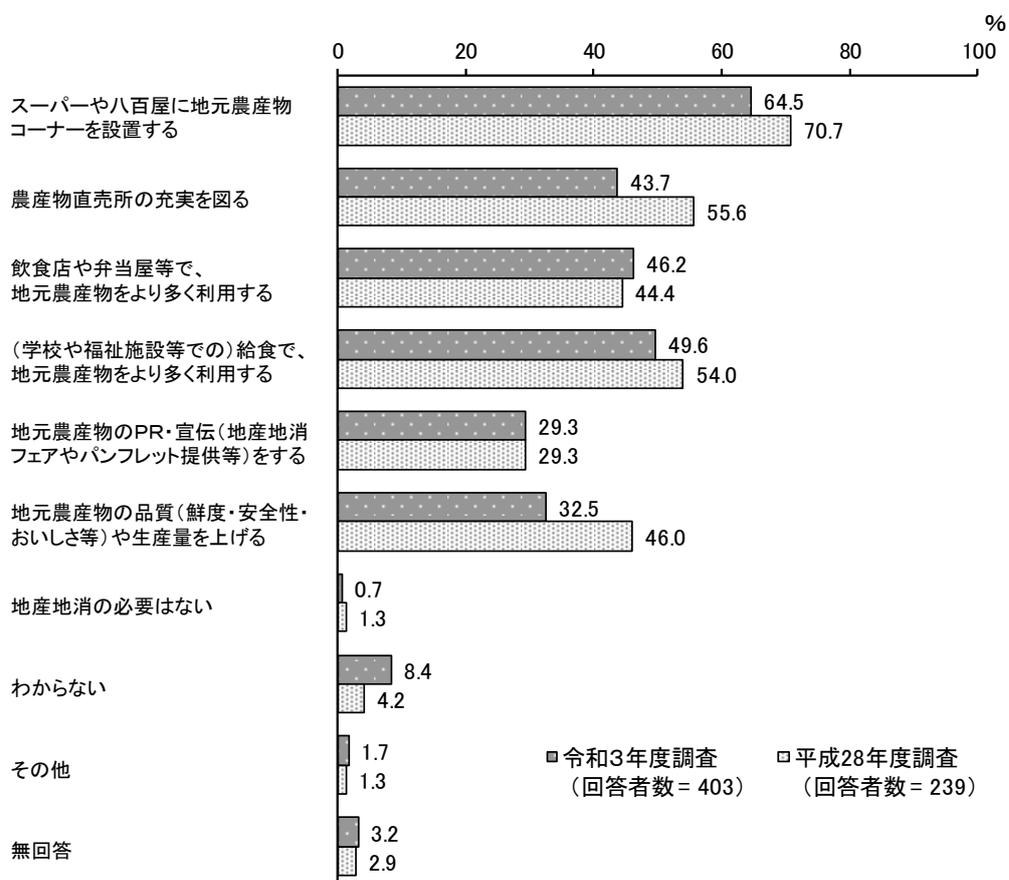
(4) 地域における「食」について

質問 27 この地産地消を進めていく上で、あなたが必要だと思うものをすべてお選びください。(回答はいくつでも)

「スーパーや八百屋に地元農産物コーナーを設置する」の割合が 64.5%と最も高く、次いで「(学校や福祉施設等での)給食で、地元農産物をより多く利用する」の割合が 49.6%、「飲食店や弁当屋等で、地元農産物をより多く利用する」の割合が 46.2%となっています。

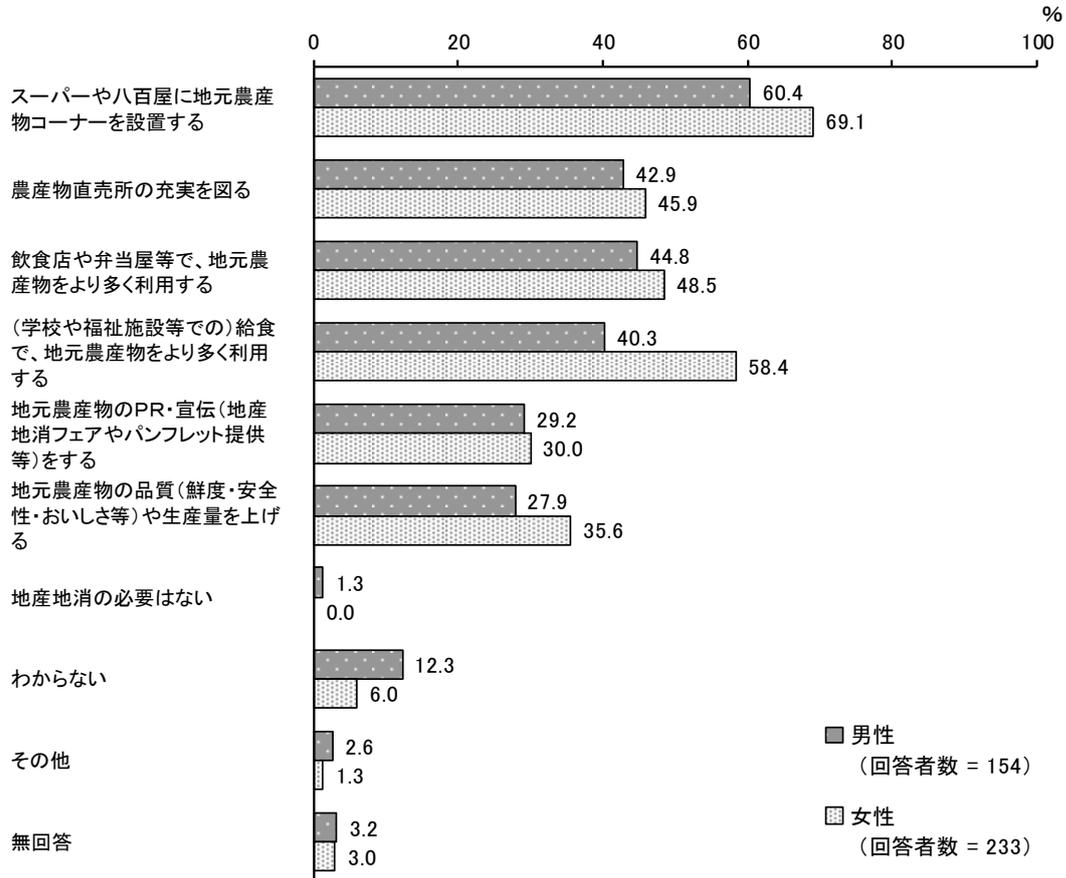
【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「スーパーや八百屋に地元農産物コーナーを設置する」「農産物直売所の充実を図る」「地元農産物の品質(鮮度・安全性・おいしさ等)や生産量を上げる」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「わからない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「スーパーや八百屋に地元農産物コーナーを設置する」「(学校や福祉施設等での) 給食で、地元農産物をより多く利用する」「地元農産物の品質(鮮度・安全性・おいしさ等)や生産量上げる」の割合が高くなっています。

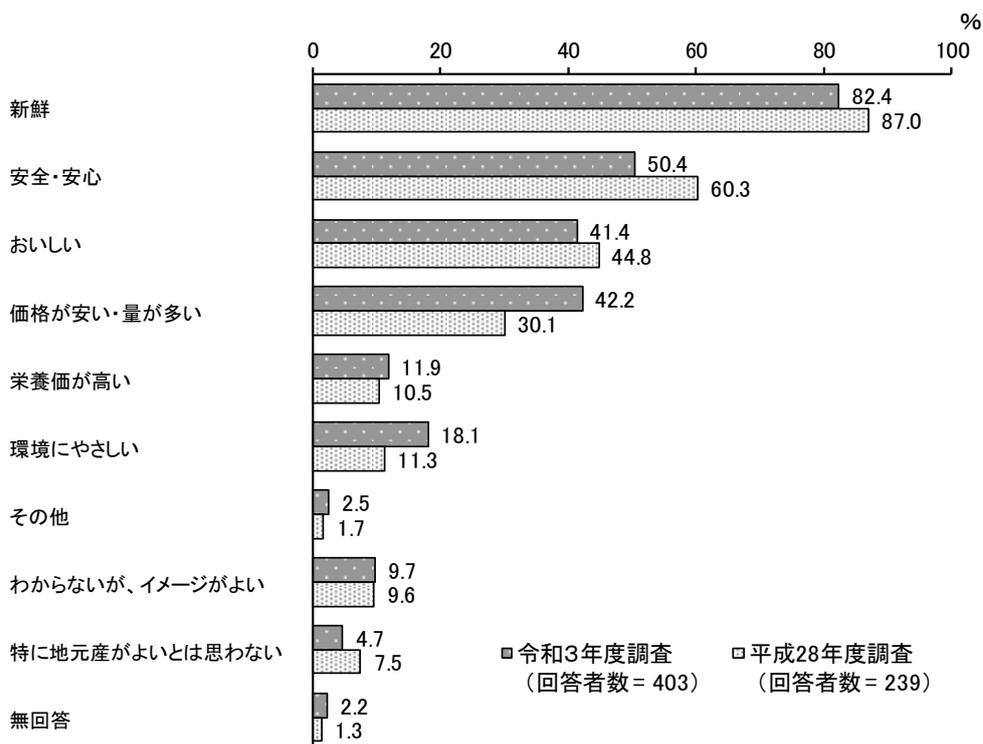


質問 28 あなたは地元農産物（市内産や県内産）のよい点は、どのようなところにあると思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。（回答はいくつでも）

「新鮮」の割合が82.4%と最も高く、次いで「安全・安心」の割合が50.4%、「価格が安い・量が多い」の割合が42.2%となっています。

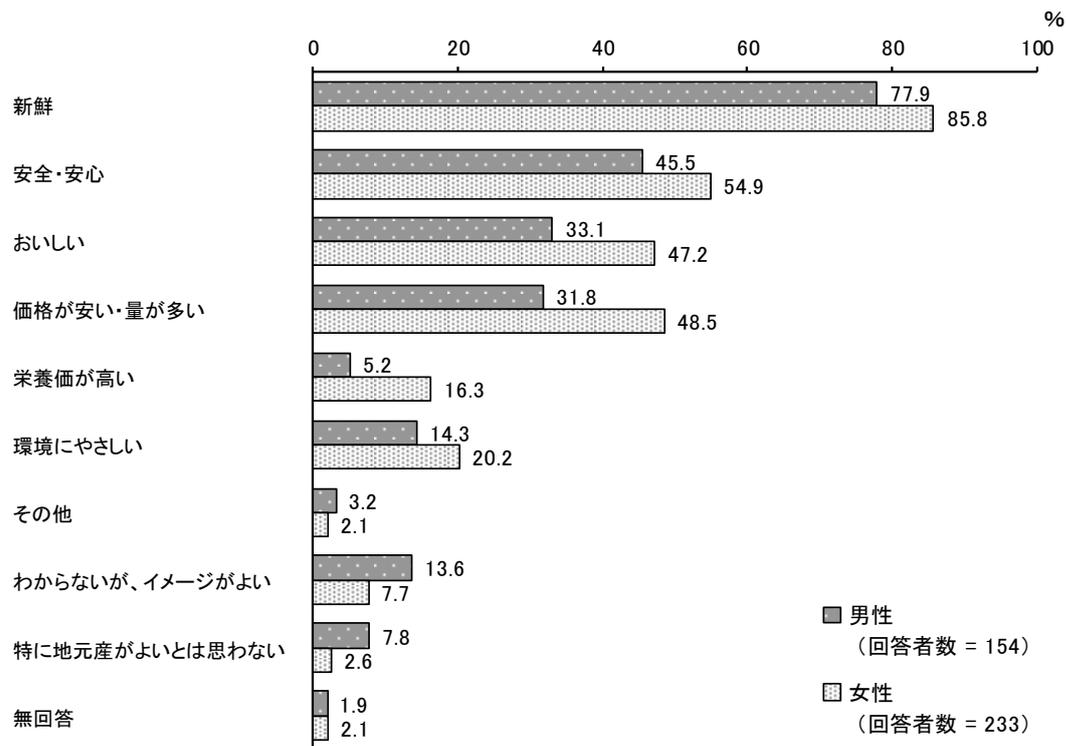
【経年比較】

平成28年度調査と比較すると、「価格が安い・量が多い」「環境にやさしい」の割合が増加し、「新鮮」「安全・安心」の割合が減少しています。



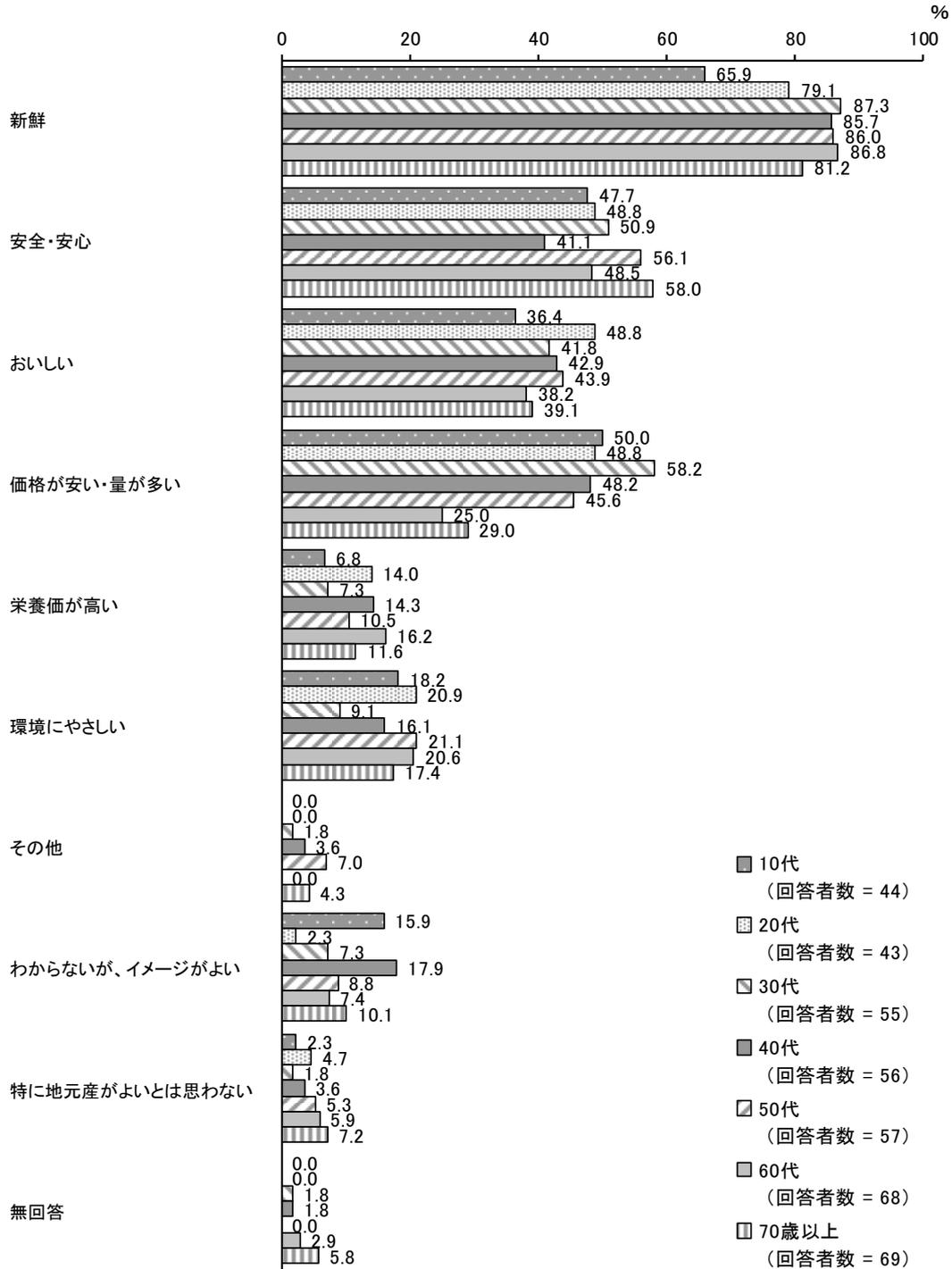
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「わからないが、イメージがよい」「特に地元産がよいとは思わない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「新鮮」「安全・安心」「おいしい」「価格が安い・量が多い」「栄養価が高い」「環境にやさしい」の割合が高くなっています。



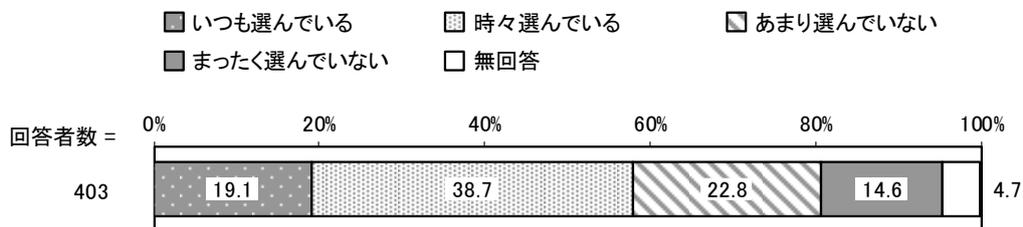
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、10代で「新鮮」の割合が低くなっています。



質問 29 あなたは、産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選んでいきますか。(回答はひとつだけ)

「時々選んでいる」の割合が38.7%と最も高く、次いで「あまり選んでいない」の割合が22.8%、「いつも選んでいる」の割合が19.1%となっています。

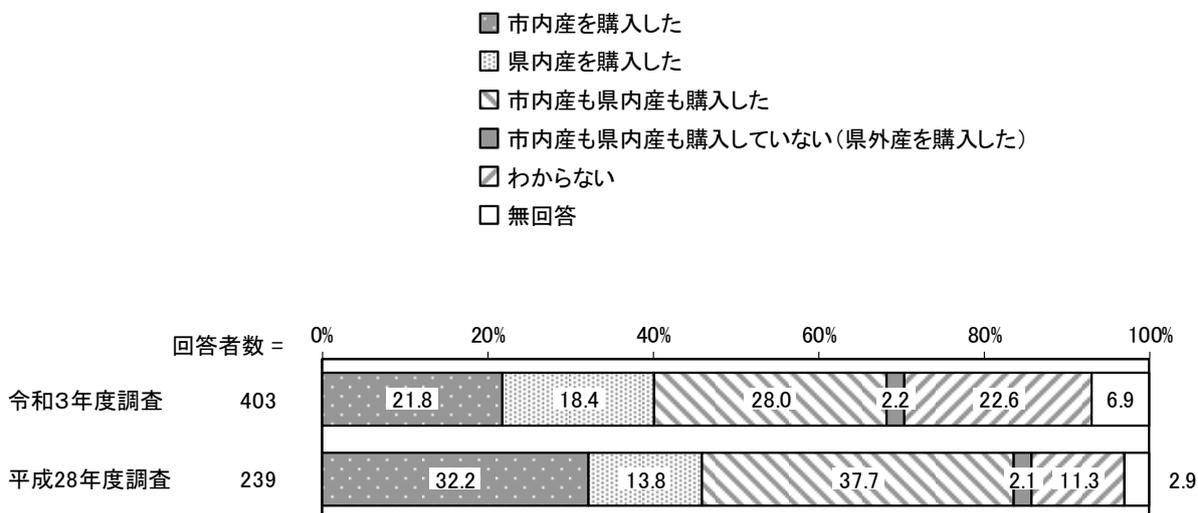


質問 30 あなたは、ここ1ヶ月以内に市内産や県内産の食材を購入しましたか。(回答はひとつだけ)

「市内産も県内産も購入した」の割合が28.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が22.6%、「市内産を購入した」の割合が21.8%となっています。

【経年比較】

平成28年度調査と比較すると、「市内産を購入した」「市内産も県内産も購入した」の割合が減少しています。

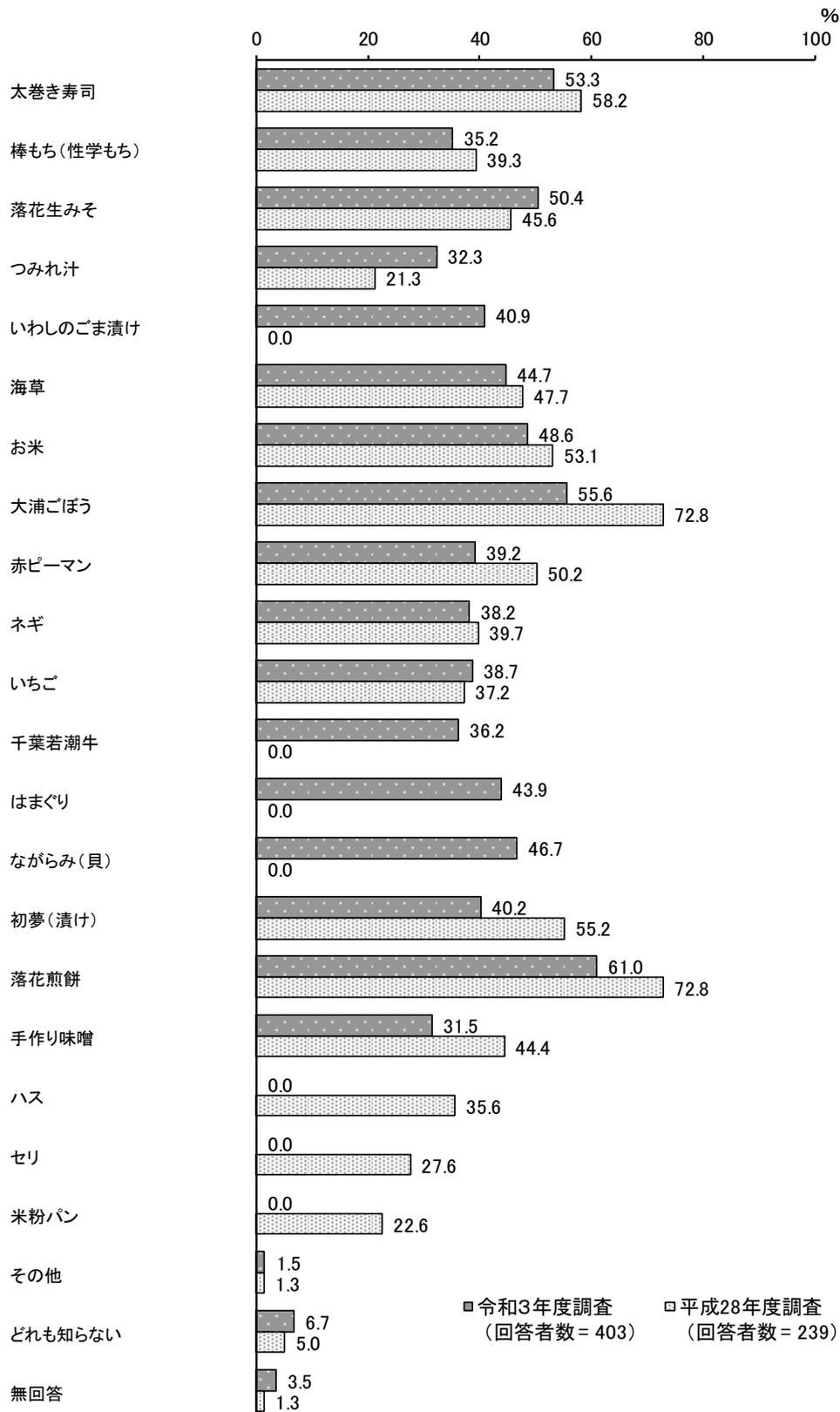


質問 31 あなたが知っている、匠瑤市の郷土料理や特産品をお選びください。(回答は
いくつでも)

「落花煎餅」の割合が61.0%と最も高く、次いで「大浦ごぼう」の割合が55.6%、「太巻き寿司」の割合が53.3%となっています。

【経年比較】

平成28年度調査と比較すると、「つみれ汁」の割合が増加し、「大浦ごぼう」「赤ピーマン」「初夢(漬け)」「落花煎餅」「手作り味噌」の割合が減少しています。



質問 32 匠瑛市に関する以下の項目について、当てはまるものをひとつずつお選びください。（回答はひとつずつ）

『(6) 匠瑛市では、食をテーマにした取組やイベントが活発だと思う』で「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」をあわせた“当てはまらない”の割合が高くなっています。

- 当てはまる
- どちらかといえば当てはまる
- どちらともいえない
- どちらかといえば当てはまらない
- 当てはまらない
- 無回答

回答者数 = 403

(1) 匠瑛市では、必要な食材をスーパー、商店街などで購入することができる

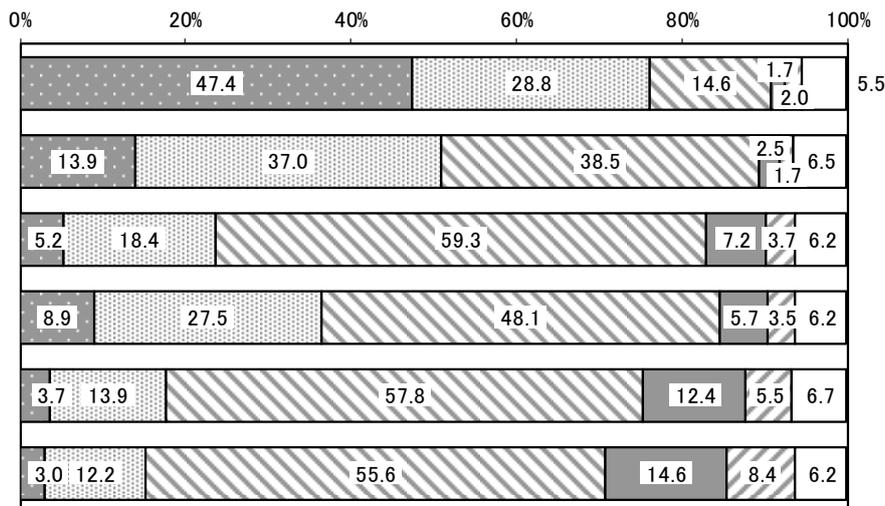
(2) 匠瑛市は、食の安全面で信頼できるお店や生産者が多い

(3) 匠瑛市では、食の栄養面や安全面に対する人々の関心は高いと思う

(4) 匠瑛市では、食の文化や伝統、季節性などを大事にしていると思う

(5) 匠瑛市では、食に関する必要な情報が得られると思う

(6) 匠瑛市では、食をテーマにした取組やイベントが活発だと思う



【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。

回答者数 = 239

(1) 匠瑛市では、必要な食材をスーパー、商店街などで購入することができる

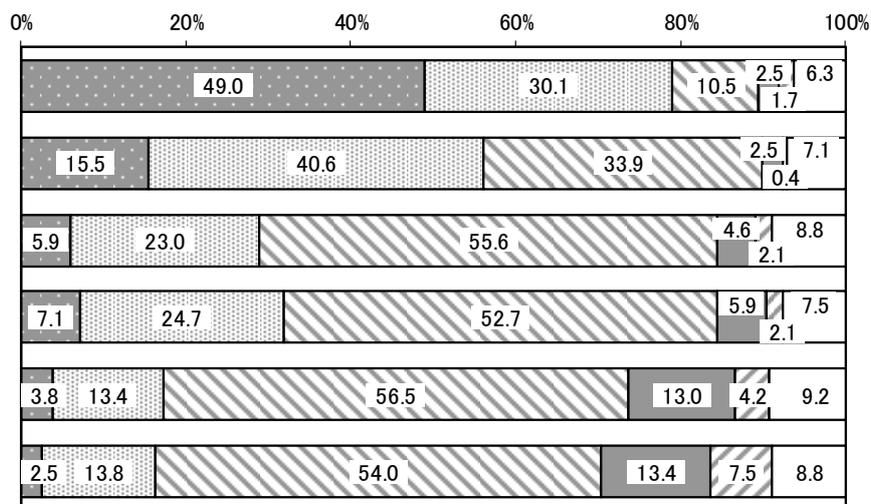
(2) 匠瑛市は、食の安全面で信頼できるお店や生産者が多い

(3) 匠瑛市では、食の栄養面や安全面に対する人々の関心は高いと思う

(4) 匠瑛市では、食の文化や伝統、季節性などを大事にしていると思う

(5) 匠瑛市では、食に関する必要な情報が得られると思う

(6) 匠瑛市では、食をテーマにした取組やイベントが活発だと思う

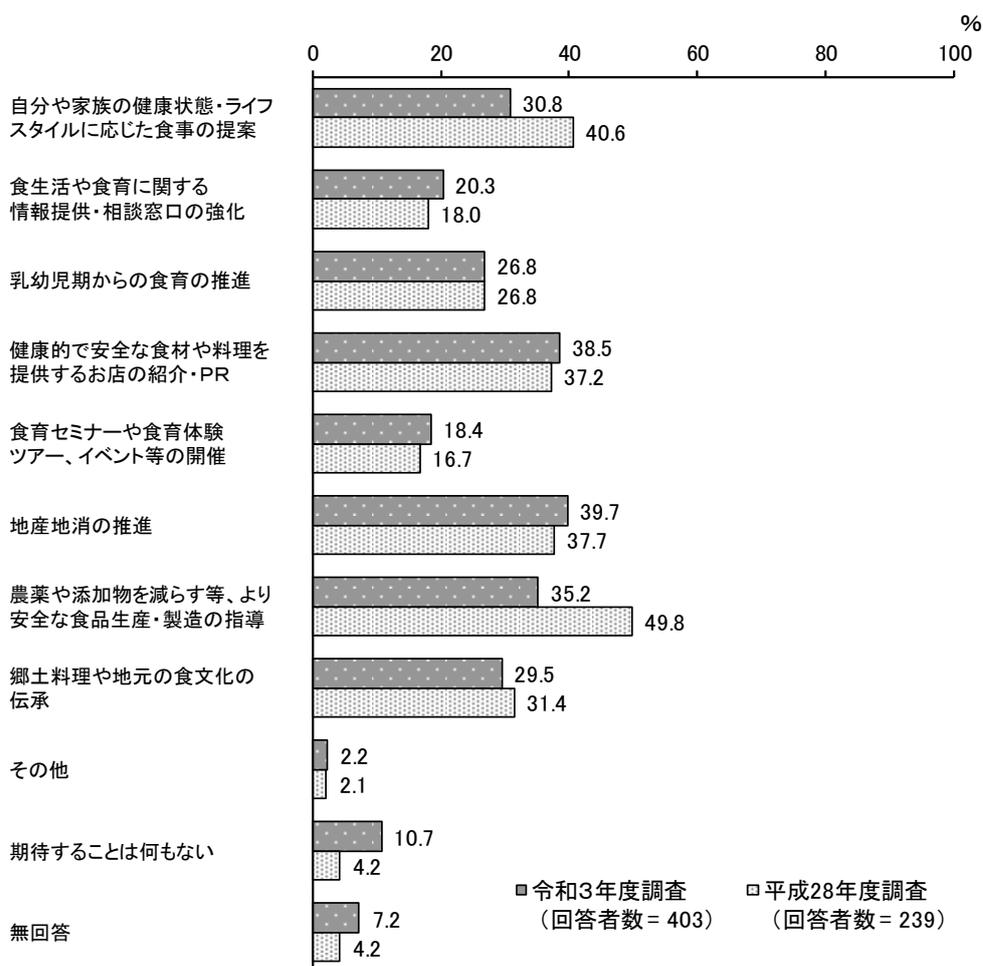


質問 33 食育を進めるにあたって、あなたが「行政や地域社会」に期待したいことは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。（回答はいくつでも）

「地産地消の推進」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「健康的で安全な食材や料理を提供するお店の紹介・PR」の割合が 38.5%、「農薬や添加物を減らす等、より安全な食品生産・製造の指導」の割合が 35.2%となっています。

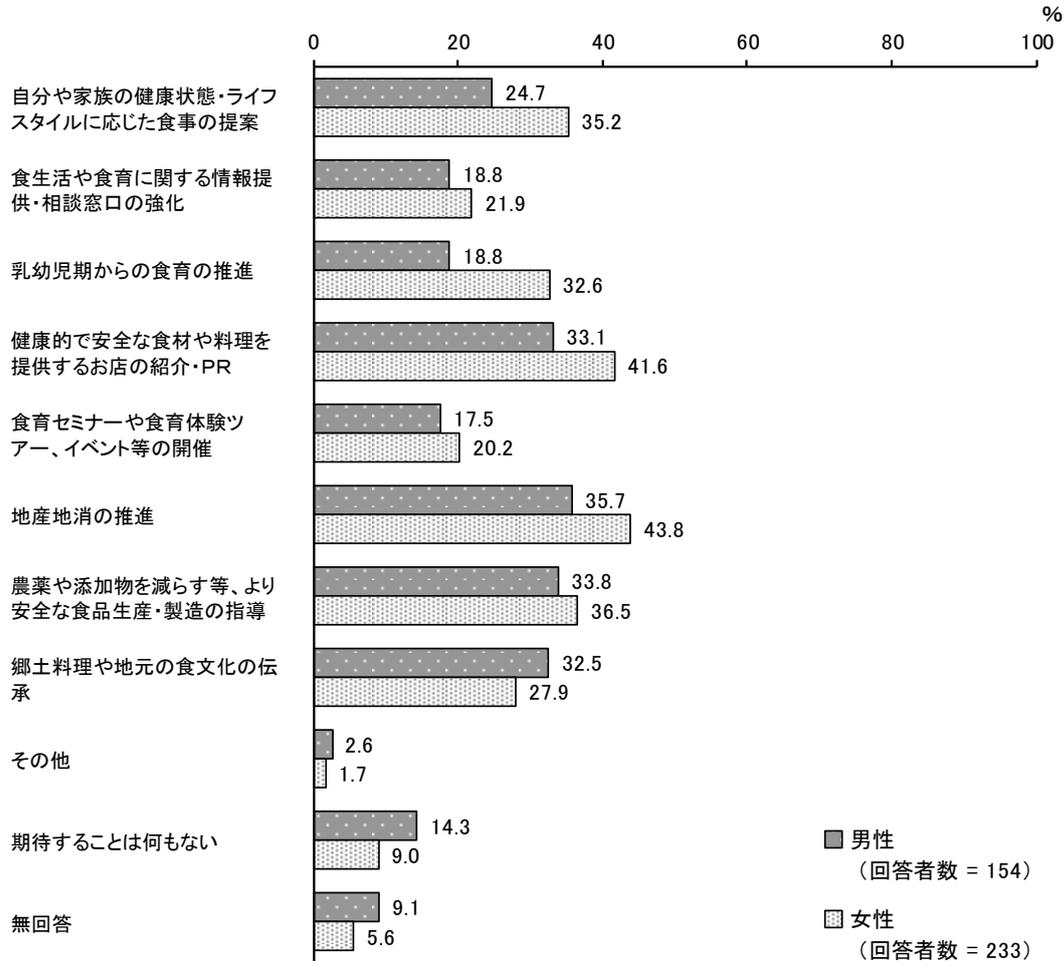
【経年比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「期待することは何もない」の割合が増加し、「自分や家族の健康状態・ライフスタイルに応じた食事の提案」「農薬や添加物を減らす等、より安全な食品生産・製造の指導」の割合が減少しています。



【性別】

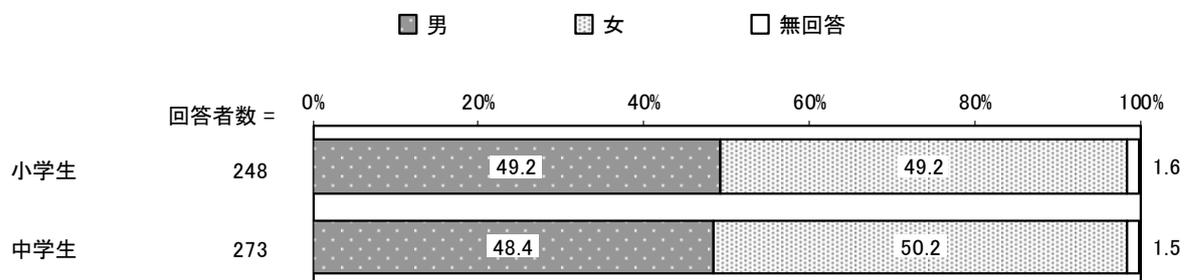
性別でみると、女性に比べ、男性で「期待することは何もない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「自分や家族の健康状態・ライフスタイルに応じた食事の提案」「乳幼児期からの食育の推進」「健康的で安全な食材や料理を提供するお店の紹介・PR」「地産地消の推進」の割合が高くなっています。



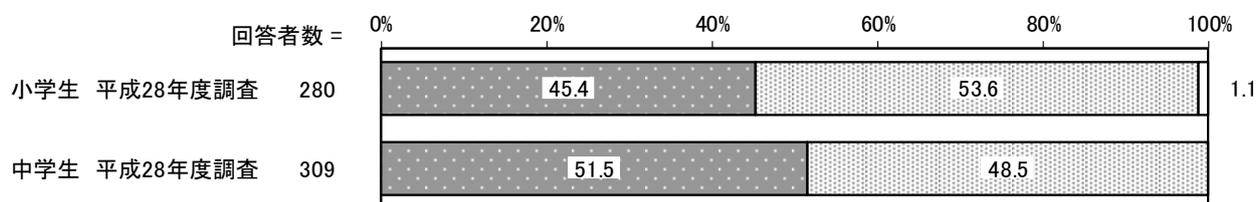
2 小中学生

F S 1 あなたの性別はどちらですか。(回答はひとつだけ)

小学生では、「男」の割合が49.2%、「女」の割合が49.2%となっています。
 中学生では、「男」の割合が48.4%、「女」の割合が50.2%となっています。



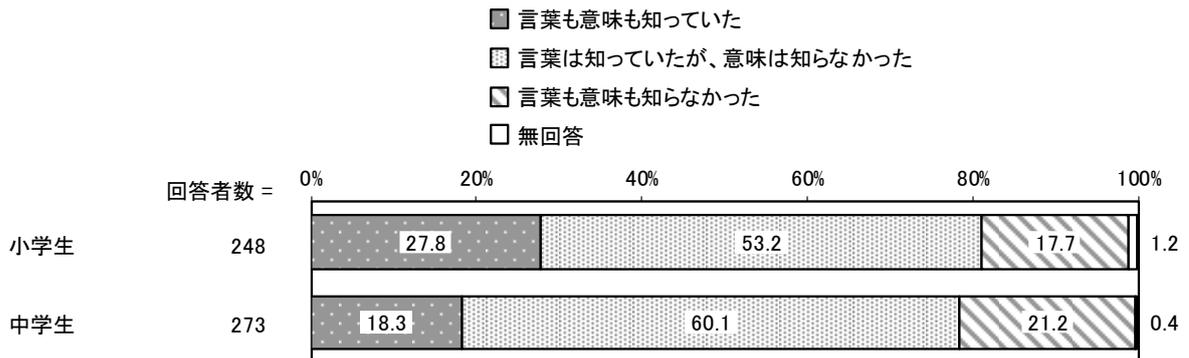
【経年比較】



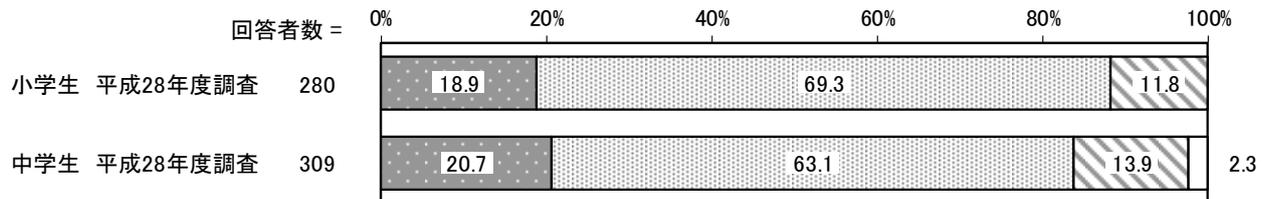
質問1 上の説明を読んで、あなたは、「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。（回答はひとつだけ）

小学生では、「言葉も意味も知っていた」と「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」をあわせた“知っていた”の割合が81.0%、「言葉も意味も知らなかった」の割合が17.7%となっています。

中学生では、「言葉も意味も知っていた」と「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」をあわせた“知っていた”の割合が78.4%、「言葉も意味も知らなかった」の割合が21.2%となっています。



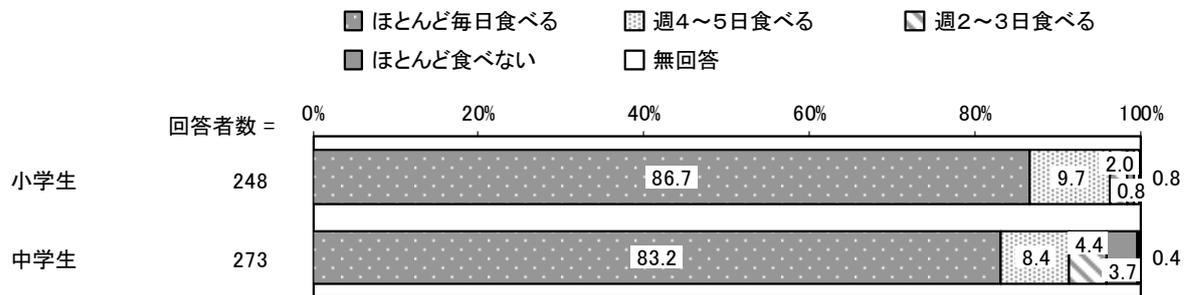
【経年比較】



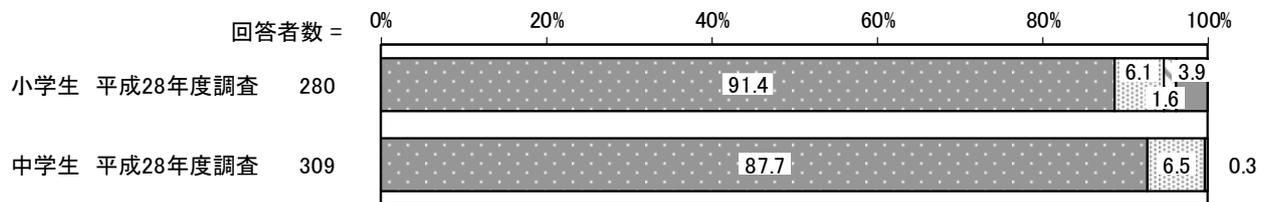
質問2 あなたは、ふだん朝ご飯を食べますか。(回答はひとつだけ)

小学生では、「ほとんど毎日食べる」の割合が86.7%と最も高くなっています。

中学生では、「ほとんど毎日食べる」の割合が83.2%と最も高くなっています。



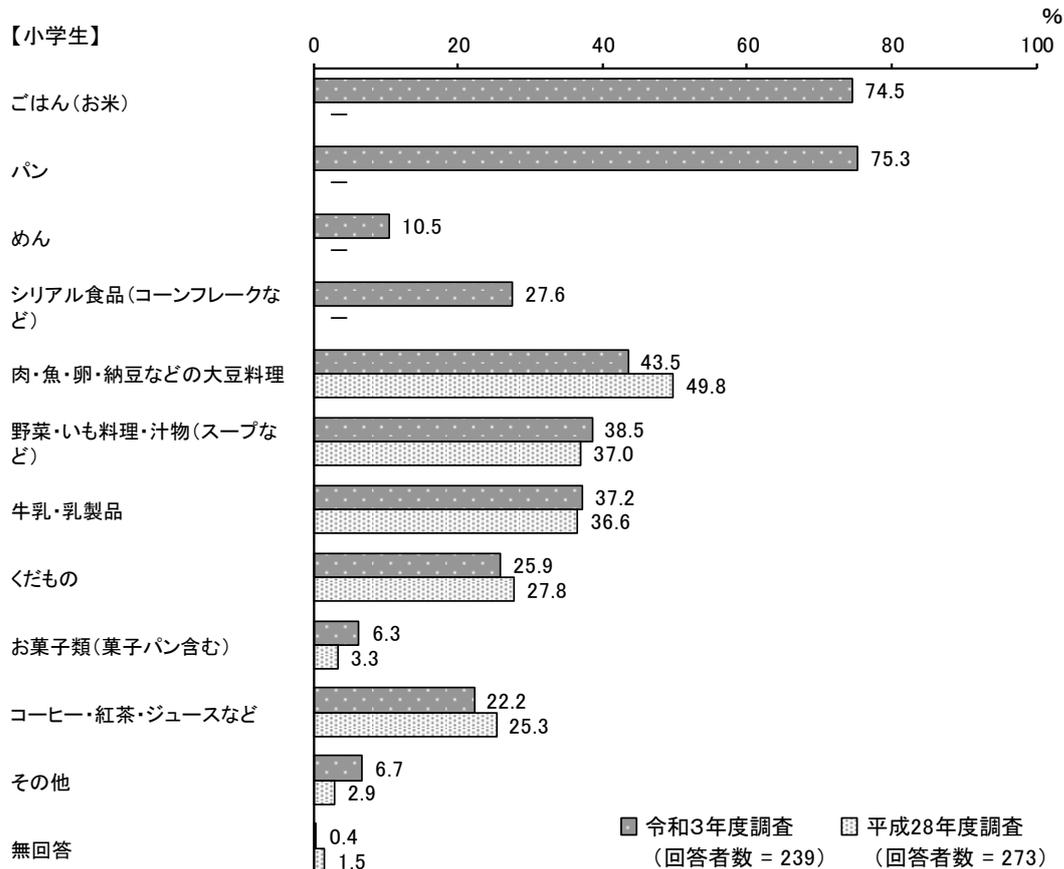
【経年比較】

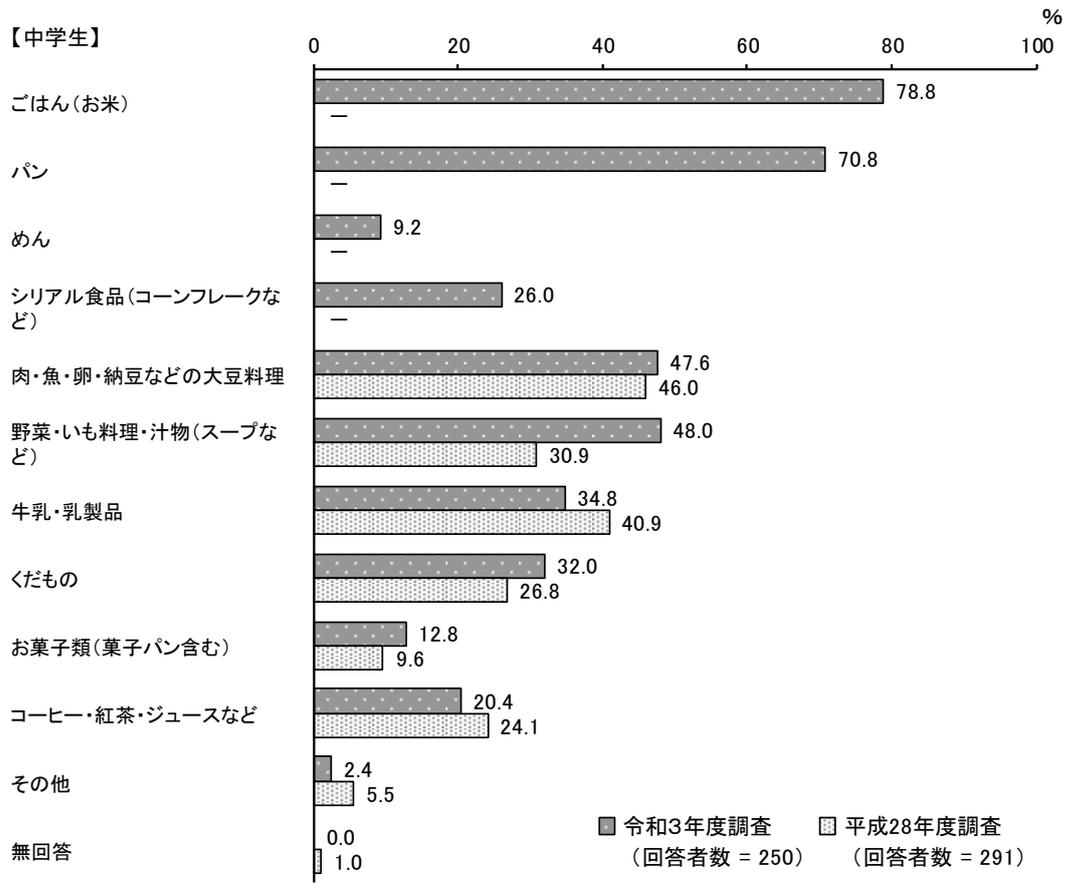


質問3 あなたはふだんどのような朝ご飯を食べていますか。(回答はいくつでも)

小学生では、「パン」の割合が75.3%と最も高く、次いで「ごはん(お米)」の割合が74.5%、「肉・魚・卵・納豆などの大豆料理」の割合が43.5%となっています。

中学生では、「ごはん(お米)」の割合が78.8%と最も高く、次いで「パン」の割合が70.8%、「野菜・いも料理・汁物(スープなど)」の割合が48.0%となっています。

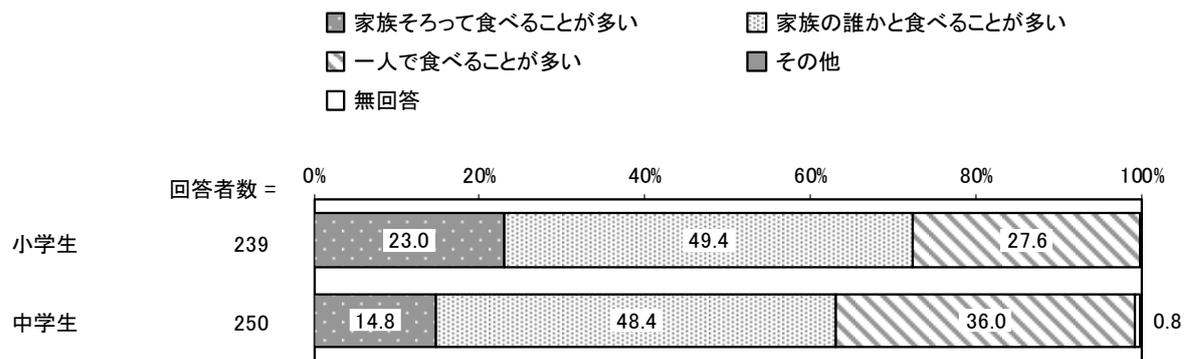




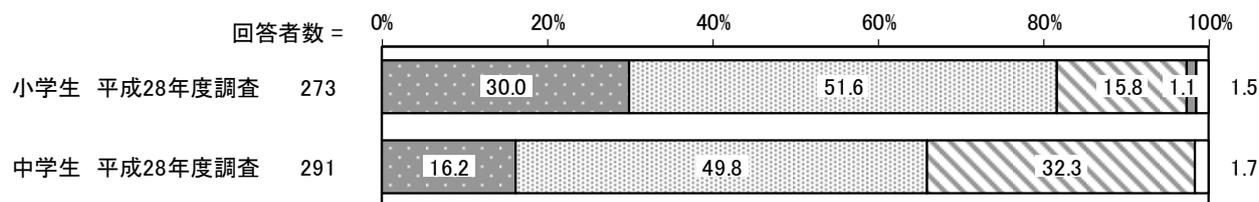
質問4 あなたは家族と一緒に朝ご飯を食べますか。(回答はひとつだけ)

小学生では、「家族の誰かと食べることが多い」の割合が49.4%と最も高く、次いで「一人で食べることが多い」の割合が27.6%、「家族そろって食べることが多い」の割合が23.0%となっています。

中学生では、「家族の誰かと食べることが多い」の割合が48.4%と最も高く、次いで「一人で食べることが多い」の割合が36.0%、「家族そろって食べることが多い」の割合が14.8%となっています。



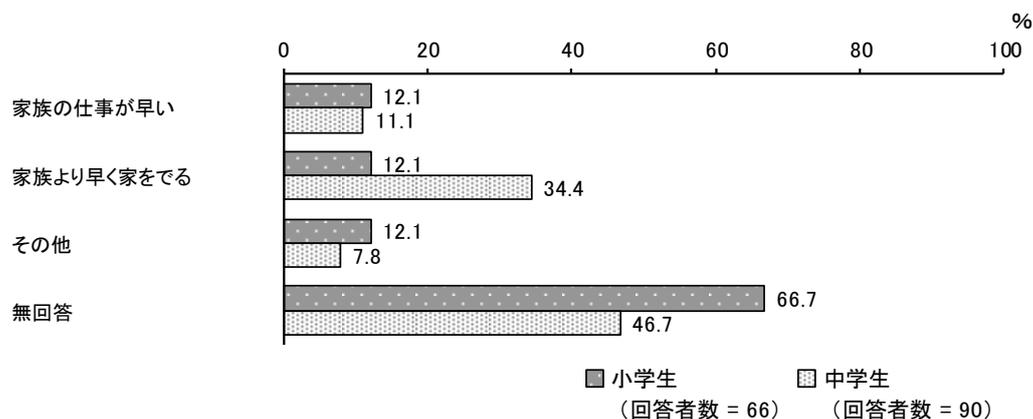
【経年比較】



その理由

小学生では、「家族の仕事が早い」の割合が12.1%、「家族より早く家をでる」の割合が12.1%となっています。

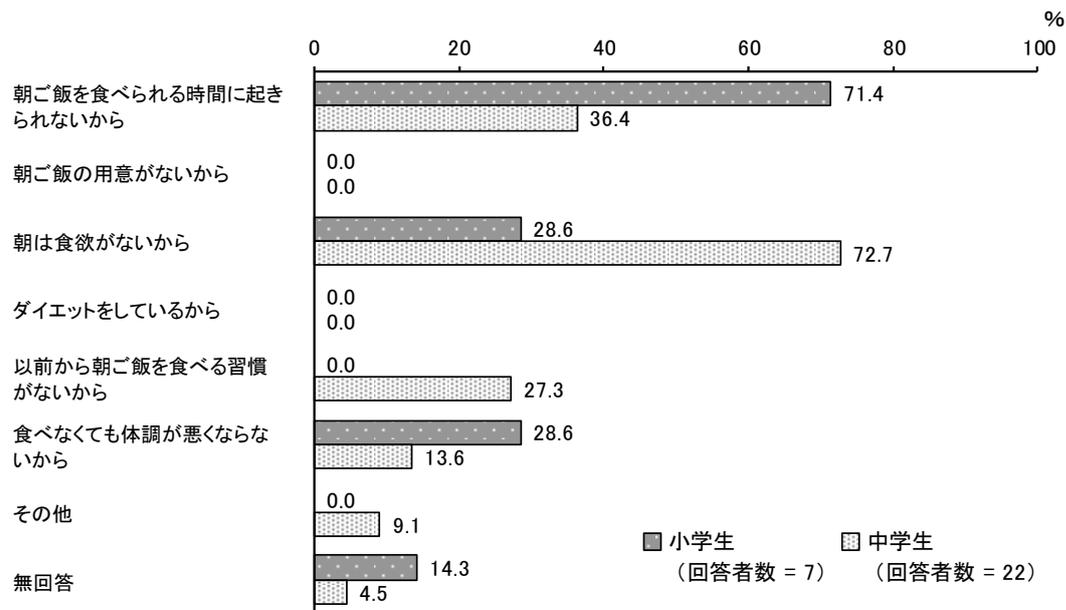
中学生では、「家族の仕事が早い」の割合が11.1%、「家族より早く家をでる」の割合が34.4%となっています。



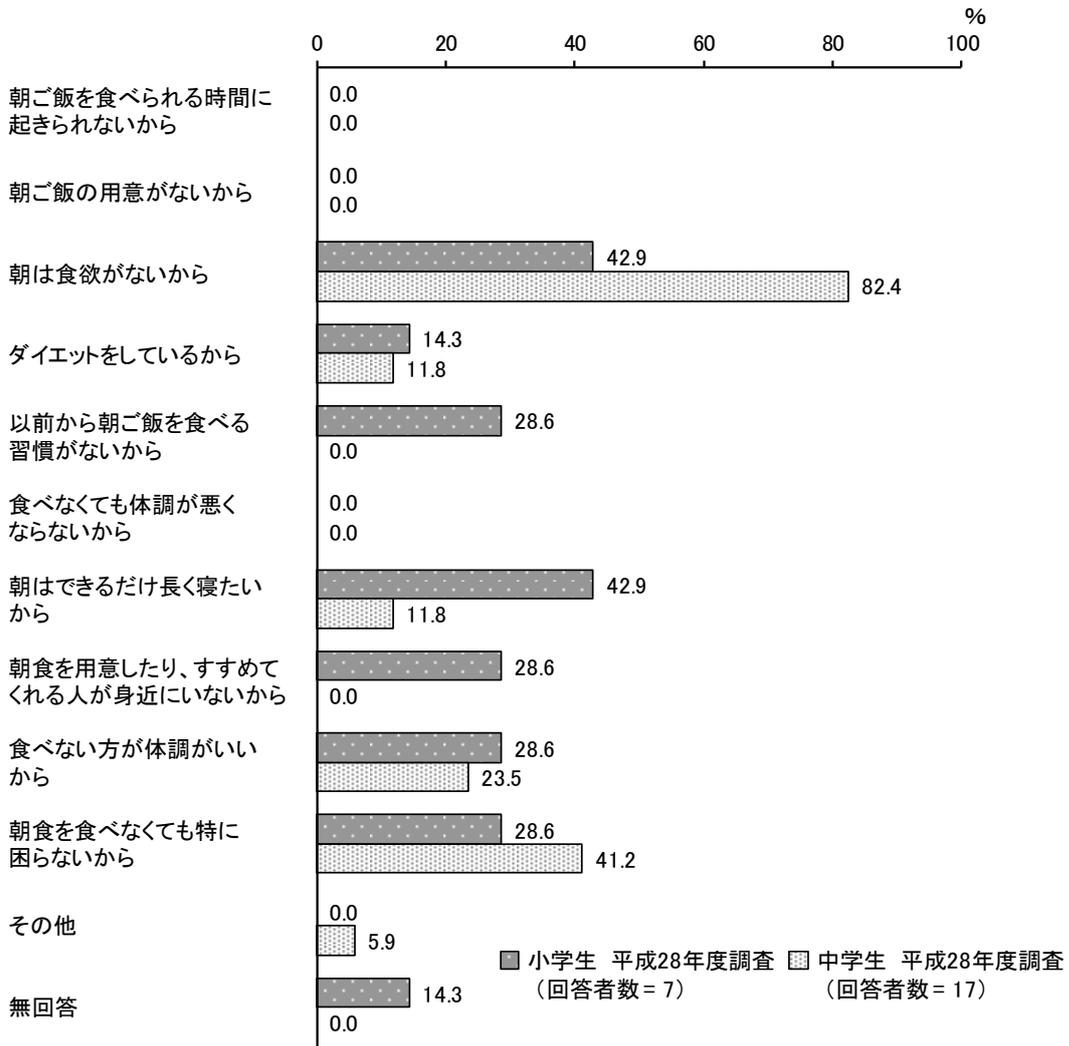
質問5 あなたが朝ご飯を食べない理由について、あてはまるものをすべてお選びください。（回答はいくつでも）

小学生では、「朝ご飯を食べられる時間に起きられないから」が5件となっています。「朝は食欲がないから」、「食べなくても体調が悪くならないから」が2件となっています。

中学生では、「朝は食欲がないから」の割合が72.7%と最も高く、次いで「朝ご飯を食べられる時間に起きられないから」の割合が36.4%、「以前から朝ご飯を食べる習慣がないから」の割合が27.3%となっています。



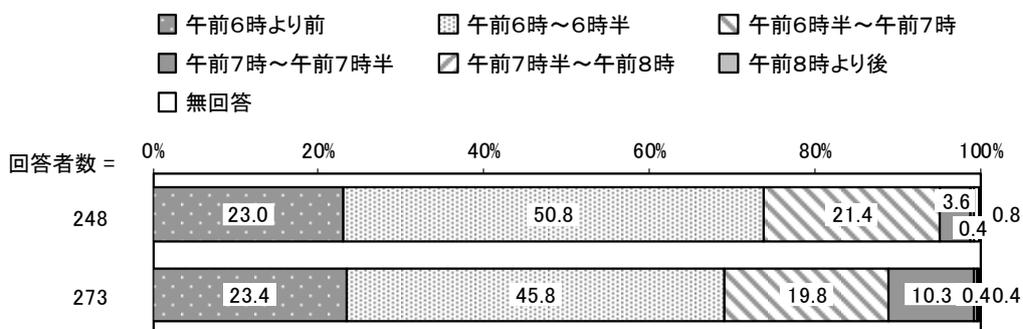
【経年比較】



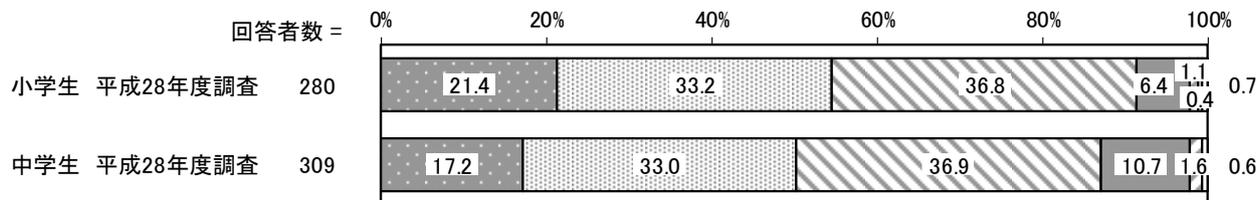
質問6 あなたはふだん学校のある日は、朝何時ごろに起きますか。(回答はひとつだけ)

小学生では、「午前6時～6時半」の割合が50.8%と最も高く、次いで「午前6時より前」の割合が23.0%、「午前6時半～午前7時」の割合が21.4%となっています。

中学生では、「午前6時～6時半」の割合が45.8%と最も高く、次いで「午前6時より前」の割合が23.4%、「午前6時半～午前7時」の割合が19.8%となっています。



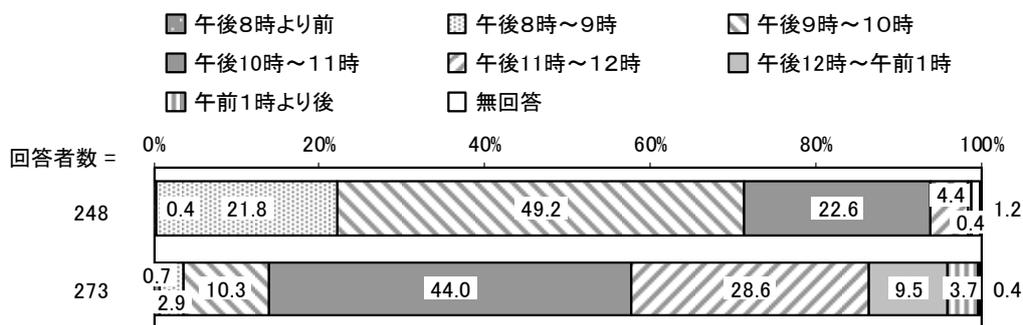
【経年比較】



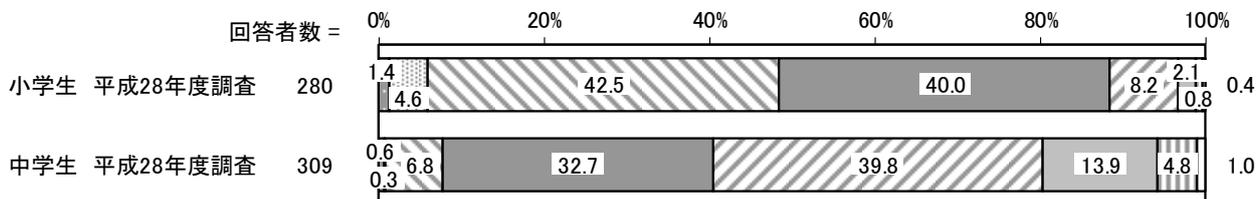
質問7 あなたはふだん学校のある日は、夜何時ごろに寝ますか。(回答はひとつだけ)

小学生では、「午後9時～10時」の割合が49.2%と最も高く、次いで「午後10時～11時」の割合が22.6%、「午後8時～9時」の割合が21.8%となっています。

中学生では、「午後10時～11時」の割合が44.0%と最も高く、次いで「午後11時～12時」の割合が28.6%、「午後9時～10時」の割合が10.3%となっています。



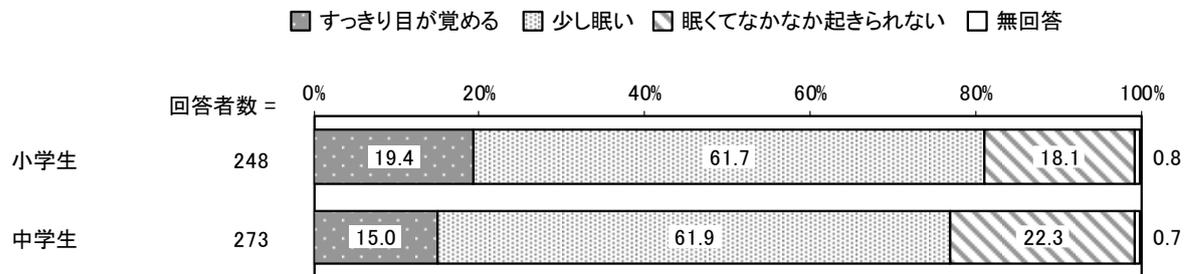
【経年比較】



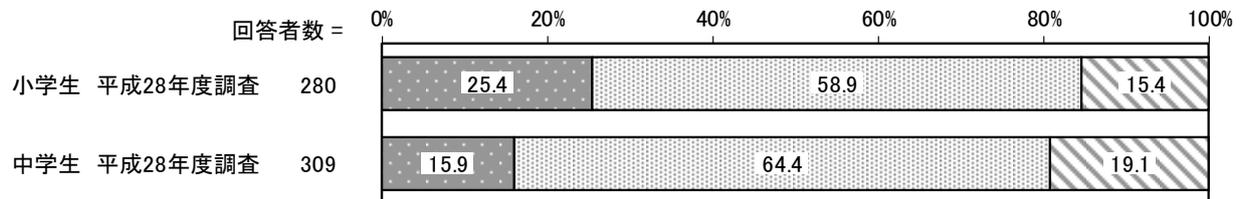
質問8 あなたは朝すっきり目が覚めますか。(回答はひとつだけ)

小学生では、「少し眠い」の割合が61.7%と最も高く、次いで「すっきり目が覚める」の割合が19.4%、「眠くてなかなか起きられない」の割合が18.1%となっています。

中学生では、「少し眠い」の割合が61.9%と最も高く、次いで「眠くてなかなか起きられない」の割合が22.3%、「すっきり目が覚める」の割合が15.0%となっています。



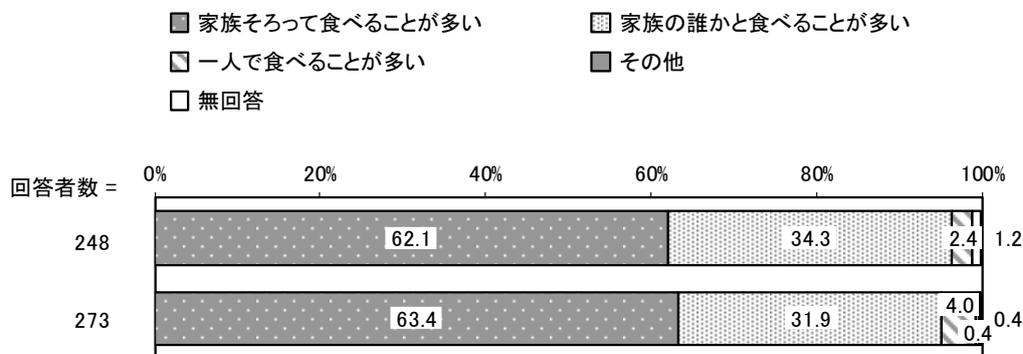
【経年比較】



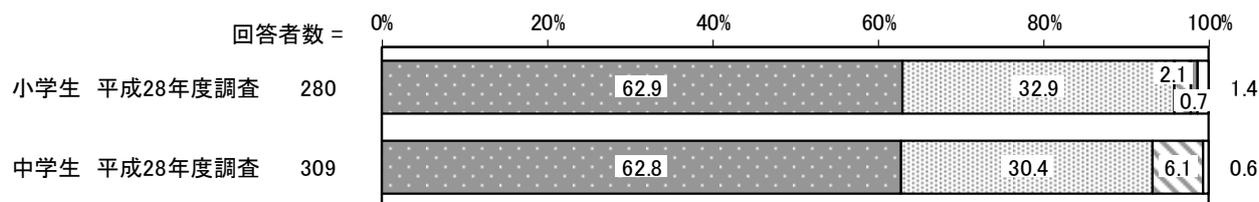
質問9 あなたは家族と一緒に夜ご飯を食べますか。(回答はひとつだけ)

小学生では、「家族そろって食べることが多い」の割合が62.1%と最も高く、次いで「家族の誰かと食べることが多い」の割合が34.3%となっています。

中学生では、「家族そろって食べることが多い」の割合が63.4%と最も高く、次いで「家族の誰かと食べることが多い」の割合が31.9%となっています。



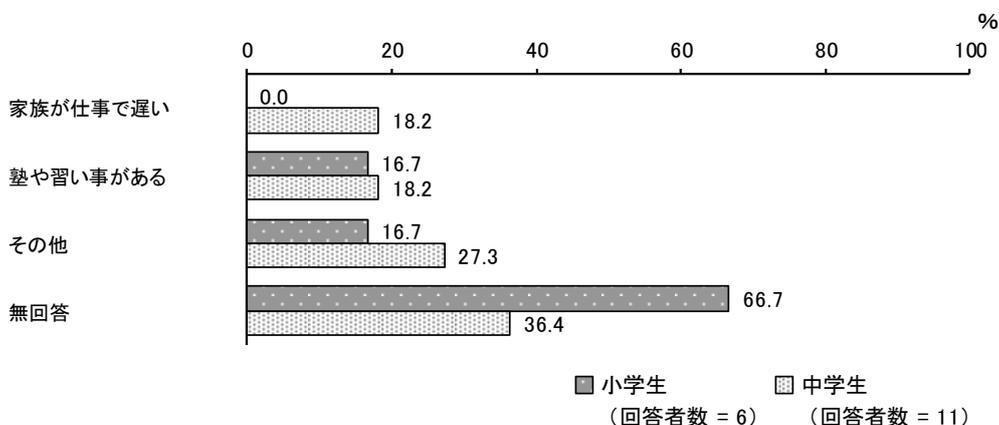
【経年比較】



その理由

小学生では、「塾や習い事がある」が1件となっています。

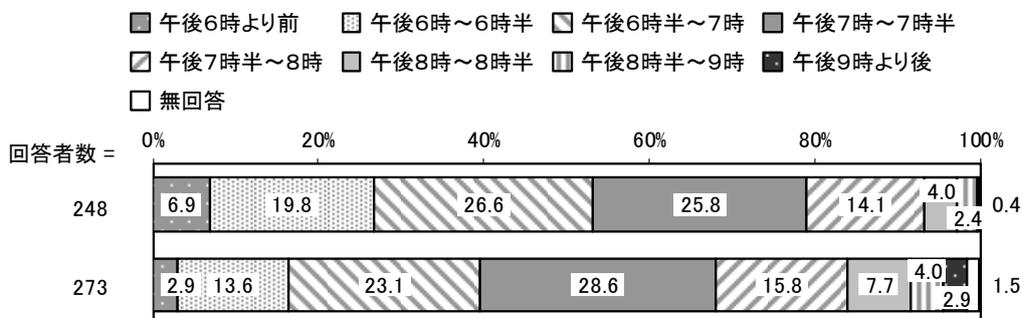
中学生では、「家族が仕事で遅い」の割合が18.2%、「塾や習い事がある」の割合が18.2%となっています。



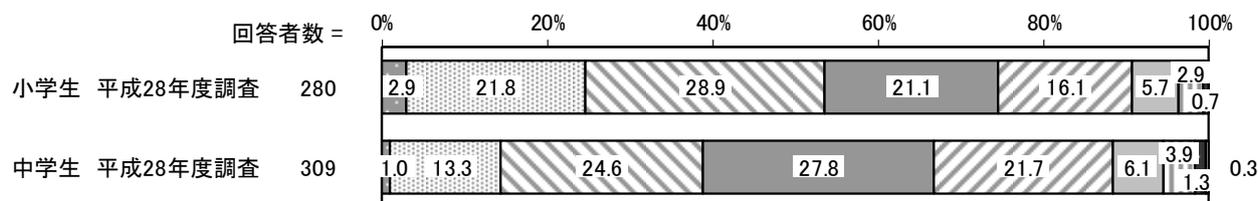
質問 10 あなたは夜ご飯を何時ごろに食べますか。(一番多い時間帯をひとつだけ)

小学生では、「午後6時半～7時」の割合が26.6%と最も高く、次いで「午後7時～7時半」の割合が25.8%、「午後6時～6時半」の割合が19.8%となっています。

中学生では、「午後7時～7時半」の割合が28.6%と最も高く、次いで「午後6時半～7時」の割合が23.1%、「午後7時半～8時」の割合が15.8%となっています。



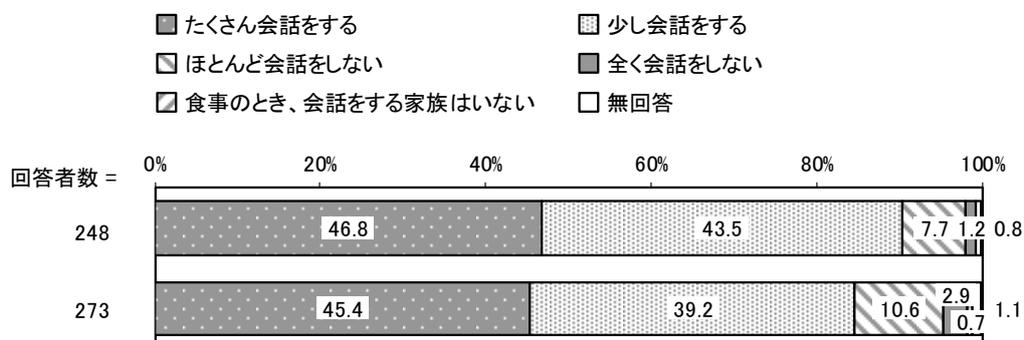
【経年比較】



質問 11 あなたは食事の際、家族と会話をしますか。(回答はひとつだけ)

小学生では、「たくさん会話をする」の割合が46.8%と最も高く、次いで「少し会話をする」の割合が43.5%となっています。

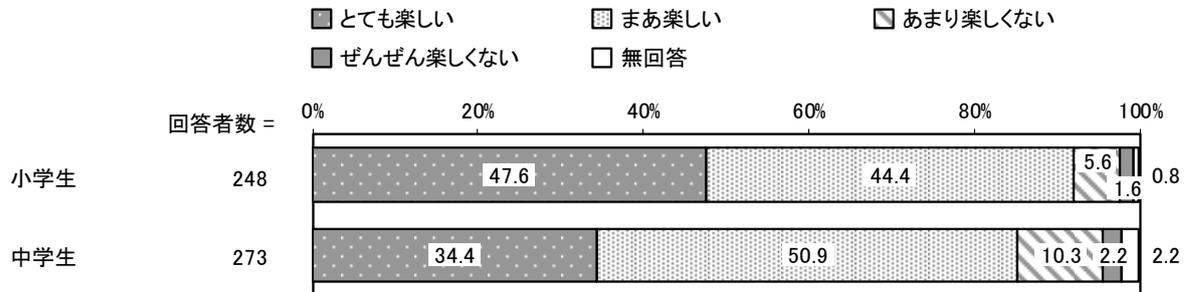
中学生では、「たくさん会話をする」の割合が45.4%と最も高く、次いで「少し会話をする」の割合が39.2%、「ほとんど会話をしない」の割合が10.6%となっています。



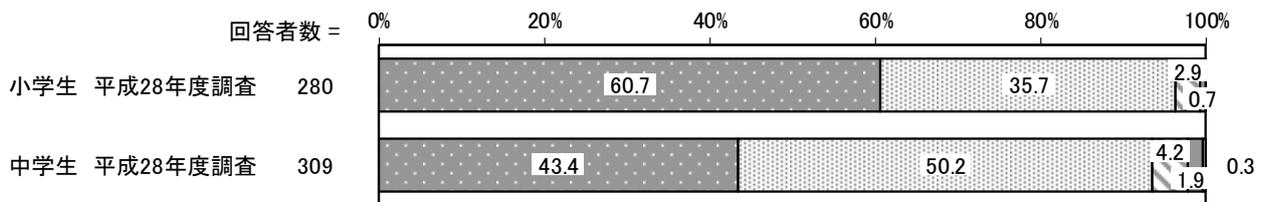
質問 12 あなたは学校給食の時間が楽しいですか。(回答はひとつだけ)

小学生では、「とても楽しい」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「まあ楽しい」の割合が 44.4%となっています。

中学生では、「まあ楽しい」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「とても楽しい」の割合が 34.4%、「あまり楽しくない」の割合が 10.3%となっています。

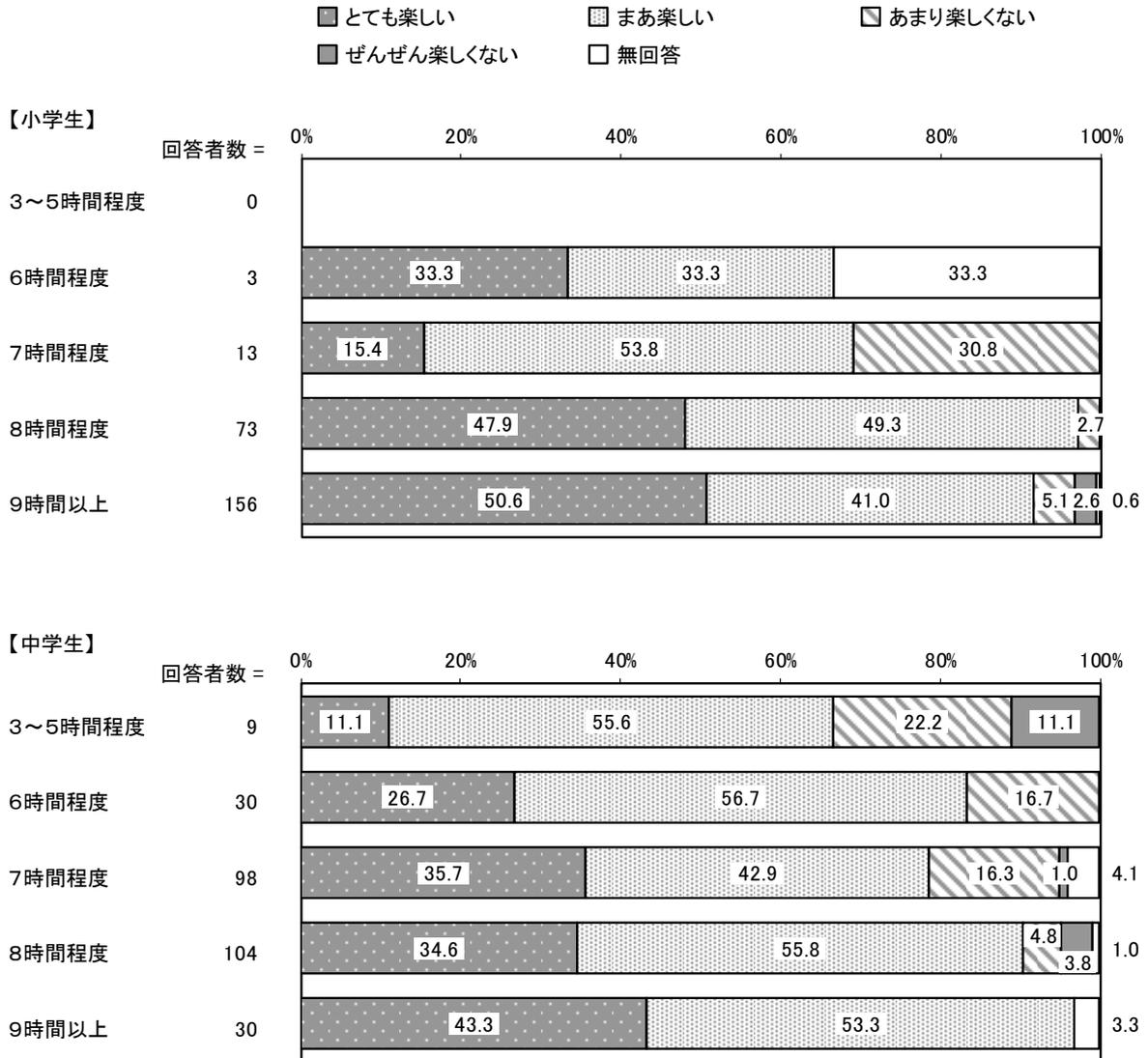


【経年比較】



【睡眠時間別】

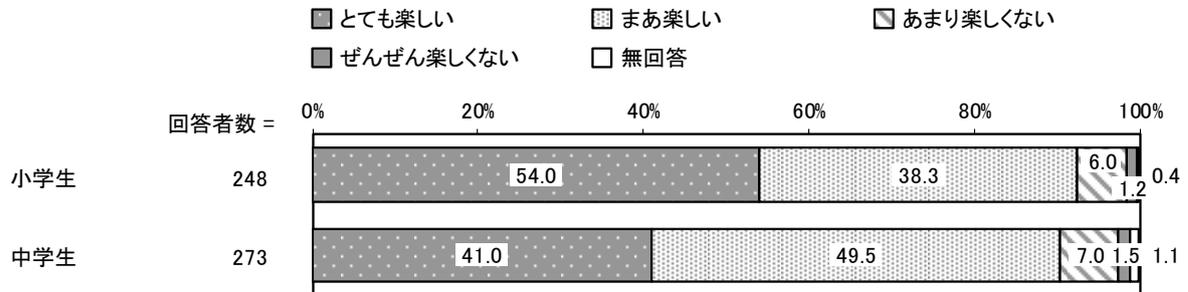
睡眠時間別で見ると、小学生、中学生ともに、睡眠時間が長い人ほど「とても楽しい」の割合が高くなる傾向がみられます。



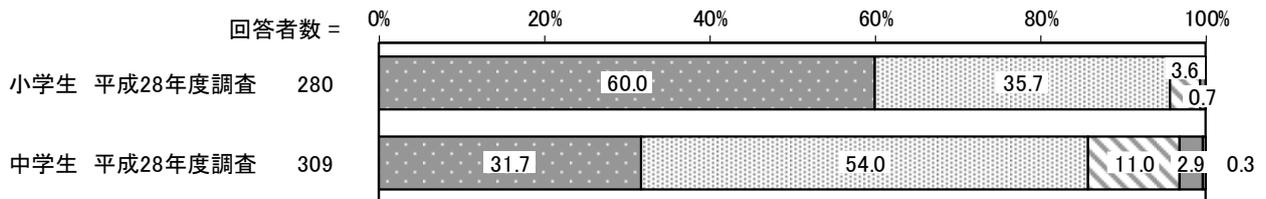
質問 13 あなたは家庭での食事の時間が楽しいですか。(回答はひとつだけ)

小学生では、「とても楽しい」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「まあ楽しい」の割合が 38.3%となっています。

中学生では、「まあ楽しい」の割合が 49.5%と最も高く、次いで「とても楽しい」の割合が 41.0%となっています。



【経年比較】

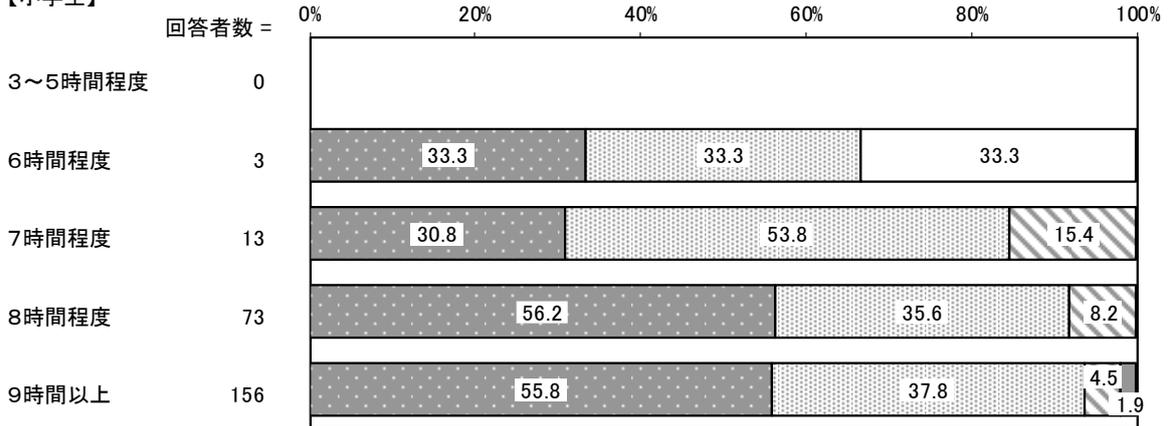


【睡眠時間別】

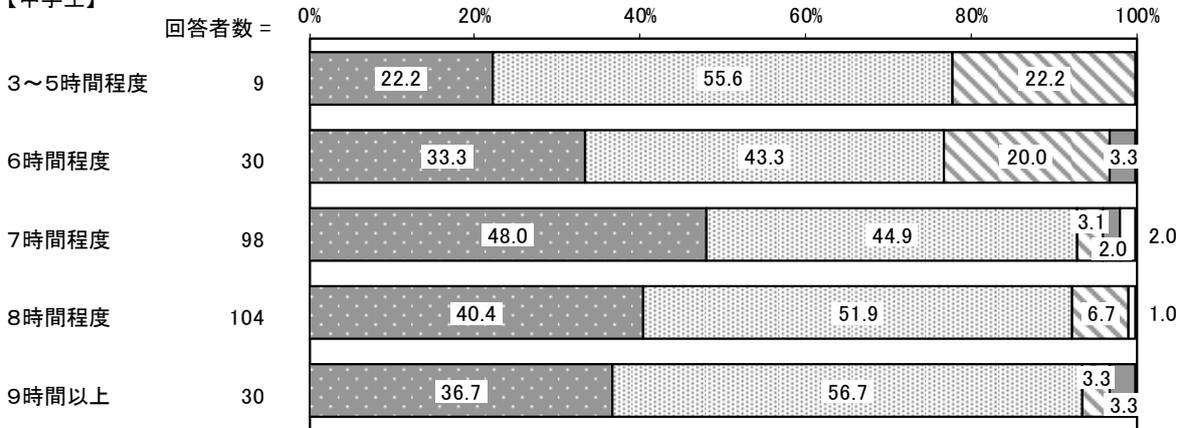
睡眠時間別でみると、小学生では、8時間程度、9時間以上で「とても楽しい」の割合が高くなっています。中学生では、7時間程度で「とても楽しい」の割合が高くなっています。

- とても楽しい
- まあ楽しい
- あまり楽しくない
- ぜんぜん楽しくない
- 無回答

【小学生】



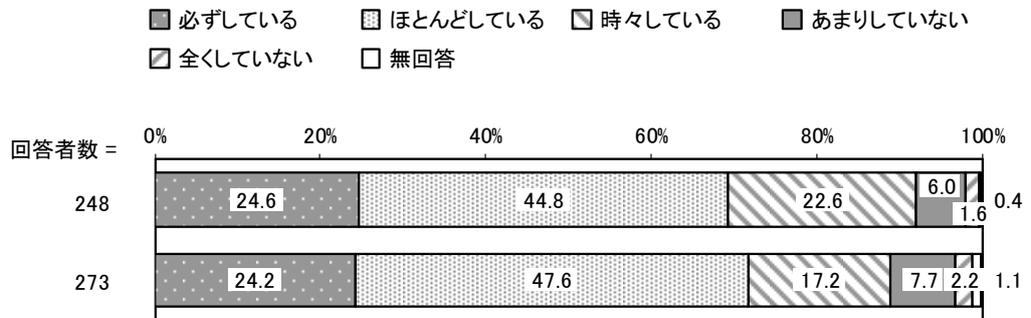
【中学生】



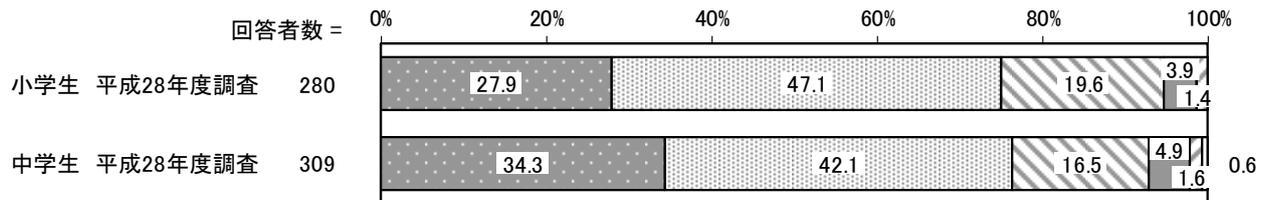
質問 14 あなたは食事を残さないようにしていますか。(回答はひとつだけ)

小学生では、「ほとんどしている」の割合が 44.8%と最も高く、次いで「必ずしている」の割合が 24.6%、「時々している」の割合が 22.6%となっています。

中学生では、「ほとんどしている」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「必ずしている」の割合が 24.2%、「時々している」の割合が 17.2%となっています。



【経年比較】



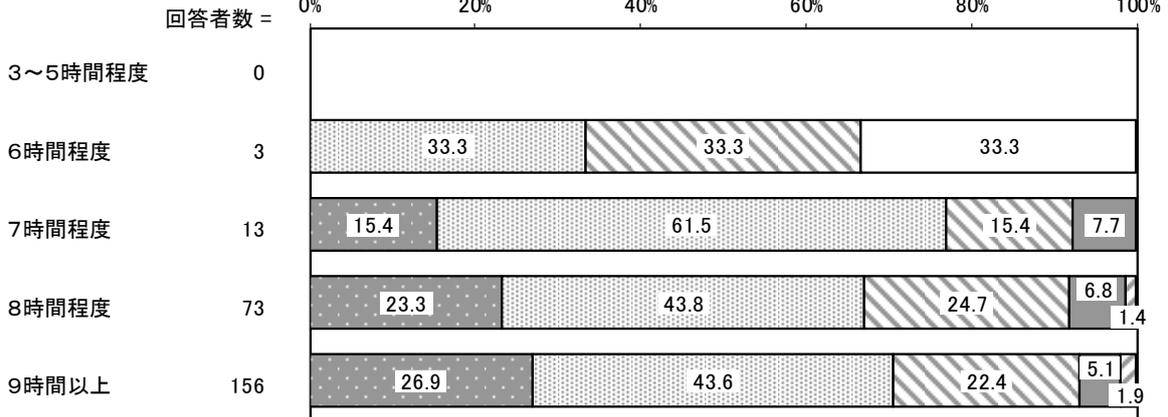
【睡眠時間別】

睡眠時間別でみると、小学生、中学生ともに、睡眠時間が長くなるほど「必ずしている」の割合が高くなる傾向がみられます。

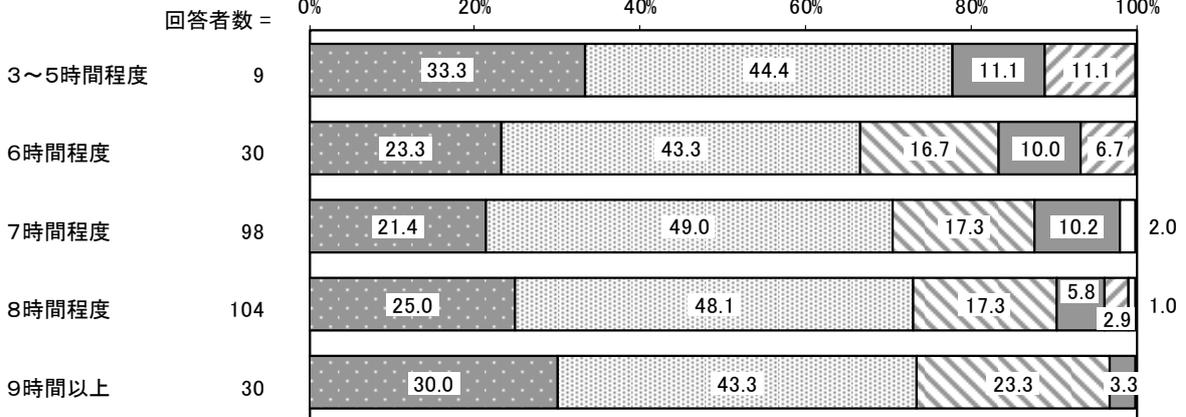
必ずしている
 ほとんどしている
 時々している
 あまりしていない

 全くしていない
 無回答

【小学生】



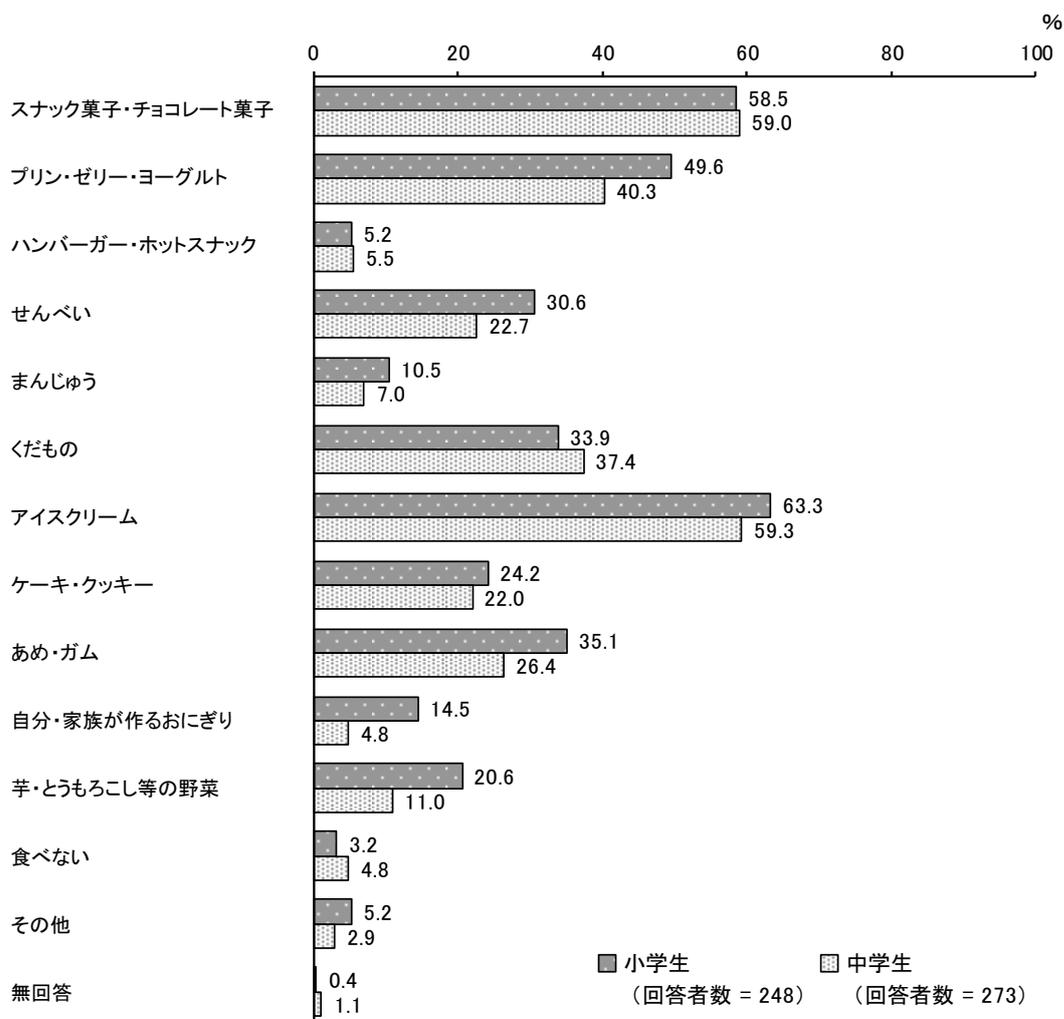
【中学生】



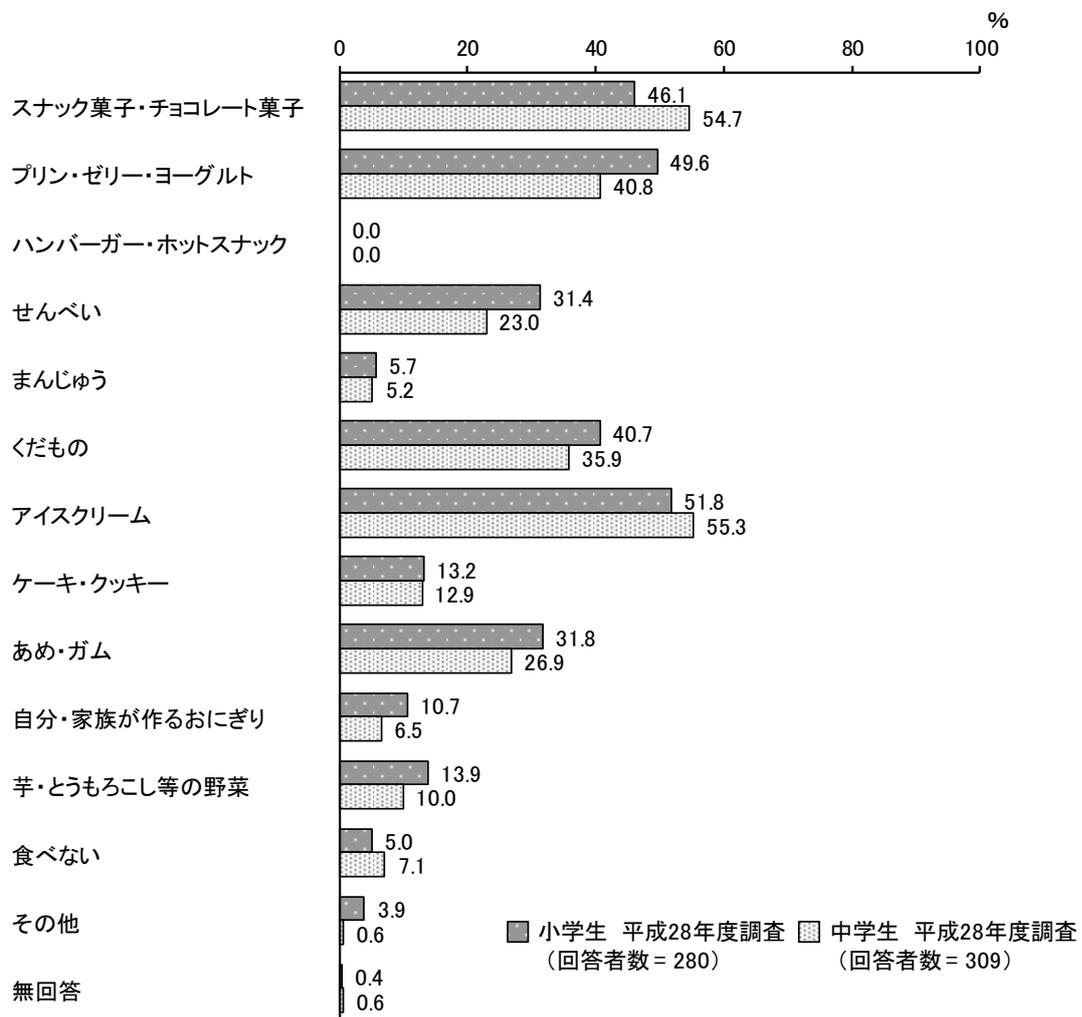
質問 15 あなたがふだんよく食べる「おやつ」はどんなものですか。(回答はいくつでも)

小学生では、「アイスクリーム」の割合が 63.3%と最も高く、次いで「スナック菓子・チョコレート菓子」の割合が 58.5%、「プリン・ゼリー・ヨーグルト」の割合が 49.6%となっています。

中学生では、「アイスクリーム」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「スナック菓子・チョコレート菓子」の割合が 59.0%、「プリン・ゼリー・ヨーグルト」の割合が 40.3%となっています。



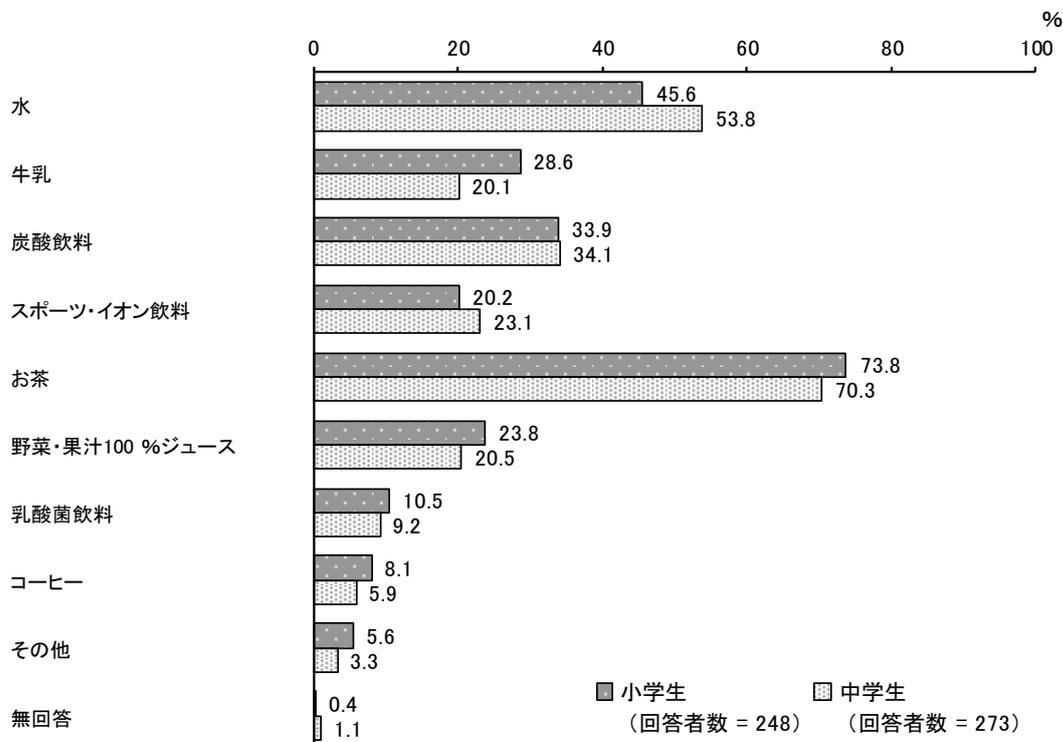
【経年比較】



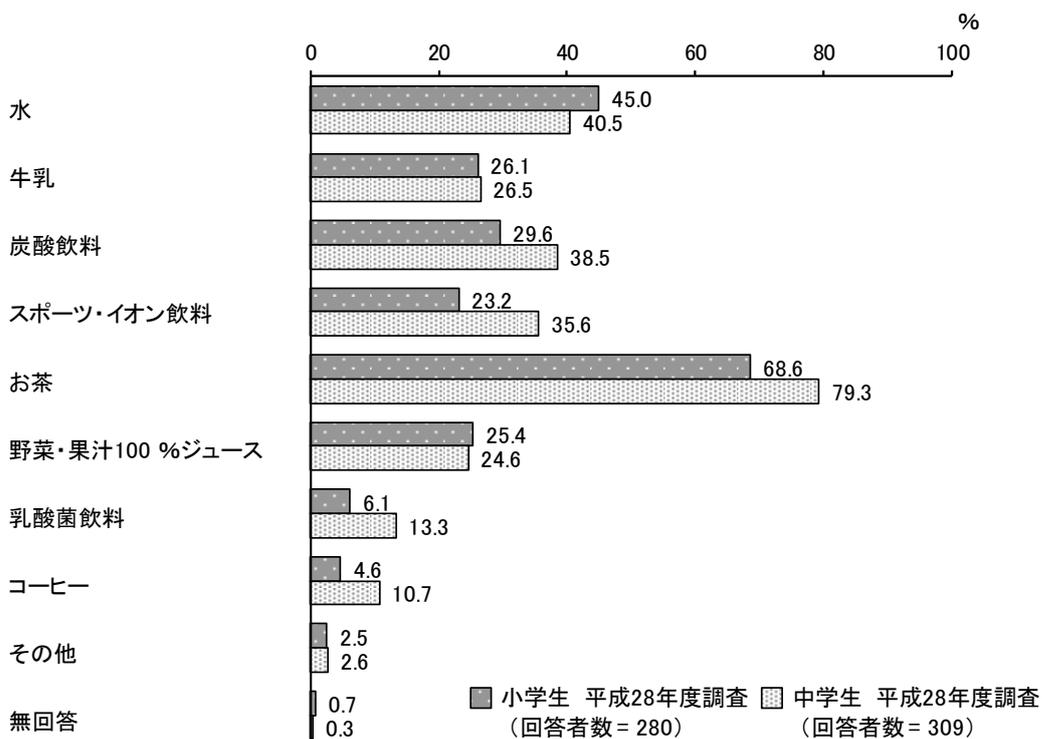
質問 16 あなたはふだんのどが渴いたときに何を飲みますか。(回答はいくつでも)

小学生では、「お茶」の割合が 73.8%と最も高く、次いで「水」の割合が 45.6%、「炭酸飲料」の割合が 33.9%となっています。

中学生では、「お茶」の割合が 70.3%と最も高く、次いで「水」の割合が 53.8%、「炭酸飲料」の割合が 34.1%となっています。



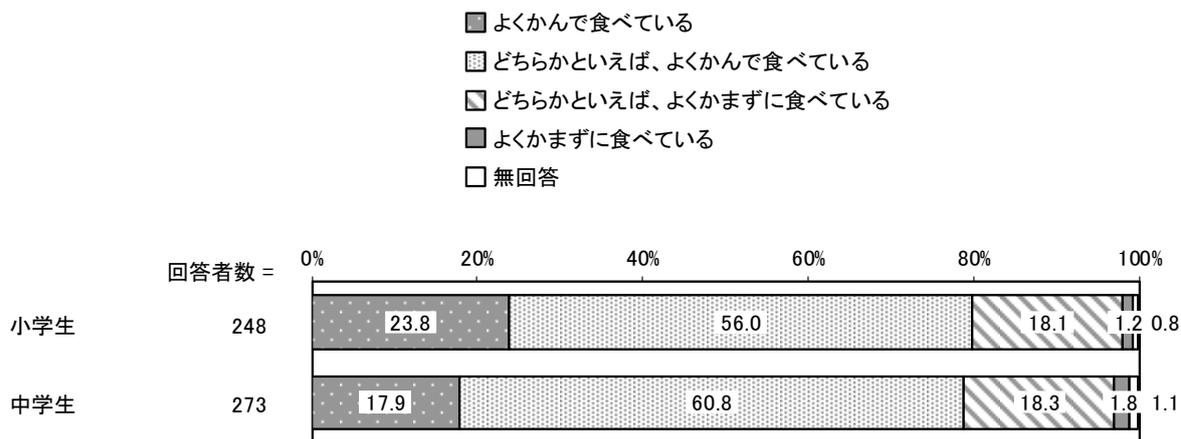
【経年比較】



質問 17 あなたはよくかんで食事をしていますか。(回答はひとつだけ)

小学生では、「どちらかといえば、よくかんで食べている」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「よくかんで食べている」の割合が 23.8%、「どちらかといえば、よくかまずに食べている」の割合が 18.1%となっています。

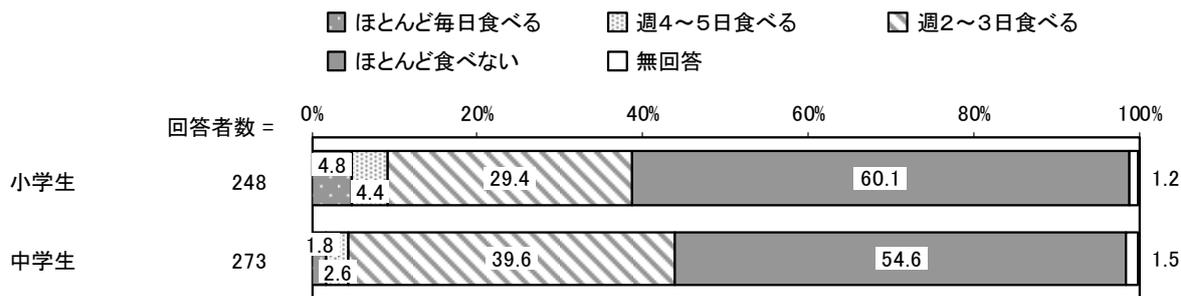
中学生では、「どちらかといえば、よくかんで食べている」の割合が 60.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば、よくかまずに食べている」の割合が 18.3%、「よくかんで食べている」の割合が 17.9%となっています。



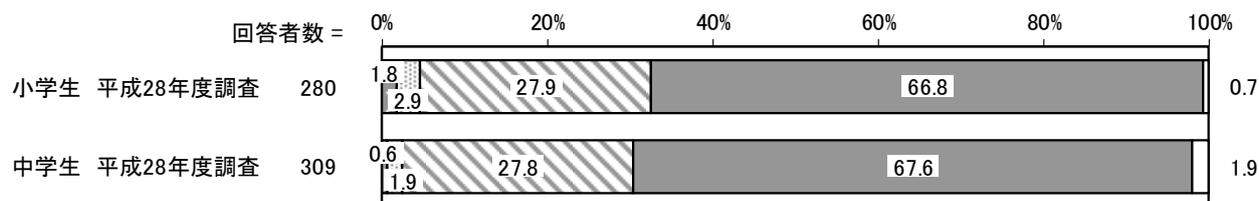
質問 18 あなたは外食やテイクアウトの弁当や惣菜など、出来合いのものを、1週間にどのくらい食べますか。(回答はひとつだけ)

小学生では、「ほとんど食べない」の割合が 60.1%と最も高く、次いで「週2～3日食べる」の割合が 29.4%となっています。

中学生では、「ほとんど食べない」の割合が 54.6%と最も高く、次いで「週2～3日食べる」の割合が 39.6%となっています。



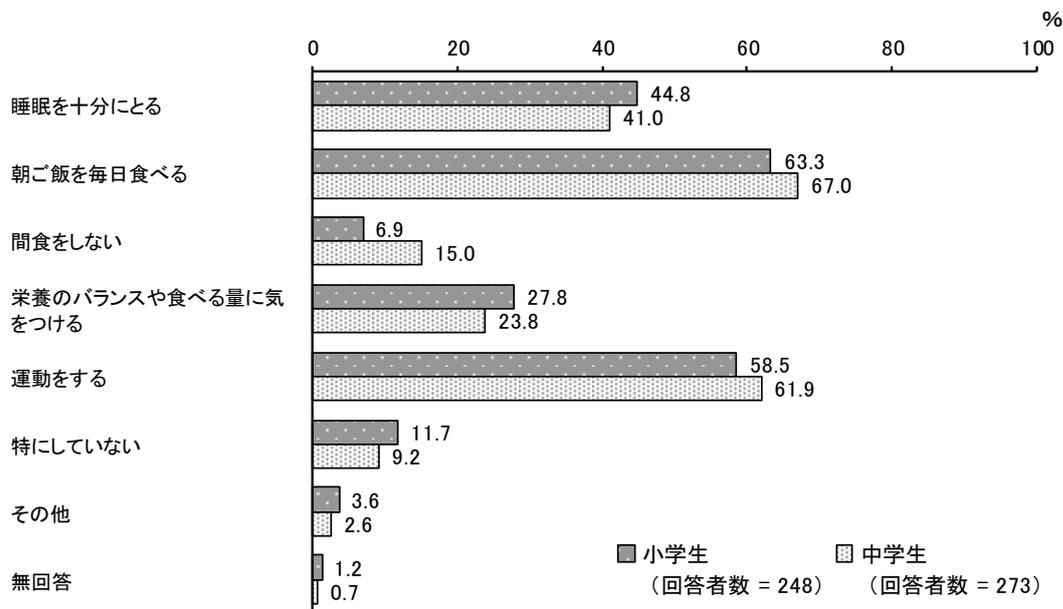
【経年比較】



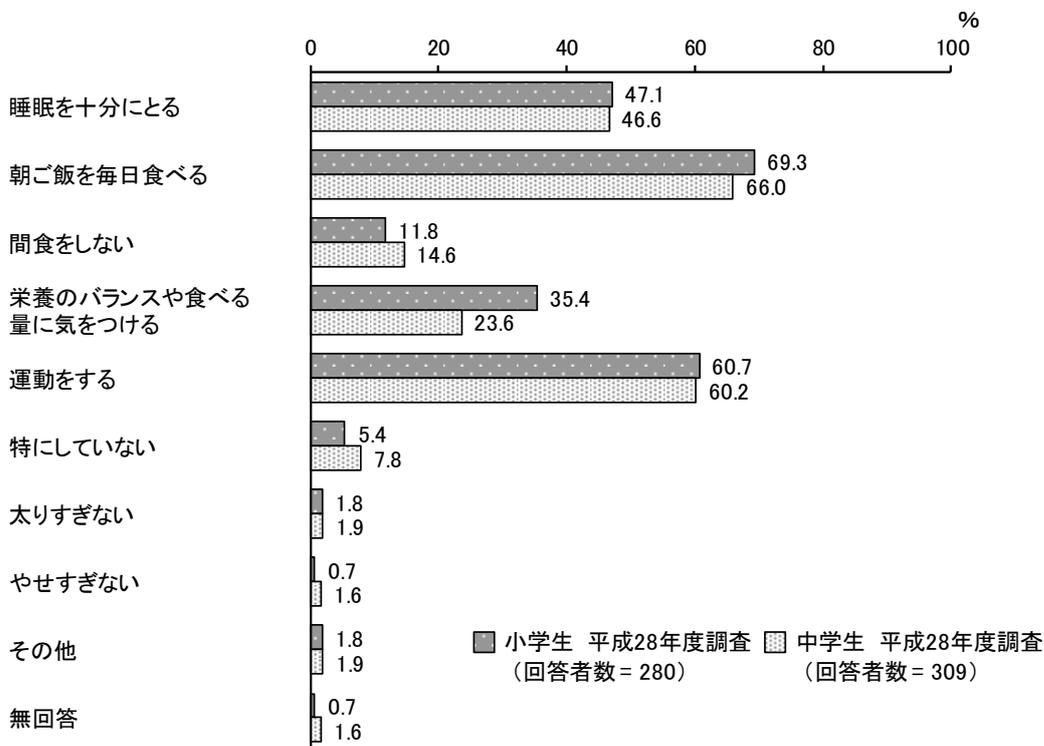
質問 19 あなたがふだん心がけているものを選んでください。(回答はいくつでも)

小学生では、「朝ご飯を毎日食べる」の割合が 63.3%と最も高く、次いで「運動をする」の割合が 58.5%、「睡眠を十分にとる」の割合が 44.8%となっています。

中学生では、「朝ご飯を毎日食べる」の割合が 67.0%と最も高く、次いで「運動をする」の割合が 61.9%、「睡眠を十分にとる」の割合が 41.0%となっています。



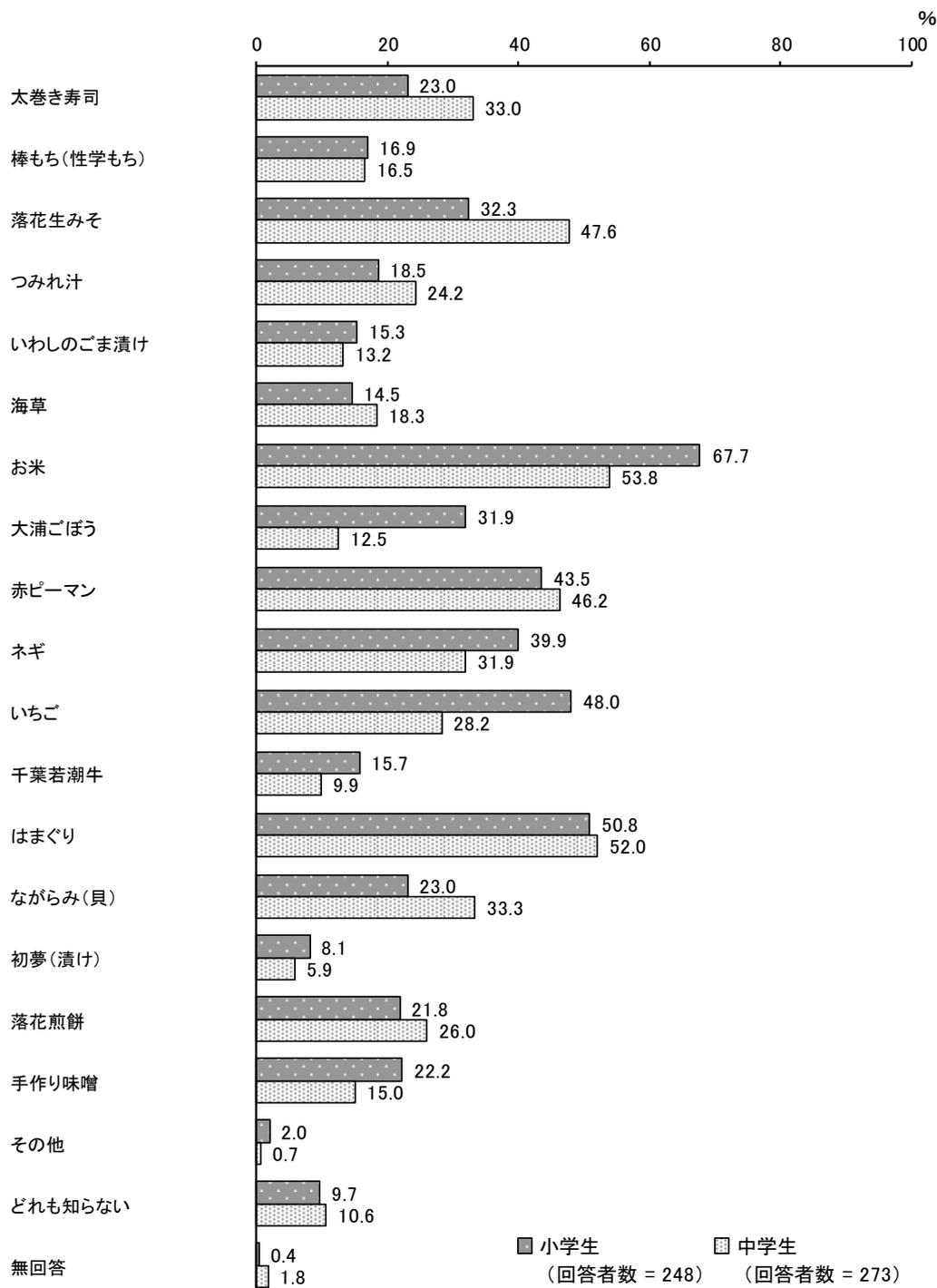
【経年比較】



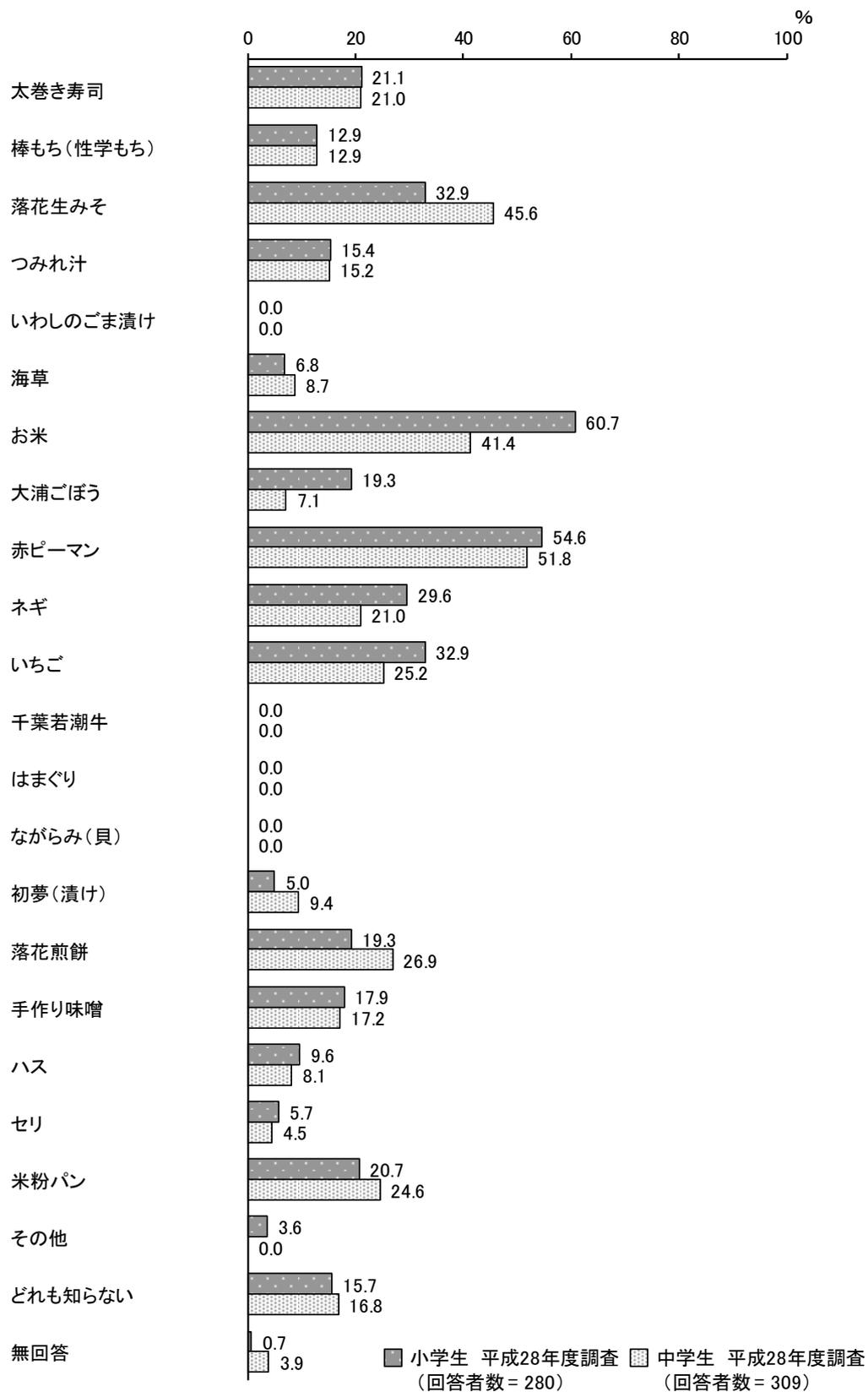
質問 20 あなたが知っている、匝瑳市の郷土料理や特産品を選んでください。(回答は
いくつでも)

小学生では、「お米」の割合が 67.7%と最も高く、次いで「はまぐり」の割合が 50.8%、「いちご」の割合が 48.0%となっています。

中学生では、「お米」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「はまぐり」の割合が 52.0%、「落花生みそ」の割合が 47.6%となっています。



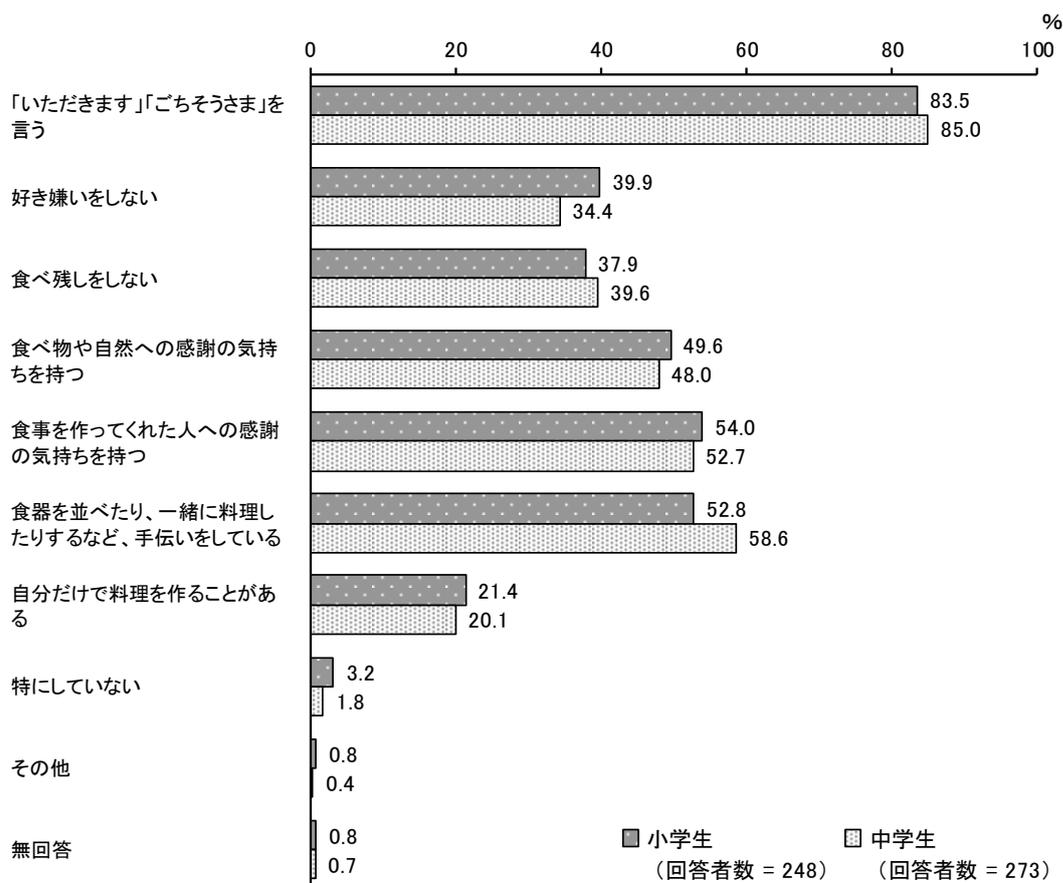
【経年比較】



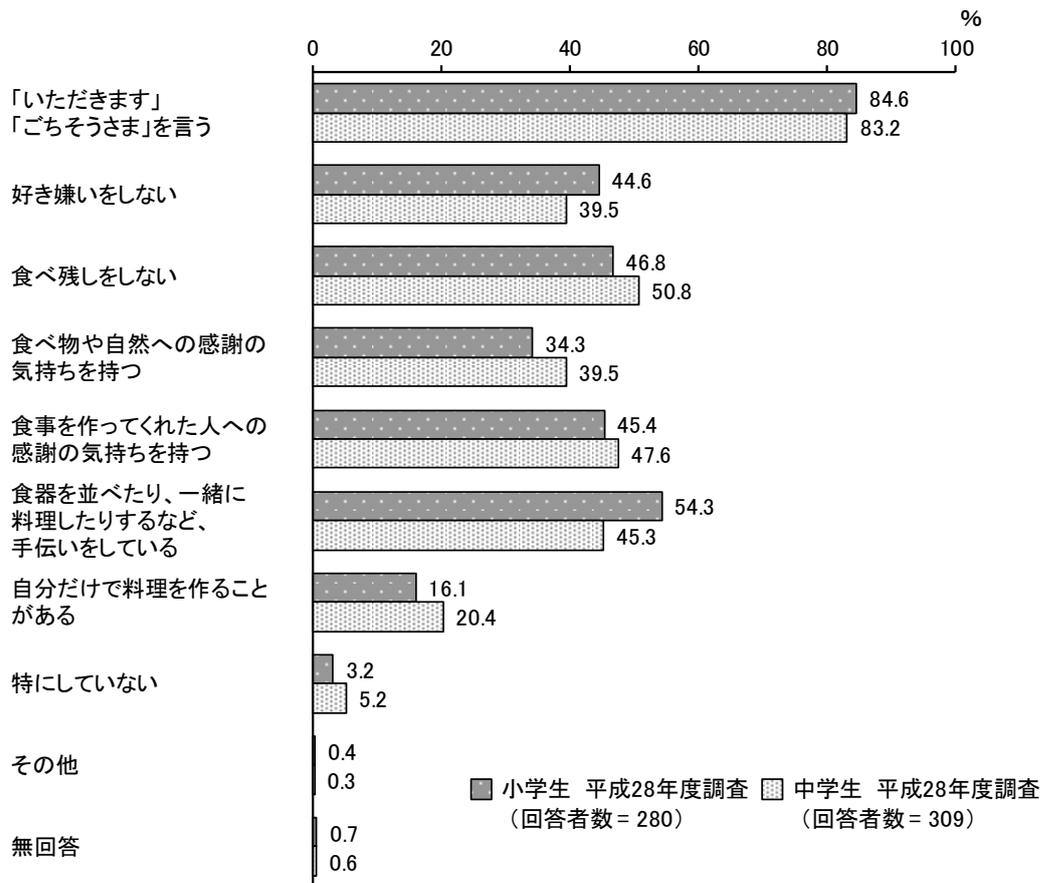
質問 21 食事をするとき、あなたは以下のようなことをしていますか。(回答はいくつでも)

小学生では、「いただきます」「ごちそうさま」を言う」の割合が 83.5%と最も高く、次いで「食事を作ってくれた人への感謝の気持ちを持つ」の割合が 54.0%、「食器を並べたり、一緒に料理したりするなど、手伝いをしている」の割合が 52.8%となっています。

中学生では、「いただきます」「ごちそうさま」を言う」の割合が 85.0%と最も高く、次いで「食器を並べたり、一緒に料理したりするなど、手伝いをしている」の割合が 58.6%、「食事を作ってくれた人への感謝の気持ちを持つ」の割合が 52.7%となっています。



【経年比較】



【食物のことを知るための経験別】

食物のことを知るための経験別でみると、小学生、中学生ともに、すべての項目で「いただきます」「ごちそうさま」を言う」の割合が高くなっています。また、小学生では、加工体験で「好き嫌いをしない」の割合が高くなっています。

単位：％

小学生	回答者数	「いただきます」「ごちそうさま」を言う	好き嫌いをしない	食べ残しをしない	食べ物や自然への感謝の気持ちを持つ	食事を作ってくれた人への感謝の気持ちを持つ	食器を並べたり、一緒に料理したりするなど、手伝いをしている	自分だけで料理を作ることがある	特にしていない	その他	無回答
農業体験	132	88.6	40.9	37.9	55.3	58.3	54.5	25.0	1.5	0.8	0.8
漁業体験	52	94.2	55.8	42.3	55.8	44.2	61.5	34.6	—	—	—
牧場体験	127	86.6	42.5	37.8	58.3	57.5	57.5	26.0	0.8	0.8	0.8
調理を伴う料理教室	59	88.1	47.5	39.0	57.6	61.0	64.4	40.7	1.7	—	—
加工体験	14	78.6	78.6	35.7	50.0	35.7	64.3	35.7	—	—	—
食品工場見学	58	94.8	43.1	44.8	43.1	60.3	58.6	24.1	—	—	1.7
その他	3	100.0	—	33.3	66.7	66.7	66.7	66.7	—	—	—
特になし	48	72.9	31.3	35.4	35.4	45.8	45.8	12.5	12.5	—	2.1

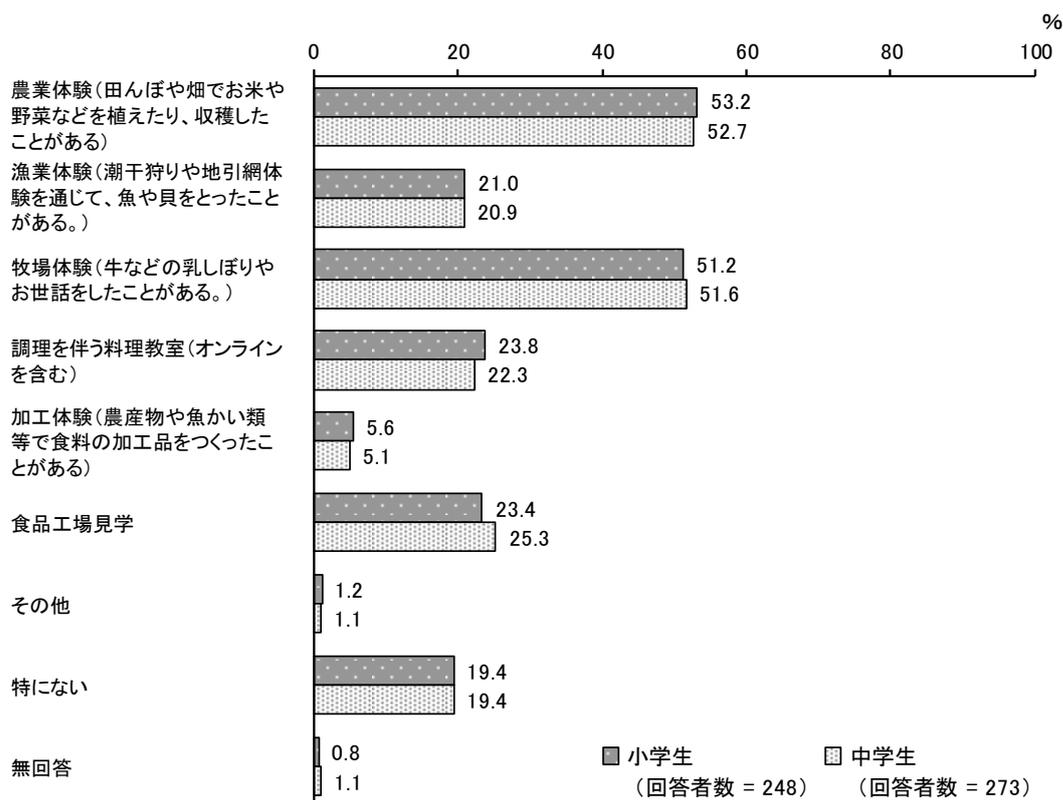
単位：％

中学生	回答者数	「いただきます」「ごちそうさま」を言う	好き嫌いをしない	食べ残しをしない	食べ物や自然への感謝の気持ちを持つ	食事を作ってくれた人への感謝の気持ちを持つ	食器を並べたり、一緒に料理したりするなど、手伝いをしている	自分だけで料理を作ることがある	特にしていない	その他	無回答
農業体験	144	87.5	33.3	40.3	51.4	63.2	66.0	22.2	0.7	0.7	—
漁業体験	57	96.5	31.6	50.9	61.4	59.6	71.9	36.8	—	1.8	—
牧場体験	141	90.8	36.2	41.8	60.3	62.4	70.9	27.7	—	0.7	—
調理を伴う料理教室	61	86.9	39.3	45.9	57.4	62.3	68.9	27.9	1.6	—	—
加工体験	14	92.9	21.4	57.1	50.0	42.9	50.0	42.9	—	—	—
食品工場見学	69	87.0	31.9	39.1	53.6	62.3	69.6	27.5	2.9	—	—
その他	3	100.0	66.7	33.3	66.7	66.7	66.7	33.3	—	—	—
特になし	53	81.1	39.6	35.8	30.2	34.0	39.6	13.2	3.8	—	—

質問 22 あなたが食物のことを知るために、これまでやったこと（経験したこと）を選んでください。（回答はいくつでも）

小学生では、「農業体験（田んぼや畑でお米や野菜などを植えたり、収穫したことがある）」の割合が 53.2%と最も高く、次いで「牧場体験（牛などの乳しぼりやお世話をしたことがある。）」の割合が 51.2%、「調理を伴う料理教室（オンラインを含む）」の割合が 23.8%となっています。

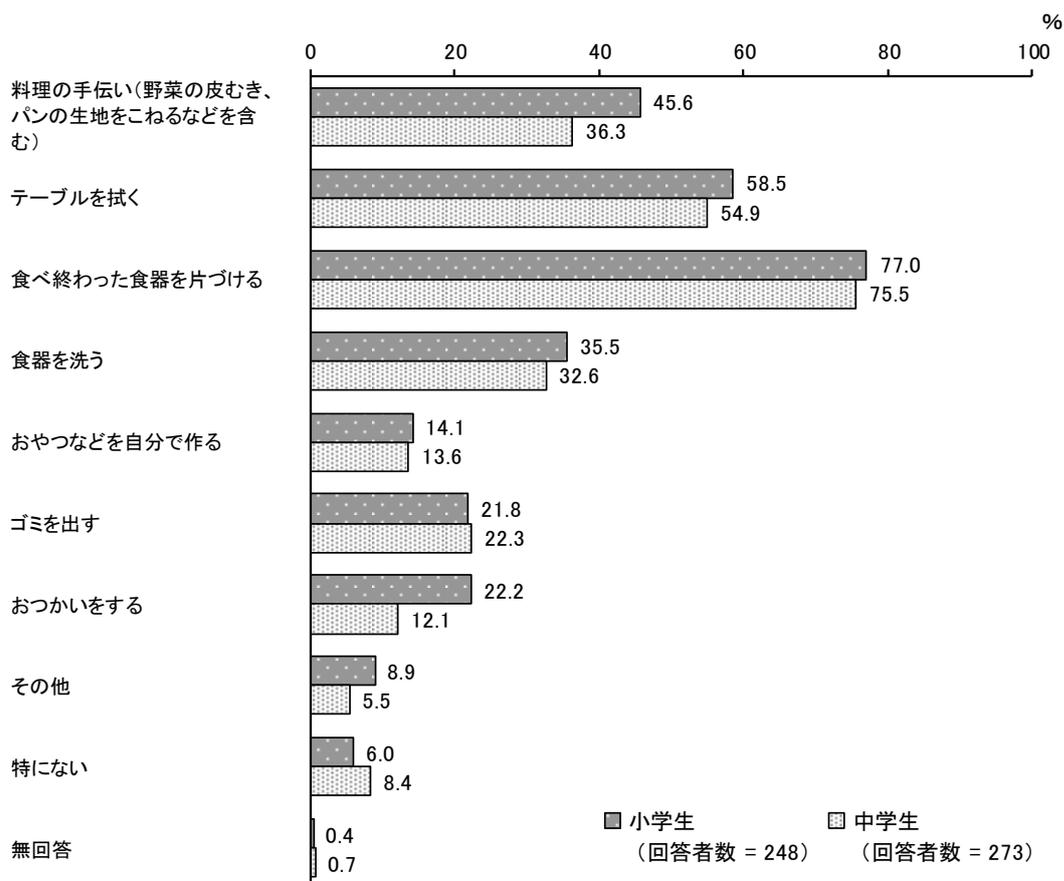
中学生では、「農業体験（田んぼや畑でお米や野菜などを植えたり、収穫したことがある）」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「牧場体験（牛などの乳しぼりやお世話をしたことがある。）」の割合が 51.6%、「食品工場見学」の割合が 25.3%となっています。



質問 23 あなたは、ふだんからどのようなお手伝いなどをしていますか。(回答はいくつでも)

小学生では、「食べ終わった食器を片づける」の割合が 77.0%と最も高く、次いで「テーブルを拭く」の割合が 58.5%、「料理の手伝い（野菜の皮むき、パンの生地をこねるなどを含む）」の割合が 45.6%となっています。

中学生では、「食べ終わった食器を片づける」の割合が 75.5%と最も高く、次いで「テーブルを拭く」の割合が 54.9%、「料理の手伝い（野菜の皮むき、パンの生地をこねるなどを含む）」の割合が 36.3%となっています。



【経年比較】

